













(乙)

| 藝名     | 氏名 | 開業年月日    | 備考 |
|--------|----|----------|----|
|        |    | 昭和 年 月 日 | 開業 |
|        |    | 昭和 年 月 日 | 廢業 |
| 年 月 日生 |    | 昭和 年 月 日 | 開業 |
|        |    | 昭和 年 月 日 | 廢業 |
| 年 月 日生 |    | 昭和 年 月 日 | 開業 |
|        |    | 昭和 年 月 日 | 廢業 |
| 年 月 日生 |    | 昭和 年 月 日 | 開業 |
|        |    | 昭和 年 月 日 | 廢業 |
| 年 月 日生 |    | 昭和 年 月 日 | 開業 |
|        |    | 昭和 年 月 日 | 廢業 |

備考 一 廢業年月日ハ朱書スベシ

第四十二號様式 法人臺帳

(甲)

| 本店所在地    | 市         | 區         | 町         | 丁         | 業態        | 電話番號      |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 所轄稅務署    | 稅務署       |           | 納稅義務者名    |           |           |           |
| 事業年度     | 自昭和 年 月 日 | 至昭和 年 月 日 | 自昭和 年 月 日 | 至昭和 年 月 日 | 自昭和 年 月 日 | 至昭和 年 月 日 |
| 決定年月日    | 昭和 年 月 日  | 昭和 年 月 日  | 昭和 年 月 日  | 昭和 年 月 日  | 昭和 年 月 日  | 昭和 年 月 日  |
| 區分届提出年月日 | 昭和 年 月 日  | 昭和 年 月 日  | 昭和 年 月 日  | 昭和 年 月 日  | 昭和 年 月 日  | 昭和 年 月 日  |
| 調定年月日    | 昭和 年 月 日  | 昭和 年 月 日  | 昭和 年 月 日  | 昭和 年 月 日  | 昭和 年 月 日  | 昭和 年 月 日  |
| 本稅額      |           |           |           |           |           |           |
| 附加稅額     |           |           |           |           |           |           |
| 都市計畫稅割   |           |           |           |           |           |           |
| 營業稅割     |           |           |           |           |           |           |
| 備考       |           |           |           |           |           |           |

(乙)

| 町村名 | 事業年度      |           | 自昭和 年 月 日 |           | 自昭和 年 月 日 |           | 自昭和 年 月 日 |           | 自昭和 年 月 日 |     |      |      |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----|------|------|
|     | 至昭和 年 月 日 | 至昭和 年 月 日 | 至昭和 年 月 日 | 至昭和 年 月 日 | 至昭和 年 月 日 | 至昭和 年 月 日 | 至昭和 年 月 日 | 至昭和 年 月 日 | 至昭和 年 月 日 |     |      |      |
|     | 歩合稅額      | 本稅額       | 附加稅額      | 營業稅割      | 歩合稅額      | 本稅額       | 附加稅額      | 營業稅割      | 歩合稅額      | 本稅額 | 附加稅額 | 營業稅割 |
|     |           |           |           |           |           |           |           |           |           |     |      |      |
|     |           |           |           |           |           |           |           |           |           |     |      |      |
|     |           |           |           |           |           |           |           |           |           |     |      |      |
|     |           |           |           |           |           |           |           |           |           |     |      |      |

備考 一 關係町村一ナル場合ハ乙號用紙ハ省略スルモノトス

第四十號様式 過誤納金還付決議簿

| 決裁所 | 年度 | 稅目 | 舊標準 | 舊稅額 | 還付 | 徵收       | 賦課 | 還付 | 請求  | 備考 | 住所 |
|-----|----|----|-----|-----|----|----------|----|----|-----|----|----|
| 年月日 | 係  | 別  | 新標準 | 新稅額 | 金額 | 年月日      | 率  | 事由 | 月日  |    | 氏名 |
|     |    |    |     |     |    | 昭和 年 月 日 |    |    | 月 日 |    |    |
|     |    |    |     |     |    | 昭和 年 月 日 |    |    | 月 日 |    |    |
|     |    |    |     |     |    | 昭和 年 月 日 |    |    | 月 日 |    |    |
|     |    |    |     |     |    | 昭和 年 月 日 |    |    | 月 日 |    |    |

- 備考 一 本簿ハ過年度收入ニ屬スルモノ及現年度收入ニ屬スルモノニ分テ現年度收入ニ屬スルモノハ町村ノ徵收ニ係ルモノ及財務出張所ノ徵收ニ係ルモノニ分テ各別冊トスベシ
- 二 本簿ハ町村毎ニ口座ヲ設ケ月計、累計ヲ附スベシ
- 三 過年度調定分ハ年度別ノ欄ニ「隨時(過年度分)」ト記載スベシ
- 四 船舶稅ニ在リテハ船名、自動車稅ニ在リテハ車輛番號、法人ニ對スル營業稅附加稅ニ在リテハ事業年度ヲ備考欄ニ記載スベシ

第四十一號様式 藝妓臺帳

藝妓臺帳 第 號 (甲)

| 住所 | 電話番號 | 檢ハ | 備考                   | 氏名       |
|----|------|----|----------------------|----------|
|    |      | 住  | 就任・開業・承繼<br>退任・廢業・讓渡 | 年月日      |
|    |      |    |                      | 昭和 年 月 日 |
|    |      |    |                      | 昭和 年 月 日 |
|    |      |    |                      | 昭和 年 月 日 |
|    |      |    |                      | 昭和 年 月 日 |

- 備考 一 特別徵收義務者檢番代表者ナル場合ハ就任或ニ退任年月日及氏名ノ頭ニ其ノ資格ヲ記載スベシ
- 二 特別徵收義務者置屋業主、扱店主、入方其ノ他之ニ準ズル者ナル場合ハ開業、承繼年月日並ニ廢業、讓渡年月日ヲ記載スベシ
- 三 退任、廢業、讓渡年月日ハ朱書スベシ

第四十三號様式ノ一 定期分一人別徴收簿

| 番 號 | 住 所 | 氏 名 | 第 一 期 |    |           |         | 第 二 期 |    |           |         |  |
|-----|-----|-----|-------|----|-----------|---------|-------|----|-----------|---------|--|
|     |     |     | 課税標準  | 何税 | 都 市 計 畫 税 | 計 入 備 考 | 課税標準  | 何税 | 都 市 計 畫 税 | 計 入 備 考 |  |
|     |     |     |       |    |           |         |       |    |           |         |  |
|     |     |     |       |    |           |         |       |    |           |         |  |
|     |     |     |       |    |           |         |       |    |           |         |  |

- 備考 一 定期分（藝妓税ヲ除ク）一人別徴收簿ハ此ノ様式ニ據ルベシ  
 二 地租附加税ニ在リテハ課税標準欄ヲ地租名寄帳ノ分類ニ從ヒ區分シ計ヲ設クベシ  
 三 船舶税、自動車税及電柱税ニ在リテハ課税標準欄ノ記載ヲ省略スルコトヲ得但シ課税物件一件毎ニ測定セントスル場合ハ船舶税ニ在リテハ船名、自動車税ニ在リテハ車輛番號ヲ記載スベシ  
 四 減額ノ場合ハ税額ノ欄ニ減額スベキ金額ヲ備考欄ニ其ノ事由ヲ朱書スベシ

第四十三號様式ノ二 隨時分一人別徴收簿

| 調定月日<br>納期限 | 番 號 | 住 所 | 氏 名 | 摘 要 | 課税標準 | 税 額 |           |   | 收 入<br>月 日 | 備 考 |
|-------------|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----------|---|------------|-----|
|             |     |     |     |     |      | 何税  | 都 市 計 畫 税 | 計 |            |     |
|             |     |     |     |     |      |     |           |   |            |     |
|             |     |     |     |     |      |     |           |   |            |     |
|             |     |     |     |     |      |     |           |   |            |     |

- 備考 一 隨時分（藝妓税ヲ除ク）一人別徴收簿ハ此ノ様式ニ據ルベシ  
 二 摘要欄ニハ左ノ事項ヲ略記スベシ  
 イ 納税義務發生年月日及事由  
 ロ 法人ニ對スル營業税附加税ニ在リテハ當該事業年度  
 ハ 船舶ノ種類、番號及船名  
 ニ 自動車ノ種類、車輛番號、用途及薪炭瓦斯發生裝置ノ有無  
 ホ 電柱ノ種類及利益金配當率  
 ヘ 不動産ノ種類及取得ノ原因  
 ト 狩獵免許月日及等級  
 三 課税標準欄ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ  
 イ 船舶ノ總噸數

- ロ 自動車ノ乗車定員、積載量又ハ輪數  
 ハ 電柱ノ員數（種類別）  
 ニ 不動産ノ登録税課税標準價格又ハ時價  
 ホ 狩獵免許税額  
 四 本簿ニハ税目毎ニ口座ヲ設ケ月計原計ヲ對スベシ  
 五 減額ノ場合ハ税額ノ欄ニ減額スベキ金額ヲ備考欄ニ其ノ事由ヲ朱書スベシ

- 備考 一 現在額ハ各賦課期日毎ニ記載スベシ但シ前賦課期日後異動ナキモノハ同一額ヲ重ネテ記載スルヲ要セズ  
 二 段別税ノ欄ハ前號ニ準ジ記載スベシ  
 三 地目、現狀同一ナル場合ハ現狀ノ記載ヲ要セズ  
 四 年期地種別ハ「埋立」「荒地」「開墾」「地變」「耕整」「耕整下略記」スベシ  
 五 年期滿了、賣買其ノ他ノ異動ニ因ル減額ハ朱書スベシ  
 六 府税賦課徴收條例第五十一條該當ノモノハ段別税ノ記載ヲ省略シ摘要欄ニ「非課税」ト朱書スベシ  
 七 令書交付先ノ欄ハ必要ナル場合ハ外記載スルヲ要セズ  
 八 前各號ノ外必要ナル事項ハ地租名寄帳ノ例ニ準ジ記載スベシ

| 納税管理<br>人姓名 | 住所<br>所有者<br>賃借者<br>地上權者<br>氏名 | 令書交付先 | 新規・異動<br>及現在額 |             |               |           |
|-------------|--------------------------------|-------|---------------|-------------|---------------|-----------|
|             |                                |       | 字丁目<br>地目     | 年期地種別<br>現狀 | 満了期地積<br>貸賃價格 | 段別税<br>摘要 |
|             |                                |       |               |             |               |           |
|             |                                |       |               |             |               |           |
|             |                                |       |               |             |               |           |

第四十五號様式 段別税金寄帳

| 何々年期地<br>昭和 年期滿了<br>何之部 | 摘 要        |                        |              |              |
|-------------------------|------------|------------------------|--------------|--------------|
|                         | 大字丁目<br>番地 | 地積<br>地租(又ハ配賦)<br>賃賃價格 | 賃賃價格<br>評賃價格 | 氏住<br>名所村町區市 |
|                         |            |                        |              |              |
|                         |            |                        |              |              |
|                         |            |                        |              |              |

第四十四號様式 年期地臺帳



第四十六號様式 船舶臺帳

| 種類  | 定置場 | 備考  | 住所 | 所有者 | 氏名 | 納税義務發生 |    | 船舶番號 | 船名 | 總噸數 | 摘要 | 納税義務消滅 |    |
|-----|-----|-----|----|-----|----|--------|----|------|----|-----|----|--------|----|
|     |     |     |    |     |    | 年月日    | 事由 |      |    |     |    | 年月日    | 事由 |
| 昭和月 | 年日  | 第 號 |    |     |    | 昭和月    | 年日 |      |    |     |    | 昭和月    | 年日 |
| 昭和月 | 年日  | 第 號 |    |     |    | 昭和月    | 年日 |      |    |     |    | 昭和月    | 年日 |
| 昭和月 | 年日  | 第 號 |    |     |    | 昭和月    | 年日 |      |    |     |    | 昭和月    | 年日 |
| 昭和月 | 年日  | 第 號 |    |     |    | 昭和月    | 年日 |      |    |     |    | 昭和月    | 年日 |
| 昭和月 | 年日  | 第 號 |    |     |    | 昭和月    | 年日 |      |    |     |    | 昭和月    | 年日 |

備考 一 納税義務消滅ノ欄ハ朱書スベシ  
 二 課税外ノモノニ付テハ納税義務發生ノ欄ニ課税外取扱年月日ヲ、摘要欄ニ課税外事由其ノ他参考トナルベキ事項ヲ朱書シ別ニ口座ヲ設ケ本臺帳ノ末尾ニ綴込ムベシ

第四十七號様式 自動車臺帳

| 種類  | 定置場 | 備考  | 住所 | 所有者 | 氏名 | 納税義務發生 |    | 車輛番號 | 種類 | 用途 | 課税標準 | 摘要 | 納税義務消滅 |    |
|-----|-----|-----|----|-----|----|--------|----|------|----|----|------|----|--------|----|
|     |     |     |    |     |    | 年月日    | 事由 |      |    |    |      |    | 年月日    | 事由 |
| 昭和月 | 年日  | 第 號 |    |     |    | 昭和月    | 年日 |      |    |    |      |    | 昭和月    | 年日 |
| 昭和月 | 年日  | 第 號 |    |     |    | 昭和月    | 年日 |      |    |    |      |    | 昭和月    | 年日 |
| 昭和月 | 年日  | 第 號 |    |     |    | 昭和月    | 年日 |      |    |    |      |    | 昭和月    | 年日 |
| 昭和月 | 年日  | 第 號 |    |     |    | 昭和月    | 年日 |      |    |    |      |    | 昭和月    | 年日 |
| 昭和月 | 年日  | 第 號 |    |     |    | 昭和月    | 年日 |      |    |    |      |    | 昭和月    | 年日 |

備考 一 薪炭瓦斯發生裝置ヲ有スルモノハ課税標準欄ニ「薪炭」ト朱書スベシ  
 二 納税義務消滅ノ欄ハ朱書スベシ  
 三 課税外ノモノニ付テハ納税義務發生ノ欄ニ課税外取扱年月日ヲ、摘要欄ニ課税外事由其ノ他参考トナルベキ事項ヲ朱書シ別ニ口座ヲ設ケ本臺帳ノ末尾ニ綴込ムベシ

大阪府訓令第十八號

財務出張所長  
 市區町村長  
 特別徴收義務者

曩ニ地方税法ヲ改正セラレ之ニ伴フ本府府税賦課徴收條例ノ改正ハ臨時府會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ受ケテ八月二十八日條例第四號ヲ以テ公布シ同時ニ告示第千二百九十七號ヲ以テ納税義務者ノ届出ニ關スル様式例ヲ公示シ更ニ本日訓令第十七號ヲ以テ賦課徴收取扱規程ヲ定メ爰ニ本府諸般ノ規程ヲ整備シテ本年度分ヨリ適用スルコト、ナシタリ

今次ノ改正ニ關シ税目、課税標準ノ選定並ニ賦課率ノ決定ニ方リテハ地方税法改正ノ主眼タル負擔ノ均衡化及税制簡易化ノ趣旨ニ則リ併セテ本府財政ノ將來ト市町村附加税ノ關係ヲ考慮シテ努メテ負擔ノ激變ヲ避クルコトニ留意シタリト雖モ個々ノ負擔ニ至リテハ相當ノ變動ヲ來スコトヲ免カレシ

是レニ從來ノ負擔不均衡ヲ是正シタル結果ニシテ地方税法改正ノ趣旨ニ即應スルモノナリ惟フニ制度ノ改正ニ際シテハ動モスレハ舊來ノ制度ニ恠ミ新制度ニ對スル理解ノ不徹底ニ基ク施行ノ困難ヲ伴フヘキハ想像ニ難カラス況ンヤ府民ノ負擔ニ關スル本制度ノ如キ特ニ注意セサル可カラス職ニ賦課徴收ノ事務ニ膺ル者具ニ新制度ノ内容ヲ研究シテ之レカ運用ニ付萬全ヲ期スヘキハ勿論改正ノ趣旨要領ヲ普ク一般府民ニ理

徹底セシメ之レカ施行ニ支障ナカラシムコトヲ望ム  
 殊ニ本年度ハ第一期ニ屬スル諸税ノ徴收繰下ケニ依リ事務一時ニ輻輳シ市區町村ニ於ケル徴收事務ニ相當ノ困難ヲ豫想セラルルヲ以テ愈々周到ナル計畫ノ下ニ圓滑ナル事務ノ遂行ヲ圖リ近時向上シ來レル徴收成績ヲ失墜セサラムコトヲ期スヘシ

昭和十五年八月三十一日  
 大阪府知事 半井清

大阪府訓令第十九號  
 財務出張所長

- 昭和八年二月大阪府訓令第二號大阪府財務出張所處務規程中左ノ通改正ス
- 昭和十五年八月三十一日  
 大阪府知事 半井清
- 一 府税ノ賦課ニ關スル事項
  - 二 府税ノ督促狀發付ニ關スル事項
  - 三 府税ノ滞納處分ニ關スル事項
  - 四 府税ノ督促手數料、延滞金並ニ滞納處分費ノ徴收ニ關スル事項
  - 五 府税ノ缺損處分ニ關スル事項
  - 六 府税其ノ他ノ過誤納金還付ニ關スル事項

- 七 府税ノ検査ニ關スル事項
- 八 府税ノ徴収取扱費交付ニ關スル事項
- 九 第三號及第四號ノ囑託及受託ニ關スル事項
- 十 土地評定賃賃價格ノ調査ニ關スル事項
- 十一 家賃賃賃價格ノ調査ニ關スル事項
- 十二 府税ノ賦課資料調査ニ關スル事項
- 十三 町村ニ於ケル府税事務ノ指導監督ニ關スル事項
- 十四 納税組合ノ指導監督ニ關スル事項
- 十五 前各號ノ外特ニ命セラレタル事項

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

支那事變ニ伴フ出征者ノ府税賦課及不課税並ニ輕減ニ關スル條例

(制定 昭一三、三、三一、府條例五) (改正 昭一五、一〇、一六、府條例六)

第一條 支那事變ニ伴フ出征者(以下出征者ト稱ス)ノ戶主家族若ハ遺族ニシテ生活困難トナリタル場合ニ於テハ出征者並ニ其ノ戶主家族若ハ遺族ニ對シテハ府税ハ之ヲ賦課セ

第二條 前條ニ該當セサル出征者ニ對スル田畑ノ地租附加税

及地租割並ニ段別税ハ召集ニ因リ田畑ノ所得ニ著シキ減少アリト認メラルル場合ニ限リ其ノ年度分税額ノ二分ノ一ヲ輕減ス但シ小作ニ付シタル田畑ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス (昭和十五年十月十六日府條例第六號改正)

第二條 削除

(昭和十五年十月十六日府條例第六號削除)

第四條 第二條ノ規定ハ同居ノ戶主又ハ家族中ニ出征者アル者ニ對スル府税ニ付之ヲ準用ス出征者ノ遺族ニ付亦同シ (昭和十五年十月十六日府條例第六號改正)

第五條 第一條又ハ第二條ニ依リ不課税又ハ輕減ノ取扱ヲ受ケントスル者ハ其ノ届書ヲ市ニ在リテハ所轄市區長ヲ經テ知事ニ町村ニ在リテハ所轄町村長ヲ經テ財務出張所長ニ提出スヘシ前項ノ該當者ニシテ其ノ事實止ミタルトキハ十日以内ニ其ノ旨届出ツヘシ (昭和十五年十月十六日府條例第六號改正)

附 則

本條例ハ昭和十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

出征ノ事實止ミタルトキト雖モ其ノ年度内ハ本條例ノ適用ヲ妨ケス

附 則

本條例ハ昭和十五年分ヨリ之ヲ施行ス

(昭和十五年十月十六日府條例第六號)

二 通 牒

支那事變ニ伴フ出征者ノ府税賦課及不課税並ニ輕減ニ關スル條例中改正條例取扱方ノ件依命通牒

(昭一五、一、二、議二七六六) (各財務出張所長、市區町村長、除大阪市長) 宛府總務部長

昭和十三年四月五日付議第一、一〇〇號ヲ以テ支那事變ニ伴フ出征者ノ府税賦課及不課税並ニ輕減ニ關スル條例取扱方通牒致置候處本年十月十一日府條例第六號ヲ以テ改正條例公布相成候ニ付テハ爾今左記ニ依リ御取扱ノ上萬遺憾ナキヲ期セラレ度

追而舊法ニ依ル府税ニ付テハ従前ノ通牒ニ依リ御取扱相成度

記

第一 不課税又ハ輕減セララルル者ノ意義 (1) 出征者トハ(イ)豫備役、後備役、補充兵役及現役ニ

シテ歸休除隊シタル者等ノ兵籍ニ在ルモノニシテ事變ニ因リ出征シタル者(ロ)現役ニシテ支那又ハ外地ニ赴キタル者及原隊ヲ離レタル者(ハ)其ノ他軍務公用ニ依リ戰地又ハ外地ニ赴キタル者

(2) 其ノ戶主家族トハ出征者ト同一世帯ニ在ル者ナルコト即チ出征者カ出征當時實際ニ同居シ生計ヲ共ニシタリシ同一世帯員(同一戶籍ニ在ルト否ト問ハス實際ニ生計ヲ共ニシ世帯ヲ構成セル者)又ハ出征者ト同居セサルモ出征者ヨリ生活ノ爲、補助ヲ受ケ其レニ依ツテ專ラ生計ヲ維持シツツアリシ世帯員ヲ謂フ

(3) 遺族トハ前項該當者ニシテ出征者ノ死亡シタル者ヲ謂フ

第二 不課税ニ關スル事項

(1) 條例第一條該當ノ者ハ當該年度調定ニ係ル府税(滯納繰越分ヲ除ク)全般ニ亙リ全額不課税ノ取扱ヲ爲スコト (2) 條例第一條ノ生活困難トナリタル場合ハ左ノ標準ニ依ルコト

(イ)軍事扶助法ニ依リ扶助ヲ受ケツツアル者及出征ニ因リ收入カ左ノ金額ニ達セサルモノ





**府稅賦課徵收事務實施ニ關スル件  
依命通牒**

(昭一五、一〇、二二、議二六三三)  
各財務出張所長宛 府總務部長  
(各市區町村長宛 府總務部長)

茲ニ本府々稅賦課徵收條例並ニ同取扱規程夫々公布相成候處  
之方實施ニ當リテハ左記ニ依リ御取扱相成度

記

- 一 地租附加稅及地租賦課ニ關スル事項  
地方稅法第四十四條第二項及其ノ準用規定ニ依リ地租法第七十條ノ規定ニ依リ地租ノ免除ハ之ヲ爲サザルモノト看做シ地租附加稅及地租割ヲ課スルコト、ナリ居ルモ地租法第七十三條但書ノ規定ニ依リ地租ヲ徵收セラザルモノナル場合ニ於テハ地租附加稅及地租割ハ之ヲ課スルコトヲ得サルモノナルコト  
但シ地租法第七十條ニ該當シ地租ヲ免除セラレタル結果殘餘ノ土地ノ賃賃價格ガ五圓未滿トナリタル場合稅務官署ニ於テハ地租法第七十三條但書ニ該當スルモノトシテ地租不徵收ノ取扱ナルモ地租附加稅及地租割ニ付テハ地租アルモノト看做シ之ヲ課スルコト

- 五 徵稅傳令書、督促狀ノ發付及延滞金ノ計算ニ關スル事項  
徵稅傳令書又ハ督促狀一枚ノ府稅ヲ併記シタル場合徵稅傳令書及督促狀ノ通數ハ稅目別ニ計算セス之ヲ一通トシテ計算スルコト延滞金ノ計算ニ付テモ徵稅傳令書一枚ニ記載ノ稅目ヲ合計シ計算スルコト  
(別記樣式省略)

**市部府稅過誤納金還付ニ關スル件  
依命通牒**

(昭一五、一〇、三〇、議五六八)  
各市區市長宛 府總務部長  
(各市區市長宛 府總務部長)

今般新法ニ依ル府稅ノ過誤納金還付事務ハ市部ニ在リテハ本廳ニ於テ取扱フコトト相成候處該年度ノ徵收濟ニ係ル府稅ニシテ府金庫ニ拂込未濟ナル場合ハ減額報告書提出ノ上從來通責職ニ於テ之ヲ還付手續相成度  
追而徵收年度經過ノ府稅ニ付テハ請求書ニ明細書ヲ添附シ知事ニ送付相成度爲念申添候

|                |           |                     |                 |
|----------------|-----------|---------------------|-----------------|
| 事例<br>田<br>田以外 | 賃賃<br>五〇圓 | 地租法第七十條<br>該當免除     | 地租附加稅及<br>地租割賦課 |
| 畑              | 三圓        | 同                   |                 |
| 雜地             | 三圓        | 地租法第七十三條<br>但書該當不徵收 |                 |
| 合計             | 六圓        |                     |                 |
| 合計             | 五六圓       |                     | 同               |

1100

- 二 不動産取得稅賦課資料ニ關スル事項  
市長(大阪府ヲ除ク)ハ管轄登記所ニ就キ不動産ノ所有權移轉事項ヲ別記樣式ニ依リ調査シ一人別稅額ヲ算出集計シ第九號樣式ニ準シ十日目毎ニ之ヲ添付當廳ニ提出ノコト  
但シ昭和十五年四月一日以降八月迄ノ不動産取得ニ關シテハ別記樣式ノ添付ヲ省略スルモ差支ヘナキコト
- 三 府稅徵收狀況報告ニ關スル事項  
市區町村長ハ府稅ノ徵收狀況ヲ明ニスル爲新稅法ニ依ル府稅ノ徵收狀況報告書ヲ翌月十日限り提出スルコト(別記樣式)町村長ハ所轄財務出張所長ニ提出ノコト
- 四 自動車稅ニ關スル事項  
自動車稅ノ賦課期日後賦課前迄ノ間ニ於テ自動車ノ主タル定置場ノ變更アリタルトキハ大阪府各區間ニ於ケル場合ハ賦課期日現在ノ自動車ノ主タル定置場所在ノ區ニ於テ賦課スヘキコト、市區町村ヲ異ニシタル場合ハ月割賦課スヘキ

**數市町村ニ於テ營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲ス者ニ賦課スル市町村稅營業稅附加稅(營業稅割ヲ含ム)ノ課稅標準タルヘキ本稅額通知ニ關スル件**

(昭一五、一一、二六、議二九二五)  
各市區町村長宛 府總務部長通牒

市町村ニ於ケル營業稅附加稅ノ賦課ニ關シ地方稅法第八條第二項ノ規定ニ依リ通知スヘキ本稅額其ノ他ノ事項ハ事務ノ簡捷ヲ圖ル爲大阪府府稅賦課徵收條例第四十七條第一項ノ規定ニ基キ賦課スヘキ府稅營業稅附加稅ニ付發スル徵稅命令書ニ添付スル一人別仕譯書ヲ以テ代用スルコトニ致候條御了知相成度  
追而當分ノ内一人別仕譯書用紙ノ都合上地方稅法施行規則第五條第一號及第四號ノ事項ハ欄外ニ記載セシムヘク又營業種類ニシテ前年度ト異動ナキモノハ記載ヲ省略スルコト可有之ニ付之亦御了知相成度申添候  
尙稅務官署ヨリ直接市區町村ニ納額通知書ノ交付アリタル個人營業者ニシテ府内他市町村ニモ營業所ヲ有スル者ナルトキハ左記事項ヲ報告シ本稅分割ノ請求相成度候

1101

記

- 一 營業者ノ氏名所在地
- 二 年別區分、本稅額
- 三 純益金額決定年月日
- 四 關係營業所ノ所在市町村名

### 普通貨物自動車最大積載量變更ノ

件

(昭和一五、一一、八、府告示一八一八)

貨物自動車ノ最大積載量ヲ左ノ如ク變更昭和十五年十一月十五日ヨリ之ヲ實施ス但シ現ニ交付ヲ受ケタル車輛検査登記載ノ最大積載量ハ次期車輛検査ヲ受ケ當該検査證ノ交付ヲ受ケル迄ハ最大積載量ノ變更ニ付書換アリタルモノト看做ス

(昭和十五年十一月十五日公報號外八頁下段ニ正誤アリ)

普通貨物自動車最大積載量

|          |         |
|----------|---------|
| 自三、〇〇〇疋ハ | 四、〇〇〇疋ニ |
| 至二、五〇〇疋ハ | 三、四〇〇疋ニ |
| 一、〇〇〇疋ハ  | 二、三〇〇疋ニ |
| 一、〇〇〇疋ハ  | 一、五〇〇疋ニ |
| 七五〇疋ハ    | 一、〇〇〇疋ニ |

二〇二

小型(特殊第五、六種ヲ含ム)貨物自動車最大積載量

|        |      |
|--------|------|
| 自五〇〇疋ハ | 六〇〇疋 |
| 至四五〇疋ハ | 五〇〇疋 |
| 至四〇〇疋ハ | 三〇〇疋 |
| 至三〇〇疋ハ | 五〇〇疋 |

### 普通貨物自動車最大積載量變更ニ

伴フ届出規則 (昭和一五、一一、九、府告示二〇三八)

- 一 昭和十五年十一月十五日以前ニ大阪府府稅賦課徵收條例第十二條前段ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル(舊條例大阪府府稅納稅義務者届出規則ニ依ル 届出ヲ爲シタルモノヲ含ム)普通貨物自動車ニシテ昭和十五年十一月八日大阪府告示第千八百十八號ニ依リ最大積載量ノ變更アリタルモノハ大阪府府稅賦課徵收條例第十二條後段並同第十五條ノ規定ニ依リ最大積載量變更ノ届出ヲ要セス
- 二 前項ノ普通貨物自動車ニシテ昭和十五年十一月十五日以後車輛検査ヲ受ケ車輛検査證ノ書替交付アリタル場合昭和十五年十一月八日大阪府告示第千八百十八號ノ變更最大積載量ト異ナルニ至リタルモノハ直ニ大阪府府稅賦課徵收條例第十二條後段並同第十五條ノ規定ニ依リ届出ヅベシ

### 普通貨物自動車最大積載量變更ニ 依ル府稅取扱ニ關スル件依命通牒

昭一五、一一、九、議三〇一七  
(各財務出張所  
各市區町村長宛府總務部長  
(除大阪市長)

昭和十五年十一月八日大阪府告示第千八百十八號ヲ以テ普通貨物自動車最大積載量變更ノ件告示(十一月十五日公報號外八頁下段ニ正誤アリ)本年十一月十五日ヨリ實施セラル、コト、相成候處車輛検査登記載ノ最大積載量ハ次期車輛検査迄書替アリタルモノト看做シ其ノ儘携帯セシメラル、答ニ付該當車輛ニ對スル府稅課稅標準ノ變更届出ヲ要セザルコト、シ本日告示第二千三百三十八號ヲ以テ其旨公示セラレ候條御了知相成度尙該當車輛ノ府稅賦課ニ關シテハ左記ニ依リ御取扱相成度依命此段及通牒候也

記

- 一 自動車臺帳ノ最大積載量ハ別表ニ照合シテ改正ノ最大積載量ニ改記スルコト
- 二 昭和十五年十一月十五日以後ノ新規届出ニ對シテハ車輛検査證ノ日附ヲ備考欄ニ記載セシメ最大積載量ヲ改正後ノモノナルヤ否ヤヲ確メ改正前ノ最大積載量ヲ記載シ居ルモノハ之ヲ訂正セシメ受理スルコト

### 大阪府々稅賦課徵收條例第十條第 二號ノ規定ニ依リ指定セラレタル 公共組合

(昭一五、一〇、三〇、府告示一七五一)

耕地整理組合、耕地整理組合聯合會、重要物產同業組合、重要物產同業組合聯合會、森林組合、森林組合聯合會、酒造組合、酒造組合聯合會、畜産組合、畜産組合聯合會、農會、水

二〇三

産會、商工會議所、茶業組合、茶業組合聯合會、土地區劃整理組合

### 大阪府々税賦課徴收條例第十條第三號ノ規定ニ依リ認定セラレタル法人

左ニ掲クル法人ニ於テ専ラ其ノ事業ノ用ニ供スル物件又ハ行爲ハ府税賦課徴收條例第十條第三號ノ規定ニ該當スルモノトス但シ有料ニテ使用シ又ハ使用セシムル物件ヲ除ク

所屬ノ組合員、組合又ハ聯合會ヲシテ出資ヲ爲サシメサル左ノ法人

- 商業組合、商業組合聯合會、工業組合、工業組合聯合會、貿易組合、貿易組合聯合會、自動車運送業組合、自動車運送業組合聯合會

### 府税賦課徴收條例第十條第三號ノ規定ニ關スル件依命通牒

昭一六、一、一〇、議一二六  
各市區町村長、宛府總務部長  
除大阪市長

府税賦課徴收條例第十條第二號ノ規定ニ依ル公共組合並ニ標

- 青年團
- 町内會 (町内會ニ類スルモノヲ含ム)
- 警防團

二 左ニ掲クル者ニ於テ専ラ其ノ事業ノ用ニ供スル物件又ハ放送協會ニ於テ専ラ其ノ事業ノ用ニ供スル不動産ノ取得行爲但シ有料ニテ使用シ又ハ使用セシムルモノハ之ヲ除ク

放送協會  
新聞社

### 府税事務取扱ニ關スル件

昭和一六、二、四、議三九九  
各市區町長、宛府總務部長  
除大阪市長

府税事務取扱ニ關シ之カ統一ヲ期スルト共ニ昭和十六年度以降一部變更ヲ要スルモノ有之候條左記事項御留意ノ上萬遺憾ナキヲ期セラレ度

- 追而舊法ニ依ル税收入ノ取扱ハ従前ト異ラザルニ付爲念
- 記
- 一 各税ニ關スル報告書ニ關スル事項
  - (イ) 報告書ニ記載スル人員ハ徵稅傳令書數ニ依ルコト但シ摘要欄ニ其ノ實人員ヲ記載スルコト

記ノ件ニ付テハ客年十月三十日大阪府告示第七百五十一號及本日大阪府告示第十三號ヲ以テ夫々公布相成候處左記ノモノニ對シテモ當分ノ間府税賦課徴收條例第十條第三號ノ規定ニ依リ承認セララルル見込ニ有之候條御了知相成度

記

- 一 左ニ掲クル者ニ於テ専ラ其ノ事業ノ用ニ供スル物件又ハ専ラ其ノ事務所ノ用ニ供スル不動産ノ取得行爲但シ有料ニテ使用シ又ハ使用セシムルモノハ之ヲ除キ衛生組合ノ撒水並ニ塵芥運搬ニ專用スルモノ及警防團ノ警防專用ノモノノ外船舶ニ在リテハ一團體ニ付一艘、自動車ニ在リテハ一團體ニ付貨物自動車一輛ニ限ル
- 産業組合及産業組合聯合會
- 商業組合及商業組合聯合會 (所屬ノ組合員、組合又ハ聯合會ヲシテ出資セシメサルモノヲ除ク)
- 工業組合及工業組合聯合會 (同)
- 貿易組合及貿易組合聯合會 (同)
- 漁業組合漁業協同組合及漁業組合聯合會
- 自動車運送業組合及自動車運送業組合聯合會 (同)
- 農事實行組合
- 出荷組合
- 衛生組合
- 在郷軍人會

(ロ) 減額又ハ増額ニ關スル報告ニハ前徵稅命令書ノ發付月日及番號ヲ摘要欄ニ記載スルコト

(ハ) 前項ノ場合人員ハ同一人ニシテ一部減(増)額ノモノニ限り計上セザル様注意スルコト

二 府税拂込書ニ關スル事項

拂込書ニ記載スル人員ハ徵稅傳令書數ニ依ルコト

三 還付未済ノモノノ處理ニ關スル事項

(イ) 還付事由生シタルニ依リ調定減額爲シタルモノニシテ當該年度内ニ還付手續ヲ了スルコト能ハザルニ到リタル場合出納閉鎖期日ノ現在ニ依リ調査ノ上別記様式ニ依リ出納閉鎖後七日以内ニ知事ニ報告スルコト但シ人員ハ第一號(ハ)ニ準スルコト

(ロ) 前項ノ報告ト同時ニ調定ヲ復活スルコト但シ府税徵收報告書及各税目ノ欄外ニ該當金額ヲ附記スルコト

四 昭和十六年度以後ノ府税拂込ニ關スル事項

府税拂込ハ従前ノ定期隨時ノ區別ヲ廢シ昭和十六年度以降ハ「現年度分」「過年度分」「滯納繰越分」ノ三ニ區分シ拂込書ノ期別欄ニ明記スルコト(拂込書ハ従前通り税目別ニ作製スルコト)

別記様式

| 府税過誤納付金還付未済報告書 |    | 市區名 |    |
|----------------|----|-----|----|
| 税目             | 税額 | 人員  | 摘要 |
| 計              |    |     |    |
|                |    |     |    |
|                |    |     |    |
|                |    |     |    |
|                |    |     |    |

右及報告候也

年月日

知事宛 市 區 長 團

### 獨立税ノ不課税取扱ニ關スル件

#### 通牒

昭、一六、六、四、税一四七〇  
各財務出張所長 宛府總務部長  
各市區町村長

府税賦課徴收條例第十條ノ規定ニ依リ獨立税ヲ課セサルモノノ範圍等ニ關シテハ客年十月三十日大阪府告示第七百五十二號本年一月十日大阪府告示第十三號及同日付依命通牒ニ依リ夫々指定又ハ指示相成候處從前ノ府税賦課徴收條例ニ依リ不課税ノ取扱ヲ受ケタルモノニシテ府税賦課徴收條例第十條

二〇六

ニ該當スルモノハ同條例第二十條ノ規定ニ依リ更メテ知事ノ承認ヲ受ケシムル様取計相成度  
尙本年一月十日付依命通牒中新聞社ニ於テ專ラ其ノ事業ノ用ニ供スル物件トハ新聞社ニ於テ專ラ慈善事業ノ用ニ供スル物件ノミヲ指稱スル意ナルニ付申添候

### 府税滯納表並調表作製ニ關スル件

昭、一六、六、二、税一六〇〇  
各財務出張所長 宛府總務部長  
各市區

標記ノ件ニ關シ往々照會ノ向モ有之候ニ付テハ左記ノ廉御留意ノ上至急調製相成様致度爲念及通牒候也

#### 記

- 一 府税滯納表ニ關スル事項
  - (一) 新法分、舊法分ハ夫々ノ規定ニヨリ各別表ニスルコト
  - (二) 新法分(府税賦課徴收取扱規程第三十八條第二十五號様式)
    - イ 提出期限 六月十五日限
    - ロ 藝妓税欄ニハ市區長ハ八月分迄ノ獨立税藝妓税(市區長調定ニ係ル舊率分)ノミヲ掲記シ財務出張所長ハ特別徴收ノ藝妓税ノミヲ計上スルコト

### 府税賦課徴收條令中改正ニ關スル件通牒

昭一六、一〇、一、税、二六〇五  
各財務出張所長 宛府總務部長  
各市區町村長

本日大阪府條例第一號ヲ以テ府税賦課徴收條令中改正ノ件公布相成候處右ハ時局ニ鑑ミ民間ニ於ケル石油ノ消費ヲ極度ニ壓縮スル爲本年九月一日以降貨物用自動車及一部特定ノ乗用自動車ヲ除クノ外石油ノ配給ヲ停止シ石油専用ノ乗用自動車ノ運行ハ原則トシテ之ヲ停止セシムルコト、相成タルニ伴ヒ石油専用自動車ニシテ石油ノ消費規正強化ノ爲休車セル自動車ニ對シテハ自動車税ヲ課セザルヲ適當ト認メ又近時石油代用燃料使用装置ヲ施シ使用スル自動車ノ種類増加スルニ至リタルニ伴ヒ薪炭瓦斯發生装置ヲ施シ使用スル自動車トノ課税ノ均衡上之等ニ對シ賦課率ヲ低減スルヲ適當ト認メ斯ノ如キ改正ヲ行ヒ本年十月一ヨリ之ヲ施行セラレタル義ニ付左記事項御留意ノ上課税上遺憾ナキヲ期セラレ度

追テ昭和十三年九月一日議第三、〇一四號薪炭瓦斯使用自動車税輕減ニ關スル通牒ハ自然消滅ノ義ト御了承相成度

#### 一 一般的事項

(1) 府税賦課徴收條例ニ所謂「石油専用自動車ニシテ石油

二〇七

ハ 昭和十六年度分迄ハ様式中藝妓税ノ次ニ家屋税欄ヲ

設ケ家屋税附加税欄ノ記入ヲ要セズ

(三) 舊法分(府税賦課徴收取扱手續第三十六條第二十號様式)

イ 提出期限 六月十五日限

ロ 現年度分ニハ滯納繰越ニヨル調定額ハ之ヲ計上セサルコト

ハ 人員ハ各欄トモ一期二期隨時ヲ別記セス延人員ヲ記載ノコト

ニ 滯納繰越分ノミヲ既往年度分トシテ別表トスルコト

(四) 財務出張所長ハ昭和十五年六月二十八日付議第一千八百四十三號通牒ニ準シ舊法分ノ滯納表ヲ提出スルコト

二 府税調表ニ關スル事項(大正七年九月二十一日付議第三千六十七號通牒)

- イ 提出期限 七月三十一日
- ロ 調表ハ既往年度ノ滯納繰越分ヲ計上セサルコト
- ハ 獨立税藝妓税ハ新法ニ付雜種税藝妓税中ニ計上セサルコト
- ニ 新法令ノ府税ニ付テハ記載ヲ省略スルコト



消費規正強化ノ爲休車セル自動車」トハ専ラ石油ヲ燃料トシテ運行スル装置ノ自動車ニシテ石油ノ消費規正強化ノ爲其ノ運行ヲ停止セシメラレタル自動車ヲ指稱スルモノナルコト

(2) 府税賦課徴收條例ニ所謂「石油代用燃料使用装置」トハ薪炭瓦斯發生装置ハ勿論石炭ガス發生装置、コイライトガス發生装置、液化瓦斯發生装置、壓縮瓦斯發生装置、アセチレン瓦斯發生装置等石油ノ代用燃料ヲ使用スル装置ヲ指稱スルモノナルコト從ツテ電氣自動車ノ如キハ包含セザルコト

二 賦課ニ關スル事項

- (1) 石油専用自動車ニシテ石油消費規正強化ノ爲休車セル自動車（以下休車自動車ト稱ス）ガ課税スベキ自動車ト爲リタルトキハ其ノ翌月ヨリ月割ヲ以テ賦課スルコト
- (2) 賦課期日後課税自動車ガ休車ト爲リタルトキハ其ノ月迄月割ヲ以テ賦課スルコト
- (3) 賦課期日後石油専用自動車ヲ石油代用燃料使用装置自動車ニ改造シタルトキハ其ノ翌月ヨリ代燃自動車ニ對スル賦課率ヲ適用シ月割ヲ以テ賦課スルコト
- (4) 賦課期日後石油代用燃料使用装置自動車ヲ石油専用自動車ニ變更シタルトキハ其ノ翌月ヨリ石油専用自動車ニ對スル賦課率ヲ適用シ月割ヲ以テ賦課スルコト

三 賦課資料ニ關スル事項

- (1) 本年度第二期分ノ自動車税ヲ賦課スベキ自動車中本年十月一日現在ニ於ケル石油専用自動車（乗用ノミ）石油代用燃料使用装置自動車（乗用貨物用共但シ薪炭瓦斯發生装置自動車ヲ除ク）及ビ電氣自動車（乗用貨物用共）ニ付テハ其ノ種類、用途番號等ヲ本府ヨリ通知（町村分ハ財務出張所長以下同ジ）スベキニ付其ノ通知ヲ待ツテ處理スルコト從ツテ右通知スベキ自動車以外ノ自動車ノ賦課資料ハ從前通り市區役所又ハ町村役場ニ於テ調査スルコト
- (2) 本年十月一日現在ニ於ケル休車自動車ニ付テハ其ノ種類用途番號等ヲ本府ヨリ通知スルコト

四 異動通知其ノ他

- (1) 休車自動車ニシテ課税スベキ自動車ト爲リタルトキ又ハ課税自動車ニシテ休車自動車ト爲リタルトキハ其ノ都度種類用途番號等ヲ本府ヨリ通知スルコト
- (2) 自動車税ノ客體タル自動車ノ新調、廢車其他ノ異動ハ總ベテ現行通り本府ヨリ通知スルコト
- (3) 休車自動車ニ付テハ自動車臺帳中摘要欄ニ何年何月何日休車ト朱書シ之ガ課税自動車ト爲リタルトキハ何年何月何日課税車ト墨書スルコト

第三編 地方税法ニ關スル法律其ノ他

# 一 法令

## 地方税法 (昭、一五、三、二九、法律六〇)

### 第一章 總 則

#### 第一節 通 則

- 第一條 本法ニ於テ地方團體トハ府縣及市町村ヲ、地方稅トハ府縣稅及市町村稅ヲ謂フ。
- 2 本法ニ於テ條例トハ府縣條例及市町村條例ヲ謂フ。
- 3 本法中府縣ニ關スル規定ハ北海道地方費ニ、市町村ニ關スル規定ハ町村制ニ代ル制ヲ施行スル地ノ町村ニ之ヲ準用ス。
- 4 前項ノ場合ニ於テハ府縣稅、府縣知事、府縣吏員、府縣參事會又ハ府縣條例トアルハ夫々北海道地方稅、北海道廳長官、北海道地方費吏員、北海道參事會又ハ北海道條例トシ市町村稅、市町村長、市町村吏員、市町村會又ハ市町村條例トアルハ夫々町村制ニ代フル制ヲ施行スル地ノ町村ノ町村稅、町村長、町村吏員、町村會又ハ町村條例若ハ町村條例ニ代ル町村規則トス。
- 5 本法中市町村ニ關スル規定ヲ北海道ノ市ニ適用スル場合ニ於テハ府縣知事又ハ府縣參事會トアルハ夫々北海道廳長官又ハ北海道參事會トス。

### 第二條 府縣稅トシテ課スルコトヲ得ヘキモノ左ノ如シ

#### 一 普通 稅

國稅附加稅

#### 二 目的 稅

2 市町村稅トシテ課スルコトヲ得ベキモノ左ノ如シ

#### 一 普通 稅

國稅附加稅

#### 二 目的 稅

府縣稅附加稅

#### 二 目的 稅

第二條 地方團體ニ於テ地方稅及其ノ賦課徵收ニ關シ必要ナル事項ヲ定ムルハ條例ヲ以テ之ヲ爲スベシ

#### 第二節 賦 課

第四條 地方團體内ニ住所、居所、家屋敷、事務所又ハ營業所ヲ有スル者ハ地方稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

2 地方團體内ニ住所、居所、家屋敷、事務所又ハ營業所ヲ有セズト雖モ地方團體内ニ於テ土地、家屋又ハ物件ヲ所有シ、使用シ又ハ占有スル者ハ其ノ土地、家屋若ハ物件又ハ其ノ收入ニ對シ課スル地方稅ヲ、地方團體内ニ於テ一定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ行爲ニ對シ課スル地方稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

**第五條** 法人合併シタル場合ニ於テ合併後存続スル法人又ハ合併ニ因リ設立シタル法人ハ合併ニ因リ消滅シタル法人ニ賦課セラルベキ地方税ヲ納ムル義務ヲ負フ

**2** 法人解散シタル場合ニ於テ其ノ法人ニ賦課セラルベキ地方税ヲ納付セズシテ殘餘財産ヲ分配シタルトキハ清算人ハ殘餘財産ノ價額ヲ限度トシテ連帶シテ其ノ法人ニ賦課セラルベキ地方税ヲ納ムル義務ヲ負フ

**3** 相續開始アリタル場合ニ於テ相續人又ハ相續財團ハ相續開始前ノ事實ニ付被相續人ニ賦課セラルベキ地方税ヲ納ムル義務ヲ負フ但シ國籍喪失ニ因リ相續人又ハ限定承認ヲ爲シタル相續人ハ相續ニ因リテ得タル財産ノ價額ヲ限度トシテ其ノ義務ヲ負ヒ戸主ノ死亡以外ノ原因ニ因リ家督相續ノ開始アリタルトキハ被相續人モ亦其ノ義務ヲ負フ

**第六條** 納税義務者ノ地方團體外ニ於テ所有シ、使用シ若ハ占有スル土地、家屋若ハ物件又ハ其ノ收入ニ對シテハ地方税ヲ課スルコトヲ得ズ地方團體外ニ於テ營業所ヲ設ケテ爲ス營業又ハ其ノ收入ニ對シ亦同ジ

**第七條** 數府縣ニ於テ營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲ス者ニ關係府縣ニ於テ賦課スル營業稅附加稅(營業稅割ヲ含ム)ノ課稅標準タルベキ本稅額ハ本稅ヲ決定シタル稅務官署ノ定ムル所ニ依ル

**2** 稅務官署ハ本稅ヲ決定シタルトキハ直ニ前項ノ規定ニ依リ

本稅額ヲ定メ之ヲ關係府縣知事ニ通知スベシ

**3** 關係府縣知事ニ於テ第一項ノ規定ニ依リ稅務官署ノ定メタル本稅額ニ異議アルトキハ內務大臣及大藏大臣本稅額ヲ定ム

**4** 前項ノ異議ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ申出ツヘシ

**5** 內務大臣及大藏大臣第三項ノ異議ノ申出ヲ受理シタルトキハ三月以内ニ之ヲ決定スヘシ

**第八條** 同一府縣内又ハ數府縣内ノ數市町村ニ於テ營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲ス者ニ關係市町村ニ於テ賦課スル營業稅附加稅(營業稅割ヲ含ム)ノ課稅標準タルベキ本稅額ハ左ノ各號ノ定ムル所ニ依ル

一 關係市町村同一府縣内ニ在ルトキハ當該市町村ニ付府縣知事ノ定ムル額

二 關係市町村數府縣ニ互ル場合ニ於テ一府縣内ノ關係市町村一ナルトキハ前條ノ規定ニ依リ定リタル當該府縣ノ本稅額

三 關係市町村數府縣ニ互ル場合ニ於テ一府縣内ノ關係市町村ニ以上ナルトキハ前條ノ規定ニ依リ定リタル當該府縣ノ本稅額ニ基キ當該市町村ニ付府縣知事ノ定ムル額

**2** 前項ノ規定ニ依リ定リタル本稅額ハ府縣知事直ニ之ヲ關係市町村長ニ通知スヘシ

**3** 關係市町村長ニ於テ第一項第一號又ハ第三號ノ規定ニ依リ府縣知事ノ定メタル本稅額ニ異議アリタルトキハ本稅額ハ內務大臣及大藏大臣之ヲ定ム

**4** 前條第四項及第五項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

**第九條** 鑛區又ハ砂鑛區カ數府縣又ハ數市町村ニ互ル場合ニ關係地方團體ニ於テ賦課スル鑛區稅附加稅ノ課稅標準タルベキ本稅額ハ鑛區又ハ砂鑛區ノ面積ニ依リ本稅ヲ按分シタルモノニ依ル

**2** 漁場ガ數市町村ニ互ル場合ニ關係市町村ニ於テ賦課スル漁業權稅附加稅ノ課稅標準タルベキ本稅額ハ漁場ノ面積ニ依リ本稅ヲ按分シタルモノニ依ル

**第十條** 年稅又ハ期稅タル地方税ノ賦課期日後納稅義務ノ發生シタル者ニハ其ノ發生シタル月ノ翌月ヨリ月割ヲ以テ地方税ヲ賦課ス

**2** 前項ノ地方税ノ賦課期日後納稅義務ノ消滅シタル者ニハ其ノ消滅シタル月迄月割ヲ以テ地方税ヲ賦課ス

**3** 第一項ノ地方税ノ賦課後其ノ課稅客體ノ承繼アリタル場合ニ於テハ前ノ納稅者ノ納稅ヲ以テ後ノ納稅義務者ノ納稅ト看做シ前二項ノ規定ヲ適用セズ

**4** 命令ヲ以テ指定スル稅目ニ付テハ第二項ノ規定ニ拘ラズ賦課後納稅義務消滅スルモ既ニ交付シタル徵稅令書又ハ徵稅傳令書ニ記載シタル賦課額ハ之ヲ變更セズ

**5** 月稅タル地方税ノ賦課期日後納稅義務ノ發生シタル者ニハ其ノ發生シタル月ノ翌月ヨリ地方税ヲ賦課シ其ノ賦課期日後納稅義務ノ消滅シタル者ニハ其ノ消滅シタル月分ノ全額ヲ賦課ス

**6** 一ノ地方團體ニ於テ納稅義務消滅シ他ノ地方團體ニ於テ納稅義務發生シタルトキハ納稅義務ノ發生シタル地方團體ハ納稅義務ノ消滅シタル地方團體ニ於テ賦課シタル部分ニ付テハ地方税ヲ賦課スルコトヲ得ズ

**第十一條** 國稅附加稅(地租割、家屋稅割及營業稅割ヲ含ム)ノ賦課率ハ本稅ノ屬スル年ノ四月一日ニ始ル年度ノ賦課率ニ依ル但シ法人ノ營業稅附加稅(營業稅割ヲ含ム)ノ賦課率ハ法人ノ事業年度終了ノ日又ハ合併若ハ解散ノ日ノ屬スル年度ノ賦課率ニ依ル

**2** 府縣稅附加稅(府縣稅獨立稅割及市町村稅獨立稅割ヲ含ム)ノ賦課率ハ本稅ノ屬スル年度ノ賦課率ニ依ル

**第十二條** 左ニ掲グルモノニ對シテハ地方税ヲ課スルコトヲ得ズ但シ第一號、第三號及第四號ニ掲グル土地、家屋又ハ物件ヲ他ニ使用收益セシムル場合ニ於テ其ノ使用收益ヲ爲ス者ニ課スルハ此ノ限ニ在ラス

一 神社、寺院又ハ教會ノ用ニ供スル建物及其ノ境内地又ハ構内地但シ有料ニテ使用スルモノヲ除ク

二 國、地方團體其ノ他勅令ヲ以テ指定スル公共團體ノ事業又ハ行爲

三 國、地方團體其ノ他勅令ヲ以テ指定スル公共團體ニ於テ公用又ハ公共用ニ供スル家屋又ハ物件但シ有料ニテ使用スルモノヲ除ク

四 國有ノ土地、家屋又ハ物件

五 地租法第六十五條及第六十六條ノ規定ニ依リ地租ヲ免除セラレタル土地但シ其ノ年度分ニ限ル

2 前項ニ掲グルモノヲ除クノ外地方稅ヲ課スルコトヲ得サルモノハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條 地方團體ハ公益上其ノ他ノ事由ニ因リ課稅ヲ不適當トスルトキハ課稅ヲ爲ササルコトヲ得

2 地方團體ハ公益上其ノ他ノ事由ニ因リ必要アルトキハ不均一ノ課稅ヲ爲スコトヲ得

第十四條 地方團體ノ一部ニ對シ特ニ利益アル事件ニ關シテハ地方團體ハ不均一ノ課稅ヲ爲シ又ハ其ノ一部ニ課稅ヲ爲スコトヲ得

第三節 徵收

第十五條 市町村ハ其ノ市町村内ノ府縣稅ヲ徵收シ之ヲ府縣ニ納入スルノ義務ヲ負フ但シ第十七條第二項、第三十五條第一項又ハ第四十二條第一項ノ規定ニ依リ徵收スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

2 府縣ハ前項ノ規定ニ依ル徵收ノ費用ヲ補償スル爲徵收金額

ハ其ノ委任ヲ受ケタル市町村吏員ハ徵稅令書ヲ納稅者ニ交付スベシ

第十九條 第十七條第一項ノ徵稅傳令書又ハ前條ノ徵稅令書ヲ受ケタル納稅者ハ其ノ稅金ヲ市町村ニ拂込ミ其ノ領收證ヲ得テ納稅ノ義務ヲ了ス

2 第十七條第二項ノ徵稅令書ヲ受ケタル納稅者ハ其ノ稅金ヲ府縣ニ拂込ミ其ノ領收證ヲ得テ納稅ノ義務ヲ了ス

3 市町村ハ其ノ徵收シタル府縣稅ヲ府縣ニ拂込ミ其ノ領收證ヲ得テ稅金納入ノ義務ヲ了ス

4 稅金ノ拂込又ハ納入ニ付郵便振替貯金ノ方法ニ依リタル場合ニ於テハ納稅者又ハ市町村ハ稅金ヲ郵便官署ニ拂込ムニ依リテ其ノ義務ヲ了ス

第二十條 府縣稅ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ徵稅令書又ハ徵稅傳令書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ府縣知事ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

2 市町村稅ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ徵稅令書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ市町村長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

3 前二項ノ異議ノ申立アリタルトキハ府縣知事又ハ市町村長ハ七日以内ニ之ヲ府縣參事會又ハ市參事會若ハ町村會ノ決定ニ付スヘシ

及徵稅傳令書數ニ應シ府縣條例ノ定ムル所ニ依リ其ノ市町村ニ對シ取扱費ヲ交付スヘシ

3 前項ノ規定ニ依ル府縣條例ノ規定ハ內務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第十六條 市町村避クヘカラサル事故ニ因リ既收ノ府縣稅ヲ失ヒタルトキハ府縣知事ハ其ノ申請ニ依リ稅金納入ノ義務ヲ免除スヘシ

2 府縣知事前項ノ申請ヲ受理シタル日ヨリ三月以内ニ前項ノ規定ニ依ル免除ヲ爲ササルトキハ市町村ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

3 前項ノ規定ニ依ル訴願ノ提起ハ處分ヲ受ケタル日又ハ之ヲ受ケスシテ前項ノ期間ヲ經過シタルトキヨリ二十一日以内ニ之ヲ爲スヘシ

4 內務大臣訴願ヲ受理シタル時ハ三月以内ニ之ヲ裁決スヘシ

第十七條 府縣稅ヲ賦課徵收セントスルトキハ府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏若ハ府縣吏員ハ市町村ニ對シ徵稅命令書ヲ發シ市町村長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル市町村吏員ハ徵稅命令書ニ依リ徵稅傳令書ヲ調製シ之ヲ納稅者ニ交付スベシ

2 府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏若ハ府縣吏員ハ納稅者ニ對シ直接ニ徵稅令書ヲ交付スルコトヲ得

第十八條 市町村稅ヲ賦課徵收セントスルトキハ市町村長又

4 前項ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣稅ニ付テハ行政裁判所ニ出訴シ市町村稅ニ付テハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得第六項ノ訴願ニ對スル裁決ニ不服アルトキ亦同シ

5 第三項ノ府縣參事會ノ決定ニ付テハ府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏若ハ府縣吏員ヨリモ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

6 第三項ノ市參事會又ハ町村會ノ決定ニ付テハ市町村長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル市町村吏員ヨリモ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

7 第四項ノ裁決又ハ前項ノ訴願ニ對スル裁決ニ付テハ市町村長若ハ其ノ委任ヲ受ケタル市町村吏員又ハ府縣知事ヨリモ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

8 府縣制第二百二十八條及第二百二十八條ノ二ノ規定ハ前七項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十一條 府縣稅ノ徵稅令書若ハ徵稅傳令書又ハ市町村稅ノ徵稅令書ヲ受ケタル納稅者納期限迄ニ稅金ヲ完納セサルトキハ府縣知事若ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏若ハ吏員又ハ市町村長若ハ其ノ委任ヲ受ケタル市町村吏員ハ遲クトモ納期限後二十日目迄ニ督促狀ヲ發スヘシ

2 督促狀ニハ條例ヲ以テ定ムル期間内ニ於テ相當ノ期限ヲ指定スヘシ

- 3 特別ノ事情アル地方團體ニ於テハ條例ヲ以テ第一項ニ規定スル期限ト異リタル期限ヲ定ムルコトヲ得
- 第二十二條 前條ノ督促狀ヲ發シタルトキハ手数料ヲ徵收スヘシ
- 2 前項ノ手数料ノ額ハ條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ
- 3 府縣稅ニ關シ市町村吏員ヲシテ督促狀ヲ發セシメタル場合ニ於ケル手数料ハ其ノ市町村ノ收入トス
- 第二十三條 第二十一條ノ規定ニ依ル督促ヲ受ケタル者督促狀ノ指定期限迄ニ税金及督促手数料ヲ完納セサルトキハ府縣知事若ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏若ハ吏員又ハ市町村長若ハ其ノ委任ヲ受ケタル市町村吏員ハ條例ヲ以テ定ムル期間内ニ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ
- 2 前項ノ規定ニ依ル處分ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 3 前項ノ裁決ニ付テハ府縣稅ニ在リテハ府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏若ハ吏員市町村稅ニ在リテハ市町村長若ハ其ノ委任ヲ受ケタル市町村吏員又ハ府縣知事ヨリモ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 4 第一項ノ規定ニ依ル處分中差押物件ノ公賣ハ差押處分ノ確定ニ至ル迄之ヲ停止ス
- 5 第一項ノ規定ニ依ル處分ハ其ノ地方團體ノ區域外ニ於テモ亦之ヲ爲スコトヲ得

- 6 府縣制第三十八條、第二百二十八條及第二百二十八條ノ二ノ規定ハ第二項及第三項ノ場合ニ之ヲ準用ス
- 第二十四條 督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ一日ニ付税金額ノ一萬分ノ四以内ニ於テ條例ノ定ムル割合ヲ以テ納期限ノ翌日ヨリ税金完納又ハ財產差押ノ日ノ前日迄ノ日數ニ依リ計算シタル延滞金ヲ徵收スヘシ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス
- 一 徵稅令書又ハ徵稅傳令書一通ノ税金額五圓未滿ナルトキ
- 二 納期ヲ繰上ケ徵收ヲ爲ストキ
- 三 納稅者ノ住所及居所カ不明ナル爲又ハ帝國内ニ在ラサル爲公示送達ノ方法ニ依リ納稅ノ命令又ハ督促ヲ爲シタルトキ
- 四 滯納ニ付酌量スヘキ情狀アリト認ムルトキ
- 2 督促狀ノ指定期限迄ニ税金及督促手数料ヲ完納シタルトキハ延滞金ハ之ヲ徵收セス
- 第二十五條 府縣ノ徵收金(府縣稅並ニ其ノ督促手数料、延滞金及滯納處分費)ハ國ノ徵收金ニ、市町村ノ徵收金(市町村稅並ニ其ノ督促手数料、延滞金及滯納處分費)ハ府縣ノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徵、還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル但シ附加稅タル地方稅ニシテ本稅ノ決定ニ因リ賦課シ得ルニ至ルモノノ時効ハ本稅決定ノ日ヨリ進

行ス

- 2 第二十三條第二項及第三項並ニ府縣制第二百二十八條及第二百二十八條ノ二ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
- 第二十六條 納稅者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ既ニ徵稅令書又ハ徵稅傳令書ヲ交付シタル地方稅ニ付テハ納期前ト雖モ納稅義務ノ確定シタル税金ノ全額ヲ徵收スルコトヲ得
- 一 國稅、地方稅其ノ他ノ公課又ハ徵收ノ囑託ヲ受ケタル滿洲國ノ國稅ニ付滯納處分ヲ受クルトキ
- 二 強制執行ヲ受クルトキ
- 三 破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ
- 四 相續人限定承認ヲ爲シタルトキ
- 五 競賣ノ開始アリタルトキ
- 六 法人解散シタルトキ
- 七 納稅者遁脱ヲ圖ルノ行爲アリト認ムルトキ
- 2 前項ノ規定ニ依ル徵收ニ付テハ國稅徵收ノ例ニ依ル
- 第二十七條 府縣知事又ハ市町村長ハ條例ノ定ムル所ニ依リ納稅者中特別ノ事情アル者ニ對シ納稅延期ヲ許スコトヲ得
- 第二十八條 府縣知事又ハ市町村長ハ特別ノ事情アル場合又ハ特別ノ事情アル者ニ限リ府縣參事會又ハ市町村會ノ議決ヲ經テ地方稅ヲ減免スルコトヲ得
- 第二十九條 法人合併シタル場合ニ於テ合併ニ困リ消滅シタル法人ノ未納ニ係ル地方稅並ニ其ノ督促手数料、延滞金及

- 滯納處分費アルトキハ合併後存続スル法人又ハ合併ニ因リ設立シタル法人之ヲ納付スル義務ヲ負フ
- 2 法人解散シタル場合ニ於テ其ノ法人ノ未納ニ係ル地方稅並ニ其ノ督促手数料、延滞金及滯納處分費ヲ納付セズシテ殘餘財產ヲ分配シタルトキハ清算人ハ殘餘財產ノ價額ヲ限度トシテ連帶シテ之ヲ納付スル義務ヲ負フ
- 3 相續開始アリタル場合ニ於テ相續開始前ノ事實ニ付被相續人ノ未納ニ係ル地方稅並ニ其ノ督促手数料、延滞金及滯納處分費アルトキハ相續人又ハ相續財團之ヲ納付スル義務ヲ負フ但シ國籍喪失ニ因リ相續人又ハ限定承認ヲ爲シタル相續人ハ相續ニ因リテ得タル財產ノ價額ヲ限度トシテ其ノ義務ヲ負ヒ戸主ノ死亡以外ノ原因ニ因リ家督相續ノ開始アリタルトキ被相續人モ亦其ノ義務ヲ負フ
- 第二十條 共有物、共同事業、共同事業ニ因リ生シタル物件又ハ共同行爲ニ對スル地方稅並ニ其ノ督促手数料、延滞金及滯納處分費ハ納稅者連帶シテ之ヲ納付スル義務ヲ負フ
- 2 公賣及競賣以外ノ原因ニ因リ鑛業權ノ移轉アリタル場合ニ於テ未納ニ係ル地方稅並ニ其ノ督促手数料、延滞金、滯納處分費アルトキハ新鑛業權者ハ舊鑛業權者ト連帶シテ之ヲ納付スル義務ヲ負フ
- 第二十一條 同一年度ノ地方稅ニシテ既納ノ税金過納ナルトキハ爾後ノ納期ニ於テ徵收スヘキ同一稅目ノ税金ニ充ツル



人又ハ財産所在地ノ當該官吏又ハ吏員ニ其ノ徵收ヲ囑託スルコトヲ得

2 前項ノ場合ニ於ケル徵收金ノ徵收ハ囑託ヲ受ケタル者ノ屬スル地方團體ニ於ケル徵收ノ例ニ依ル

3 第一項ノ規定ニ依リ徵收ノ囑託ヲ爲シタル場合ニ於テハ囑託ニ係ル事務及送金ニ要スル費用ハ囑託ヲ受ケタル者ノ屬スル地方團體ノ負擔トシ囑託ニ係ル事務ニ伴フ督促手後料及滞納處分費ハ囑託ヲ受ケタル者ノ屬スル地方團體ノ收入トス

### 第二章 普通税

#### 第一節 府縣税

##### 第一款 附加税

第四十四條 國稅附加税トシテ課スルコトヲ得ベキ府縣税左ノ如シ

地租附加税

家屋税附加税

營業税附加税

鑛區税附加税

2 地租附加税ノ課税ニ付テハ地租法第七十條ノ規定ニ依ル地租ノ免除ハ之ヲ爲ササルモノト看做ス

第四十五條 地租附加税、家屋税附加税及營業税附加税ノ賦課率ハ同一府縣ニ於テハ之ヲ同一ト爲スヘシ但シ負擔ノ均

衡上特ニ必要アルトキハ此ノ限リニ在ラス

第四十六條 地租附加税、家屋税附加税又ハ營業税附加税ノ賦課率カ本税ノ百分ノ百ヲ超ユルトキハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ但シ左ニ掲クル場合ニ於テ賦課率カ本税ノ百分ノ百二十ヲ越エサルトキハ此ノ限ニ在ラス

一 災害應急費、災害復舊費、傳染病豫防費及國營事業費負擔金ニ充ツル爲借入タル負債ノ元利償還ノ爲費用ヲ要スルトキ

二 災害應急又ハ復舊ノ爲費用ヲ要スルトキ

三 傳染病豫防ノ爲費用ヲ要スルトキ

第四十七條 鑛區税附加税ノ賦課率ハ本税ノ百分ノ十ヲ超ユルコトヲ得ス

#### 第二款 獨立税

第四十八條 獨立税トシテ課スルコトヲ得ヘキ府縣税左ノ如シ

段別税

船舶税

自動車税

電柱税

不動産取得税

漁業權税

狩獵者税

### 藝妓税

第四十九條 段別税ハ減租年期地及免租年期地（減租年期地又ハ免租年期地ニ類スル土地ヲ含ム以下之ニ同シ）ニ對シ評定賃賃價格ヲ標準トシテ其ノ所有者（質權又ハ百年ヨリ長キ存續期間ノ定アル地上權ノ目的タル土地ニ付テハ其ノ質權者又ハ地上權者）ニ之ヲ課ス但シ減租年期地又ハ免租年期地ト爲リタル年ノ四月一日ニ始ル年度及其ノ翌年度ヨリ二年度間ハ之ヲ課スルコトヲ得ス

2 前項ノ評定賃賃價格ハ類地ノ賃賃價格ニ比準シ當該土地ノ品位及情況ニ應シ府縣條例ノ定ムル所ニ依リ府縣知事之ヲ定ムヘシ

3 段別税ノ賦課率ハ地租ノ税率ニ其ノ府縣ニ於ケル地租附加税ノ賦課率ヲ乘シタルモノヲ超ユルコトヲ得ス

4 府縣ノ全部又ハ一部ニ亘ル災害又ハ天候不順ニ因リ收穫皆無ニ歸シタル田畑ニ付テハ納稅義務者ノ申請ニ依リ其ノ年度分ノ段別税ハ之ヲ免除スヘシ

5 段別税ヲ課スル府縣ニ於テハ減租年期地ニ對シテハ地租附加税ヲ課スルコトヲ得ス但シ第一項但書ノ規定ニ依リ段別税ヲ課セサル期間地租附加税ヲ課スルハ此ノ限ニ在ラス

6 段別税ハ耕地整理法第十三條ノ三ノ規定ニ依ル耕地整理減租年期地ニ對シテハ之ヲ課スルコトヲ得ズ但シ開墾減租年期、地目變換減租年期若ハ荒地免租年期ノ許可ヲ受ケタル

場合又ハ耕地整理法第十六條ノ三ノ規定、其ノ準用規定若ハ昭和六年法律第二十九號附則第十五條ノ規定ニ依リ賃賃價格ガ定メラレタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十條 船舶税ハ總噸數二十噸以上ノ船舶ニ對シ主タル定繫場所在ノ府縣ニ於テ其ノ所有者ニ之ヲ課ス

2 主タル定繫場不明ナルトキハ定繫場所在ノ府縣中船籍港ノ存スル府縣ニ主タル定繫場アルモノト看做ス

3 前二項ノ規定ノ適用ニ付關係府縣知事意見ヲ異ニスルトキハ其ノ申出ニ依リ内務大臣之ヲ定ム

第五十一條 自動車税ハ自動車ニ對シ主タル定置場所在ノ府縣ニ於テ其ノ所有者ニ之ヲ課ス

第五十二條 電柱税ハ電柱ニ對シ其ノ所在ノ府縣ニ於テ其ノ所有者ニ之ヲ課ス

第五十三條 不動産取得税ハ不動産ノ取得ニ對シ其ノ不動産所在ノ府縣ニ於テ其ノ取得者ニ之ヲ課ス

2 左ニ掲グル不動産ノ取得ニ對シテハ不動産取得税ヲ課スルコトヲ得ズ

一 家督相續又ハ遺産相續ニ因ル不動産ノ取得

二 法人ノ合併ニ因ル不動産ノ取得

三 保險業法ニ依リ會社ガ其ノ保險契約全部ノ移轉契約ニ依リテ不動産ヲ移轉スル場合ニ於ケル不動産ノ取得

四 委託者ヨリ受託者ニ信託財産ヲ移ス場合ニ於ケル不動産ノ取得

産ノ取得

五 委託者ノミカ信託財産ノ元本ノ受益者タル信託ニ因リ  
受託者ヨリ受益者ニ信託財産ヲ移ス場合ニ於ケル不動産  
ノ取得  
六 信託ノ受託者更迭ノ場合ニ於ケル新受託者ノ不動産ノ  
取得

第五十四條 漁業權稅ハ漁業權(入漁權ヲ除ク)又ハ其ノ取  
得ニ對シ其ノ漁場所在ノ府縣ニ於テ其ノ漁業權者又ハ漁業  
權取得者ニ之ヲ課ス

2 前條第二項第一號及第二號ノ規定ハ前項ノ漁業權ノ取得ニ  
對スル漁業權稅ノ課稅ニ付之ヲ準用ス

第五十五條 狩獵者稅ハ狩獵ノ免許ヲ受クル者ニ對シ其ノ住  
所所在ノ府縣ニ於テ之ヲ課ス

第五十六條 藝妓稅ハ藝妓其ノ他之ニ類スル者ニ對シ其ノ住  
所所在ノ府縣ニ於テ之ヲ課ス

第二節 市町村稅

第一款 附加稅

第五十七條 國稅附加稅トシテ課スルコトヲ得ヘキ市町村稅  
左ノ如シ

- 地租附加稅
- 家屋稅附加稅
- 營業稅附加稅

鑛區稅附加稅

2 第四十四條第二項ノ規定ハ前項ノ地租附加稅ノ課稅ニ付之  
ヲ準用ス

第五十八條 府縣稅附加稅トシテ課スルコトヲ得ヘキ市町村  
稅左ノ如シ

段別稅附加稅

船舶稅附加稅

自動車稅附加稅

電柱稅附加稅

不動産取得稅附加稅

漁業權稅附加稅

狩獵者稅附加稅

藝妓稅附加稅

第五十九條 地租附加稅、家屋稅附加稅及營業稅附加稅ノ賦  
課率ハ同一市町村ニ於テハ之ヲ同一ト爲スベシ但シ負擔ノ  
均衡上特ニ必要アル場合ニ於テ府縣知事ノ許可ヲ受ケタル  
トキハ此ノ限ニ在ラス

第六十條 府縣稅附加稅(段別稅附加稅ヲ除ク)ノ賦課率ハ  
同一市町村ニ於テハ之ヲ同一ト爲スベシ但シ負擔ノ均衡上  
特ニ必要アルトキハ此ノ限ニ在ラス

2 段別稅附加稅ノ賦課率ハ地租ノ稅率ニ其ノ市町村ニ於ケル  
地租附加稅ノ賦課率ヲ乘ジタルモノヲ當該府縣ニ於ケル段

屠畜稅

犬稅

2 府縣ニ於テ第四十八條ニ掲グル獨立稅ヲ課セザルモノアル  
トキハ市町村ハ之ヲ市町村ノ獨立稅トシテ課スルコトヲ得

3 市町村ハ前二項ニ掲グルモノノ外別ニ稅目ヲ起シテ獨立稅  
ヲ課スコトヲ得

4 前項ノ獨立稅ノ新設及變更ニ付テハ內務大臣及大藏大臣ノ  
許可ヲ受クベシ

第六十四條 市町村民稅ハ左ニ掲グル者ニ對シ之ヲ課ス但シ  
貧困ニ因リ生活ノ爲公私ノ救助ヲ受ケ又ハ扶助ヲ受クル者  
ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

一 市町村内ニ一戸ヲ構フル個人又ハ一戸ヲ構ヘザルモ獨  
立ノ生計ヲ營ム個人

二 前號ニ該當セザルモ市町村内ニ事務所、營業所又ハ家  
屋敷ヲ有スル個人

三 市町村内ニ事務所又ハ營業所ヲ有スル法人

2 前項第三號ノ法人ニ付テハ其ノ事務所又ハ營業所毎ニ市町  
村民稅ヲ課ス

第六十五條 市町村民稅ノ賦課期日ハ十月一日トス

2 前項ニ定ムルモノノ外市町村民稅ノ課稅方法ハ市町村條例  
ヲ以テ之ヲ規定スベシ

3 第六條及第十條ノ規定ハ市町村民稅ニ付テハ之ヲ適用セズ

第六十二條 鑛區稅附加稅ノ賦課率ハ本稅ノ百分ノ十ヲ超ユ  
ルコトヲ得ス

第二款 獨立稅

第六十三條 獨立稅トシテ課スルコトヲ得ヘキ市町村稅左ノ  
如シ

- 市町村民稅
- 舟稅
- 自轉車稅
- 荷車稅
- 金庫稅
- 扇風機稅



第六十六條 市町村民税ノ納稅義務者一人ニ對スル賦課額ハ

左ノ金額ヲ超ユルコトヲ得ズ  
人口七十萬以上ノ市 二千圓  
其ノ他ノ市 千五百圓  
町 千圓  
村 四圓

2 市町村民税ノ賦課總額ハ左ノ金額ニ第六十四條ニ定ムル納稅義務者數ヲ乘ジタル額ヲ超ユルコトヲ得ズ

人口七十萬以上ノ市 八圓  
其ノ他ノ市 六圓  
町 四圓  
村 四圓

3 前二項ノ規定ノ適用ニ付テハ第六十四條第一項第三號ノ法人ハ其ノ事務所又ハ營業所毎ニ獨立ノ納稅義務者ト看做ス

第六十七條 舟税ハ總噸數二十噸未滿ノ舟ニ對シ主タル定繫所所在ノ市町村ニ於テ其ノ所有者ニ之ヲ課ス

2 主タル定繫所不明ナルトキハ定繫所所在ノ市町村中船籍港ノ存スル市町村ニ主タル定繫所アルモノト看做ス

3 前二項ノ規定ノ適用ニ付關係市町村長意見ヲ異ニスルトキハ其ノ申出ニ依リ府縣知事(關係市町村數府縣ニ互ル場合ニ於テハ內務大臣)之ヲ定ム

第六十八條 自轉車税ハ自轉車ニ對シ其ノ定置所所在ノ市町村ニ於テ其ノ所有者ニ之ヲ課ス

第六十九條 荷車税ハ荷車ニ對シ其ノ定置所所在ノ市町村ニ於テ其ノ所有者ニ之ヲ課ス

於テ其ノ所有者ニ之ヲ課ス

第七十條 金庫税ハ金庫ニ對シ其ノ所在ノ市町村ニ於テ其ノ所有者ニ之ヲ課ス

第七十一條 扇風機税ハ扇風機ニ對シ其ノ所在ノ市町村ニ於テ其ノ使用者ニ之ヲ課ス

第七十二條 屠畜税ハ屠畜ニ對シ其ノ屠殺場所在ノ市町村ニ於テ其ノ獸畜ノ所有者ニ之ヲ課ス

第七十三條 犬税ハ犬ニ對シ其ノ飼育所所在ノ市町村ニ於テ其ノ所有者ニ之ヲ課ス

第七十四條 第四十九條乃至第五十六條ノ規定ハ第六十三條第二項ノ規定ニ依リ獨立税ノ課税ニ付之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ第五十條第三項中內務大臣トアルハ府縣知事(關係市町村數府縣ニ互ル場合ニ於テハ內務大臣)トス

第三章 目的税

第七十五條 府縣ハ都市計畫法ノ施行ニ要スル費用ニ充ツル爲左ノ都市計畫税ヲ課スルコトヲ得

地租ノ百分ノ二十五以內  
家屋税ノ百分ノ二十五以內  
營業税ノ百分ノ二十五以內  
府縣税獨立税ノ百分ノ十三以內

2 第四十四條第二項ノ規定ハ前項ノ地租割ノ課税ニ付之ヲ準用ス

水利税ノ賦課額(數年ヲ期シテ賦課スルトキハ其ノ總額)ハ當該土地ノ受益ノ限度ヲ超ユルコトヲ得ズ

第七十八條 市町村ハ水利ニ關スル事業其ノ他土地ノ利益ト爲ルヘキ事業ニ要スル費用ニ充ツル爲該事業ニ因リ特ニ利益ヲ受クル土地ニ對シ左ノ水利地益税ヲ課スルコトヲ得

地租ノ百分ノ六十八以內  
家屋税ノ百分ノ六十八以內  
營業税ノ百分ノ六十八以內  
府縣税獨立税ノ百分ノ三十四以內

2 市町村民税ニ對シテハ市町村税獨立税割ヲ課スルコトヲ得

3 市町村ハ第一項ニ掲グルモノノ外別ニ税目ヲ起シテ都市計畫税ヲ課スルコトヲ得

4 前項ノ都市計畫税ノ新設及變更ニ付テハ內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ

5 第四十四條第二項ノ規定ハ第一項ノ地租割ノ課税ニ付之ヲ準用ス

第七十七條 府縣ハ水利ニ關スル事業ニ要スル費用ニ充ツル爲該事業ニ因リ特ニ利益ヲ受クル土地ニ對シ左ノ水利税ヲ課スルコトヲ得

地租割 地租ノ百分ノ六十八以內  
家屋税割 家屋税ノ百分ノ六十八以內  
營業税割 營業税ノ百分ノ六十八以內  
府縣税獨立税割 府縣税獨立税ノ百分ノ三十四以內  
市町村税獨立税割 市町村税獨立税ノ百分ノ三十四以內  
市町村民税ニ對シテハ市町村税獨立税割ヲ課スルコトヲ得

地租割 地租ノ百分ノ二十五以內  
家屋税割 家屋税ノ百分ノ二十五以內  
營業税割 營業税ノ百分ノ二十五以內  
府縣税獨立税割 府縣税獨立税ノ百分ノ十三以內  
市町村民税ニ對シテハ市町村税獨立税割ヲ課スルコトヲ得

ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

- 2 前項ニ定ムルモノノ外地方税ノ賦課徴収ニ關シテハ條例ヲ以テ二十圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得
- 3 府縣稅ノ賦課徴収ニ關シ過料ヲ科セラレタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 4 市町村稅ノ賦課徴収ニ關シ過料ヲ科セラレタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 5 前項ノ裁決ニ付テハ市町村長又ハ府縣知事ヨリモ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 6 第二十一條乃至第二十三條及第二十五條並ニ府縣制第二百二十八條及第二百二十八條ノ二ノ規定ハ前五項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十一條 地方税ノ賦課ニ關シ必要アル場合ニ於テハ當該官吏及吏員ハ日出ヨリ日没迄ノ間、事業經營者ニ關シテハ仍其ノ執務時間内家宅、事務所若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ檢査ヲ爲スコトヲ得

2 前項ノ場合ニ於テハ當該官吏及吏員ハ其ノ身分ヲ證明スヘキ證票ヲ携帯スヘシ

第八十二條 町村組合ニシテ町村事務ノ全部ヲ共同處理スルモノハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ一町村、其ノ組合會ハ之ヲ町村會、其ノ組合管理者ハ之ヲ町村長、其ノ組合吏員ハ之

ヨリ之ヲ適用ス

2 昭和十六年度分迄ニ限リ段別稅及同附加稅ノ課稅ニ關シ本法ニ依リ難キ事情アルトキハ府縣ニ在リテハ內務大臣及大藏大臣、市町村ニ在リテハ府縣知事ノ許可ヲ受ケ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

3 宗教團體法第三十五條第一項ノ佛堂ノ用ニ供スル建物及其ノ境内地ニ對シテハ有料ニテ使用セシムルモノヲ除クノ外之ニ地方稅ヲ課スコトヲ得ズ

第八十八條 明治四十一年法律第三十七號及大正十五年法律

第二十四號ハ昭和十四年度分限り之ヲ廢止ス

2 家屋稅及同附加稅ニ關シテハ前項ノ規定ニ拘ラズ昭和十六年度分迄ニ限リ仍從前ノ規定ニ依ル

第八十九條 昭和十四年度分以前ノ所得稅附加稅、營業收益稅附加稅及鑛產稅附加稅ニシテ昭和十五年四月一日以後ニ於テ本稅ノ決定セラルルモノノ賦課ニ付テハ第七條及第八條ノ例ニ依ル

第九十條 昭和十四年法律第七十八號第一條第一項ノ規定ニ依リ讓與セラルル不動産ノ取得ニ對シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ不動産取得稅ヲ課スルコトヲ得ズ

第九十一條 市制第六百六十七條第六號又ハ町村制第四百七十七條第六號ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル特別稅ニシテ本法施行ノ際現ニ存スルモノハ內務大臣及大藏大臣ノ指定スル稅

二二四

ヲ町村吏員、其ノ組合條例ハ之ヲ町村條例ト看做ス

第八十二條 本法又ハ他ノ法律ニ定ムルモノヲ除クノ外地方稅及其ノ賦課徴収ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十四條 本法ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ要スル事項ニシテ勅令ヲ以テ指定スルモノハ其ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケヘシ

2 本法ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ要スル事項ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ許可ノ職權ハ之ヲ府縣知事ニ委任スルコトヲ得

3 本法ニ依リ主務大臣又ハ府縣知事ノ許可ヲ要スル事項ニシテ輕易ナルモノニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ許可ヲ受ケシメザルコトヲ得

第八十五條 主務大臣又ハ府縣知事ノ許可ヲ要スル事項ニ付テハ主務大臣又ハ府縣知事ハ許可申請ノ趣旨ニ反セズト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フルコトヲ得

第八十六條 島嶼ニ於ケル地方稅及其ノ賦課徴収ニ關シ本法ニ依リ難キ事項ニ付テハ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

附 則

第八十七條 本法ハ昭和十五年分地方稅ヨリ之ヲ適用ス但シ家屋稅附加稅及家屋稅割ニ關スル規定ハ昭和十七年度分

目ニ限リ第六十三條第四項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル獨立稅ト看做ス

第九十二條 都市計畫法第八條ヲ削除ス

2 昭和十四年度分以前ノ都市計畫特別稅ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル此ノ場合ニ時テハ第八十九條ノ規定ハ營業收益稅割ノ課稅ニ付之ヲ準用ス

3 都市計畫特別稅家屋稅ニ關シテ昭和十六年度分迄ニ限リ仍從前ノ規定ニ依ル

第九十三條 昭和十五年分及昭和十六年度分ノ家屋稅、家屋稅附加稅及都市計畫特別稅家屋稅ノ賦課ノ制限ニ關シテハ命令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

2 昭和十五年分及昭和十六年度分ノ家屋稅ノ課稅標準タルベキ家屋ノ賃賃價格ハ大正十五年法律第二十四號第十條ノ規定ニ依ル家屋ノ賃賃價格ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ政府ニ於テ補整ヲ加ヘタルモノニ依ル

3 家屋稅、家屋稅附加稅及都市計畫特別稅家屋稅ノ賦課ニ關シテハ前項ノ規定ニ依ル家屋ノ賃賃價格ノ補整ヲ理由トシテ異議ノ申立並ニ訴願及訴訟ノ提起ヲ爲スコトヲ得ズ

第九十四條 罹災救助基金法中左ノ通改正ス

第四條 削除

第十五條ノ二中「且地租、營業收益稅及所得稅ノ附加稅ノ賦課カ明治四十一年法律第三十七號第一條乃至第三條ノ制

限ニ達シ」ヲ削ル

2 昭和十四年度分以前ノ同法第四條ノ規定ニ依ル附加税ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル

第九十五條 昭和七年法律第三十三號附則第二項中「且地租營業收益税及所得税ノ附加税ノ賦課カ明治四十一年法律第三十七號第一條乃至第三條ノ制限ニ達シ」ヲ削ル  
第九十六條 本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

(參照)

明治四十一年法律第三十七號ハ「地方税制限ニ關スル件」ナリ

大正十五年法律第二十四號ハ「地方税ニ關スル件」ナリ  
昭和十四年法律第七十八號ハ「寺院等ニ無償ニテ貸付シアル國有財産ノ處分ニ關スル件」ナリ

罹災救助基金法(改正前)抄

第四條 府縣ハ罹災救助基金貯蓄ノ爲地租、所得税(第二種ノ所得ニ對スル所得税ヲ除ク)及營業收益税ノ附加税ヲ徵收スル場合ニ於テハ明治四十一年法律第三十七號ノ制限ノ外千分ノ十三以內ノ附加税ヲ課スルコトヲ得但シ前條ノ制限額ニ達シタル府縣ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條ノ二 罹災救助基金ノ貯蓄カ勅令ヲ以テ定ムル金額以上ニ達シ且地租、營業收益税及所得税ノ附加税ノ賦課カ明治四十一年法律第三十七號第一條乃至第三條ノ制限ニ達シ

北海道廳長官又ハ北海道地方税トシ市町村税トアルハ町村制ニ代ル制ヲ施行スル地ノ町村ノ町村税トス

2 本令中市町村ニ關スル規定ヲ北海道ノ市ニ適用スル場合ニ於テハ府縣知事トアルハ北海道廳長官トス

3 町村組合ニシテ町村事務ノ全部ヲ共同處理スルモノハ本令ノ適用ニ付テハ之ヲ一町村ト看做ス

第二條 數府縣ニ於テ又ハ同一府縣內若ハ數府縣內ノ數市町村ニ於テ營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲ス者ハ内務大臣及大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ營業税附加税(營業税割ヲ含ム)ノ賦課ニ關シ必要ナル事項ヲ稅務官署又ハ府縣知事ニ届出ツヘシ  
第三條 地方税法第十二條第一項第二號及第三號ノ規定ニ依リ公共團體ヲ指定スルコト左ノ如シ

府縣 組合

市町村 組合

町村 組合

市町村內ノ區

學 區

水利 組合

水利組合聯合

北海道土功組合

第四條 地方税法第六十一條ノ規定ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ要スル事項ニシテ左ニ掲グルモノハ内務大臣及大藏大臣ノ

課カ明治四十一年法律第三十七號第一條乃至第三條ノ制限ニ達シタル府縣ハ毎年度其ノ前前年度ニ於テ基金ヨリ生シタル收入ヨリ其ノ年度ノ救助費、管理費、補助費及基金運用上ノ損失ヲ控除シタル殘額ノ二分ノ一以內ノ金額ヲ限リ該勅令所定金額ヲ下ルニ至ラサル範圍內ニ於テ之ヲ救護法施行ニ要スル經費ニ充ツルコトヲ得

附 則 (昭和七年法律第三十三號)

2 當分ノ内罹災救助基金ノ貯蓄カ第十五條ノ二ノ規定ニ依ル勅令所定金額以上ニ達シ且地租、營業收益税及所得税ノ附加税ノ賦課カ明治四十一年法律第三十七號第一條乃至第三條ノ制限ニ達シタル府縣ハ特別ノ事情アル場合ニ於テハ内務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受ケ第十五條ノ二ニ規定スル殘額ヨリ同條ノ規定ニ依リ支出シタル費用ヲ控除シタル金額ヲ限リ該勅令所定金額ヲ下ルニ至ラサル範圍內ニ於テ之ヲ社會事業ノ助成其ノ他必要ナル經費ニ充ツルコトヲ得

### 地方税法施行令

(昭、一五、三、三一)  
(勅令、一九八)

第一條 本令中府縣ニ關スル規定ハ北海道地方税ニ、市町村ニ關スル規定ハ町村制ニ代ル制ヲ施行スル地ノ町村ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ府縣知事又ハ府縣稅トアルハ夫々

許可ヲ受クヘシ

一 東京市、京都市、大阪市、橫濱市、神戸市及名古屋市ニ關スルコト

二 人口二十萬以上ノ市(前號ニ掲グル市ヲ除ク)ニ於テ本税ノ百分ノ二百六十ヲ超エ地租附加税、家屋稅附加税又ハ營業稅附加税ノ賦課率ヲ定ムルコト

三 前二條ニ掲グル市以外ノ市ニ於テ本税ノ百分ノ二百八十ヲ超エ地租附加税、家屋稅附加税又ハ營業稅附加税ノ賦課率ヲ定ムルコト

四 町村ニ於テ本税ノ百分ノ五百ヲ超エ地租附加税、家屋稅附加税又ハ營業稅附加税ノ賦課率ヲ定ムルコト

第五條 地方税法第四十六條又ハ第六十一條ノ規定ニ依ル地租附加税、家屋稅附加税又ハ營業稅附加税ノ賦課率ノ許可ニ付テハ當該地方團體ノ財政ノ情況ニ應ジ年度ヲ限ルコトヲ得

第六條 内務大臣及大藏大臣ノ指定スル税ニ關スル地方税法第六十三條第四項ノ許可ノ職權ハ地方税法第八十四條第二項ノ規定ニ依リ府縣知事ニ之ヲ委任ス

第七條 地方税法第八十四條第三項ノ規定ニ依リ左ニ掲グル事項ニ付テハ許可ヲ受クルコトヲ要セズ  
一 地方税法第四十六條又ハ第六十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル賦課率ヲ低減スルコト

二 地方税法第六十三條第三項、第七十六條第三項又ハ第七十九條第一項ノ規定ニ依ル獨立税又ハ目的税ニ付課税標準ヲ變更スルコトナクシテ賦課率又ハ賦課定額ヲ低減スルコト

第八條 島嶼ニ於ケル府縣稅及其ノ賦課徵收ニ關シ地方税法

ニ依リ難キ事項ニ付テハ府縣條例ヲ以テ之ヲ定ムベシ

2 島嶼ニ於ケル町村ノ村稅及其ノ賦課徵收ニ關シ地方税法ニ依リ難キ事項ニ付テハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ムベシ

第九條 本令又ハ他ノ勅令ニ定ムルモノヲ除クノ外地方稅及其ノ賦課徵收ニ關シ必要ナル事項ハ内務大臣及大藏大臣之ヲ定ム

附 則

第十條 本令ハ昭和十五年度分地方稅ヨリ之ヲ適用ス但シ家

屋稅附加稅ニ關スル規定ハ昭和十七年度分ヨリ之ヲ適用ス

第十一條 左ノ勅令ハ昭和十四年度分限り之ヲ廢止ス但シ大正十五年勅令第三百三十九號第一條乃至第六條ノ規定ハ昭和十六年度分迄ニ限り仍其ノ效力ヲ有ス

大正九年勅令第二百八十二號

大正十五年勅令第四百十三號

大正十五年勅令第二百八十六號

大正十五年勅令第三百三十九號

第十二條 第二條ノ規定ハ地方税法第八十九條及第九十二條第二項ノ規定ノ適用ニ付之ヲ準用ス

第十三條 昭和十五年度及昭和十六年度分ノ家屋稅ノ賦課率カ家屋賃賃價格ノ百分ノ三・五ヲ超ユルトキハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ但シ左ニ掲クル場合ニ於テ賦課率カ家屋賃賃價格ノ百分ノ三・八五ヲ超エサルトキハ此ノ限ニ在ラス

一 災害應急費、災害復舊費、傳染病豫防費及國營事業費負擔金ニ充ツル爲借入レタル負債ノ元利償還ノ爲費用ヲ要スルトキ

二 災害應急又ハ復舊ノ爲費用ヲ要スルトキ

三 傳染病豫防ノ爲費用ヲ要スルトキ

第十四條 昭和十五年度分及昭和十六年度分ノ家屋稅附加稅

ノ賦課率カ家屋賃賃價格ノ百分ノ三・五ニ相當スル率ヲ超

ユルトキハ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ但シ左ニ掲クル場合

ニ於テ賦課率カ家屋賃賃價格ノ百分ノ四・二ニ相當スル率

ヲ超エサルトキハ此ノ限ニ在ラス

一 國民學校營繕費、災害應急費、災害復舊費、傳染病豫防費及國營事業費負擔金ニ充ツル爲借入レタル負債ノ元利償還ノ爲費用ヲ要スルトキ

二 災害應急又ハ復舊ノ爲費用ヲ要スルトキ

三 傳染病豫防ノ爲費用ヲ要スルトキ

2 前項ノ規定ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ要スル事項ニシテ左ニ掲クルモノニ付テハ府縣知事ノ許可ニ代ヘ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ

一 東京市、京都市、大阪市、橫濱市、神戸市及名古屋市ニ關スルコト

二 人口二十萬以上ノ市（前號ニ掲クル市ヲ除ク）ニ於テ家屋賃賃價格ノ百分ノ四・五五ニ相當スル率ヲ超ユル賦課率ヲ定ムルコト

三 前二號ニ掲クル市以外ノ市ニ於テ家屋賃賃價格ノ百分ノ四・九ニ相當スル率ヲ超ユル賦課率ヲ定ムルコト

四 町村ニ於テ家屋賃賃價格ノ百分ノ八・七五ニ相當スル率ヲ超ユル賦課率ヲ定ムルコト

第十五條 昭和十五年度分及昭和十六年度分ノ都市計畫特別稅家屋稅ノ賦課ノ制限左ノ如シ

府 縣 稅

家屋賃賃價格ノ百分ノ三・五ノ百分ノ十二・五以內

市 町 村 稅

家屋賃賃價格ノ百分ノ三・五ノ百分ノ三十四以內

(參 照)

大正九年勅令第二百八十二號ハ「地方稅制限ニ關スル法律

第六條ノ規定ニ依リ地租附加稅、段別割、營業收益稅附

加稅及所得稅附加稅ノ制限外課稅許可ノ職權ヲ北海道廳

長官又ハ府縣知事ニ委任スルノ件」ナリ  
大正十五年勅令第四百十三號ハ「地方稅ニ關スル法律第二十八條ノ規定ニ依リ特別地稅及其ノ附加稅ノ制限外課稅許可ノ職權ヲ北海道廳長官又ハ府縣知事ニ委任スルノ件」ナリ  
大正十五年勅令第二百八十六號ハ「町村制ニ代ル制ヲ施行スル地ノ町村稅ノ徵收ニ關スル件」ナリ  
大正十五年勅令第三百三十九號ハ「地方稅ニ關スル法律施行ニ關スル件」ナリ

地方稅法施行規則 (昭、一五、四、一) (内務、大藏、省令)

第一條 本令ニ於テ地方團體トハ府縣及市町村ヲ、條例トハ府縣條例及市町村條例ヲ謂フ

2 本令中府縣ニ關スル規定ハ北海道地方費ニ、市町村ニ關スル規定ハ町村制ニ代ル制ヲ施行スル地ノ町村ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ府縣稅又ハ府縣知事トアルハ夫々北海道地方稅又ハ北海道廳長官トシ市町村稅又ハ市町村長トアルハ夫々町村制ニ代ル制ヲ施行スル地ノ町村ノ町村稅又ハ町村長トス

3 本令中市町村ニ關スル規定ヲ北海道ノ市ニ適用スル場合ニ於テハ府縣知事トアルハ北海道廳長官トス

4 町村組合ニシテ町村事務ノ全部ヲ共同處理スルモノハ本令ノ適用ニ付テハ之ヲ一町村ト看做ス

第二條 數府縣ニ於テ營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲ス者ハ營業稅法第十五條又ハ第十六條ノ規定ニ依ル申告ト同時ニ左ニ掲グル事項ヲ所轄稅務署ニ届出ヅベシ

- 一 法人ニ在リテハ當該事業年度中(清算純益ニ關スルモノニ在リテハ合併又ハ解散ノ日)個人ニ在リテハ前年中ニ有シタル營業所ノ名稱及其ノ所在地
- 二 内務大臣及大藏大臣ノ指定スル事項(營業所毎ニ區分シタルモノ)

第三條 同一府縣内ノ數市町村ニ於テ營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲ス者營業稅法ニ依リ純益金額ノ決定通知ヲ受ケタルトキハ四日以内ニ左ニ掲グル事項ヲ關係府縣知事ニ届出ヅベシ

- 一 營業ノ種類
- 二 法人ニ在リテハ當該事業年度中(清算純益ニ關スルモノニ在リテハ合併又ハ解散ノ日)個人ニ在リテハ前年中ニ有シタル營業所ノ名稱及其ノ所在地
- 三 法人ニ在リテハ事業年度(清算純益ニ關スルモノニ在リテハ合併又ハ解散ノ日)個人ニ在リテハ年別區分
- 四 純益金額、其ノ決定年月日及其ノ決定ヲ爲シタル稅務官署

五 營業稅額

六 内務大臣及大藏大臣ノ指定スル事項(營業所毎ニ區分シタルモノ)

2 數府縣内ノ數市町村ニ於テ營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲ス者營業稅法ニ依リ純益金額ノ決定通知ヲ受ケタルトキハ四日以内ニ當該府縣内ニ於ケル營業所ニ付前項第六號ニ掲グル事項ヲ關係府縣知事ニ届出ヅベシ但シ同一府縣内ノ關係市町村一ナルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四條 稅務官署地方稅法第七條第二項ノ規定ニ依リ本稅額ノ通知ヲ爲ストキハ併セテ左ニ掲グル事項ヲ通知スヘシ

- 一 營業ノ種類
  - 二 當該府縣内ニ於ケル營業所ノ名稱及其ノ所在地
  - 三 法人ニ在リテハ事業年度(清算純益ニ關スルモノニ在リテハ合併又ハ解散ノ日)個人ニ在リテハ年別區分
  - 四 純益金額ノ決定年月日
  - 五 營業稅額
- 第五條 府縣知事地方稅法第八條第二項ノ規定ニ依リ本稅額ノ通知ヲ爲ストキハ併セテ左ニ掲グル事項ヲ通知スヘシ
- 一 營業ノ種類
  - 二 當該市町村内ニ於ケル營業所ノ名稱及其ノ所在地
  - 三 法人ニ在リテハ事業年度(清算純益ニ關スルモノニ在リテハ合併又ハ解散ノ日)個人ニ在リテハ年別區分

四 純益金額ノ決定年月日

五 營業稅額

第六條 地方稅法第九條第二項及第五十四條第一項ニ規定スル漁場トハ漁業法施行規則第十六條ニ規定スル區域及同令第四十九條第一項ノ規定ニ基キテ設ケタル保護區域ヲ謂フ

第七條 地方稅法第十條第四項ノ規定ニ依リ左ノ稅目ヲ指定ス

- 舟 轉車 稅
- 自 轉車 稅
- 荷 車 稅
- 金 庫 稅
- 犬 稅
- 舟 稅
- 自 轉車 稅
- 荷 車 稅
- 金 庫 稅
- 犬 稅

第八條 地方稅法第六十六條第一項及第二項並ニ地方稅法施行令第四條及第十四條第二項ニ規定スル人口ハ市制町村制施行規則第一條ニ規定スル人口ニ依ル

附 則

第九條 本令ハ昭和十五年度分地方稅ヨリ之ヲ適用ス

第十條 左ノ省令ハ昭和十四年度分限り之ヲ廢止ス但シ地方稅ニ關スル法律施行規則第一條ノ規定ハ昭和十六年度分迄ニ限り仍其ノ効力ヲ有ス

大正元年内務省令第十六號

大正四年内務省令第六號

地方稅ニ關スル法律施行規則

昭和四年内務省令第十四號

昭和四年内務省令第十五號

臨時地方財政補給金規則

第十一條 昭和十四年法律第七十八號第一條第一項ノ規定ニ依リ讓與セララル不動産ニシテ登録稅ノ免除ヲ受クルモノノ取得ニ對シテハ不動産取得稅ヲ課スルコトヲ得ス

第十二條 第二條乃至第五條ノ規定ハ昭和十四年度分以前ノ所得稅附加稅及營業收益稅附加稅(都市計畫特別稅營業收益稅割ヲ含ム)ニシテ昭和十五年四月一日以後ニ於テ本稅ノ決定セララルモノニ付之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ第二條第一項中營業稅法第十五條又ハ第十六條トアルハ從前ノ所得稅法第二十四條若ハ第二十五條又ハ營業收益稅法第十條若ハ第十二條トス

2 本令公布ノ日前ニ申告ヲ了シタル者ニ在リテハ前項ノ規定ニ依ル届出ハ本令公布ノ日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ

第十三條 昭和十五年四月一日以後ニ於テ遺產稅ノ納稅告知

ヲ受ケタル者數府縣ニ於テ又ハ同一府縣内若ハ數府縣内ノ數市町村ニ於テ鑛業ニ關スル事務所其ノ他ノ營業所（鑛區ヲ含ム以下之ニ同シ）ヲ設ケルモノナルトキハ納稅告知ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ左ニ掲ケル事項ヲ所轄稅務署又ハ關係府縣知事ニ届出ツヘシ

一 鑛物ノ掘採中有シタル營業所ノ名稱及其ノ所在地  
二 内務大臣及大藏大臣ノ指定スル事項（營業所毎ニ區分シタルモノ）

2 稅務官署關係府縣知事ニ本稅額ノ通知ヲ爲ストキハ併セテ左ニ掲ケル事項ヲ通知スヘシ

一 當該府縣内ニ於ケル營業所ノ名稱及其ノ所在地  
二 納稅告知ノ年月日  
三 鑛產稅額

8 前項ノ規定ハ府縣知事關係市町村長ニ本稅額ノ通知ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第十四條 地方稅ノ賦課徵收ニ關シ從前ノ規定ニ依リ地方團體ノ定メタル條例等ニシテ地方稅法ニ牴觸セサルモノハ之ヲ地方稅法ニ依リ定メタル條例ト看做ス

2 雜種稅、雜種稅附加稅又ハ市町村特別稅ニ關シ從前ノ規定ニ依リ地方團體ノ定メタル條例等ニシテ地方稅法ニ牴觸セサルモノハ之ヲ夫々府縣稅獨立稅、府縣稅獨立稅附加稅又ハ市町村稅獨立稅ニ關シ地方稅法ニ依リ定メタル條例ト看

**二 告示、訓令、通牒**

**地方稅法第三十五條第一項ノ規定ニ依ル地方稅ノ指定**

（昭、一五、四、一）  
（内務、大藏省告示、二）

地方稅法第三十五條第一項ノ規定ニ依リ地方稅ヲ指定スルコト左ノ如シ

- 藝 妓 稅
- 藝妓稅附加稅
- 入 湯 稅
- 俱樂部 稅
- 藝 妓 稅 割
- 入 湯 稅 割
- 俱樂部 稅 割

**地方稅法第四十二條第一項ノ規定ニ依ル地方稅ノ指定**

（昭、一五、四、一）  
（内務、大藏省告示、三）

地方稅法第四十二條第一項ノ規定ニ依リ地方稅ヲ指定スル

做ス  
第十五條 神戸市ニ在ル家屋ニ對スル昭和十五年度及昭和十六年度分ノ家屋稅ノ賦課ニ付テハ大正十五年法律第二十四號第十二條ノ規定ニ依リ決定シタル家屋ノ賃賃價格ヲ以テ同法第十條ノ規定ニ依リ決定シタル家屋ノ賃賃價格ト看做ス

（參 照）  
大正元年内務省令第十六號ハ「北海道地方費ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要セサル事項ノ件」ナリ  
大正四年内務省令第六號ハ「島嶼町村制施行ノ町村ノ内外ニ於テ營業所ヲ設ケ營業ヲ爲シ本稅ヲ分別シテ納メザル者ニ對スル附加稅賦課ニ關スル件」ナリ  
昭和四年内務省令第十四號ハ「府縣制施行令第三十九條ノ規定ニ依ル府縣稅ノ指定ノ件」ナリ  
昭和四年内務省令第十五號ハ「市制町村制施行令第五十三條ノ規定ニ依ル市町村稅ノ指定ノ件」ナリ

コト左ノ如シ  
入 湯 稅  
入 湯 稅 割

**地方稅法第九十一條ノ規定ニ依ル稅目ノ指定**

（昭、一五、四、一）  
（内務、大藏省告示、四）

地方稅法第九十一條ノ規定ニ依リ稅目ヲ指定スルコト左ノ如シ

- 商品切手發行稅
- 商品券發行稅
- 立木伐採稅
- 森林伐採稅
- 山林立木伐採價格割
- 牛 馬 割
- 牛 馬 頭 割
- 牛 頭 割
- 牛 馬 稅
- 家 畜 稅
- 林產物輸出稅

木材輸出税  
木竹材輸出税  
移出税  
軌道税  
入湯税  
タシク  
石類税  
棧橋税  
俱樂部税  
備人税

## 地方税制改正ノ趣旨徹底 ニ關スル件訓令

(昭、一五、四、一)  
(内務省訓令、三一九)

朝野多年ノ懸案タリシ地方税制ノ根本的改正ハ茲ニ其ノ解決ヲ告ケ本年度ヨリ實施セラルコトトナリタリ思フニ今次地方税制改正ノ主眼トスル所ハ實ニ團體財政ノ基礎ヲ確立シテ自治ノ根柢ニ培ヒ又地方税負擔ノ均衡化ヲ圖リテ地方更生ニ資スルト共ニ併セテ制度ノ簡易化ヲ行ヒテ地方團體及地方住民ノ便宜ヲ圖ルニ在リ宜シク此ノ趣旨ヲ體シ制度ノ實効ヲ舉

方財政ノ運用等ニ關シ左記各號ノ事項ニ留意シ萬遺憾ナキヲ期セラレ度

記

- 一 今回ノ地方税制ノ改正ハ地方税負擔ノ均衡化及地方團體財政ノ基礎ノ確立ヲ期スルト共ニ地方税制ノ簡易化ヲ圖ルコトヲ目標トシタルモノナルヲ以テ地方團體ニ於テモ税種ノ選擇、賦課率ノ決定、財政ノ經理、地方税ニ關スル條例ノ設定等ニ當リテ此ノ方針ニ副フヤウカムルコト
- 二 今回ノ地方税制ノ改正ハ根本的ノ改正ニシテ其ノ面目一新セラルト共ニ影響スル所モ亦廣汎ナルヲ以テ改正法令ニ付十分ナル研究ヲ遂ケ之カ運用ニ付テハ苟モ疎漏ナキヲ期スルコト殊ニ施行當初ノ事務ハ混亂ヲ生シ易キニ付其ノ處理ニハ特ニ留意スルコト
- 三 地方歳入ノ不足分ヲ地方歳入ニ求ムル原則ヲ改メ地方税ヲ以テ地方團體ノ第一次收入ト爲ス建前ト爲リタルヲ以テ地方税ノ賦課率ヲ定ムルニ當リテハ克ク將來ノ財政情況ヲ見極メタル上之ヲ決定スルコト
- 四 從來財政窮乏セル地方團體ハ改正税制ニ因リ十分ナル財源ヲ得ル見込ナルモ時局ニ緊要ナル施設ヲ充實スルノ外ハ素ニ事業ノ起興經費ノ支出ヲ爲ササルコト
- (イ) 國稅附加税ノ賦課率ハ成ル可ク標準率ヲ以テ賦課スルコトトシ之ニ依リ財源ノ餘裕ヲ生スルトキハ之ヲ以テ

二三四

クルニ萬全ヲ期スヘシ若シ夫レ新税制ノ運用ヲ誤リ殊ニ其ノ長所ヲ逆用シテ苟モ濫ニ流ルルカ如キコトアランカ單リ税制改正ノ目的ヲ沒却スルノミナラス不測ノ禍害ヲ將來ニ貽スコトナキヲ保シ難シ深ク戒慎セサルヘカラス又時局ニ鑑ミルトキハ物資、資金及勞力ノ調整ヲ強化スルノ要愈々切ナルモノアルヲ以テ税制改正ニ依ル團體財源ノ餘裕ハ之ヲ時局ニ緊要ナル施設ニ振向クルノ外ハ舉ケテ將來ノ財政力ノ充實ニ充テシムヘク又地方税負擔ノ輕減ニ因ル個人經濟上ノ餘力ハ總テ之ヲ國民貯蓄及國債消化ノ資ニ充テシムルノ要アリ依テ深ク思フ茲ニ致シ關係吏僚ハ勿論廣ク一般住民ニモ克ク税制改正ノ趣旨ヲ理解セシメ以テ自治振興地方更生ノ實ヲ舉グルニ最善ノ工夫ト努力トヲ効スヘシ

右訓令ス

## 地方税制改正後ノ地方財政ノ 運用等ニ關スル件依命通牒

(昭、一五、四、一、發地三九)  
(各地方長官宛内務、大藏兩次官)

本日内務省訓第三百十九號ヲ以テ標記ノ件ニ關シ訓令相成候處右ハ地方税制ノ根本的改正ノ實現ヲ機トシ地方自治ノ振興ヲ圖リ地方更生ノ實ヲ舉ケシメントスル趣旨ニ有之付テハ地

舊債ノ繰上償還起債借入額ノ減少ヲ爲シ他日ノ財政力ヲ培フコト

- (ロ) 繰上償還スヘキ負債等ナキ團體ニ在リテモカメテ積立金ヲ造成シテ豫メ將來ノ財源ヲ蓄積スルコト
- 五 從來負擔過重ナリシ地方團體ニ於テハ改正税制ノ實施ニ依リ負擔ノ輕減ヲ受クル者多數生スヘキヲ以テ其ノ負擔ノ輕減額ハ國民貯蓄又ハ國債ノ應募ニ振向ケシムル等適切ナル指導ヲ爲スコト
- 六 地方税制ノ簡易化ヲ圖リ地方自治權ノ擴充ヲ期スルカ爲改正地方税制ニ於テハ許可事項ヲ相當整理シタルヲ以テ其ノ運用ニ當リテハ十分ニ留意スルコト又管下市町村ノ財政ノ監督ニ當リテハ事後監督ニ重點ヲ置クコトトシ許可認可事項ノ整理ニ因リ却テ弊害ヲ招來シ其ノ趣旨ニ反スルカ如キコトナキヲ期スルコト
- 七 國費地方費ノ負擔區分ニ付テハ今回相當ノ改正ヲ行ヒタルモ今後仍引續キ之カ是正ヲ圖ラントスル方針ナルヲ以テ此ノ趣旨ヲ體シ道府縣ノ事業ニ付テモ素ニ下級團體ヲシテ費用ヲ負擔セシムルカ如キコトハ避クルコト
- 八 地方團體ノ經費ヲ以テ支辨スヘキ事務ニ付素ニ寄附金又ハ部落協議費ヲ以テ其ノ經費ヲ支辨スルコトハ之ヲ避クルコト

二三五

# 地方税法並ニ同法施行ニ關スル命令ノ實施ニ關スル件 依命通牒

(昭一五、四、一、發地三七)  
各地方官宛地方、主税兩局長

地方税法並ニ同法施行ニ關スル命令夫々公布セラレ候處之カ實施ニ關シテハ特ニ別記ノ事項御留意ノ上御措置相成度尙管下市町村ニ對シテモ關係ノ事項夫々御示達ノ上實施ニ關シ篤ト留意セシメラレ度

追テ從前ノ地方税ニ關スル法律命令等ノ施行ニ關スル通牒ニシテ地方税法、同法施行ニ關スル命令及本通牒ニ牴觸スルモノハ總ベテ自然消滅ト相成ベキ義ニ有之爲念

## 別記

### 第一 一般的事項

- 一 地方税及其ノ賦課徴收ニ關スル條例ハ地方税制簡易化ノ趣旨ニ則リ各種ノ事項ヲ網羅統一シテ規定スルコト
- 二 臨時特定ノ費用ニ充ツル爲増税ヲ行フ場合ニ在リテハ一般の條例改正ノ形式ニ依ラズ別個ニ臨時府縣稅(市町村稅)増徴條例ヲ以テ規定スルヲ適當トスルコト
- 三 目的税又ハ分擔金ヲ課シ得ル事件ニ付テハ原則トシテ地方税法第十四條ノ規定ニ依ル一部賦課又ハ不均一賦課

二三六

- ハ之ヲ避ケ目的税制度又ハ分擔金制度ヲ活用スルコト
- 四 府縣稅徴收交付金ニ付テ國稅徴收交付金ノ例ニ倣ヒ其ノ總額ニ於テ大體從前ノ規定ニ依ル額ヲ下ラザルコトヲ目途トシ地方税法第十五條第二項ノ規定ノ趣旨ニ即應スルヤウ規定スルコト
- 五 地方税法第十七條第一項ノ規定ハ府縣稅ノ賦課徴收ニ關シ市町村ニ對シテ徵稅命令書ヲ發スルコトヲ得ル者ヲ府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏若ハ府縣吏員ニ限リタル趣旨ナルヲ以テ該事務ヲ市町村吏員ニ委任スルコトヲ得ザルモノナルコト
- 六 地方税法第二十三條ノ規定ニ依リ市町村吏員ヲシテ府縣稅ノ滯納處分ヲ爲サシムル場合ニ於テ該事務ニ要スル費用ハ市町村ノ負擔タルコト勿論ナルモ此ノ場合ニ於テ納稅者ヨリ徴收スル滯納處分費ハ市町村ノ收入トスヘキモノナルコト
- 七 地方税法第二十六條第一項ニ規定スル納稅義務ノ確定シタル税金ノ全額トハ年稅ノモノニ在リテハ其ノ年稅ノ全額ヲ、期稅ノモノニ在リテハ其ノ期分ノ稅ノ全額ヲ意味スルモノナルコト
- 八 鑛業法第八十八條第二項ノ規定ノ削除竝ニ自動車製造事業法第七條、人造石油製造事業法第七條及鑛業法第十二條ノ規定ノ改正ニ伴ヒ之等營業用ノ物件等ニ對シ

テ地方税ヲ課スルコトヲ得ルコトトナリタルモ當該營業專用ノ特殊物件(軌道、索道柱、軌道車坑内送風機等)如キモノ)及鑛業權ニ對シテハ課稅セザルコト

九 地方税ノ滯納處分ハ其ノ地方團體ノ區域外ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得ルコトトナリタルモ右ハ徵收ノ便宜ト事務ノ簡捷等ヲ圖ルノ趣旨ニ出テタルモノナルヲ以テ之カ運用ニ當リテハ此ノ趣旨ニ反セザルヤウ關係地方團體トノ連絡ニ充分留意スルコト

### 第二 附加税ニ關スル事項

- 一 附加税ノ賦課率ハ條例中ニ之ヲ規定スルコト
- 二 地方税法第四十六條又ハ第六十一條ノ附加税賦課率ノ許可ハ年度ヲ限り許可セラレタルモノニシテ其ノ許可ノ年度ヲ經過シタルトキ又ハ許可ノ年度内ニ於テ賦課率ノ引上ヲ爲ストキニ限り許可ヲ受クルヲ要スルモノナル事
- 三 地方税法第六十一條ノ附加税賦課率ノ許可ニ當リテハ市町村財政ノ精査シ必要ニ應ジ適宜年度ヲ限ル事
- 四 地方税法第四十六條但書又ハ第六十一條但書ノ規定ニ依リ標準率ヲ超エテ賦課スル場合ニ於ケル費用ノ限度ニ付テハ列舉ノ費用ニ特定ノ財源アルトキハ之ヲ控除シタルモノニ依ルモノナルコト
- 五 地方税法第四十五條、第五十九條又ハ第六十條ノ規定ノ適用ニ付テハ不均一ノ課稅ヲ爲ス稅ニ在リテハ其ノ稅

總額ヲ本稅總額ヲ以テ除シタル率ニ依ルモノナルコト

六 地方税法第四十六條又ハ第六十一條ノ規定ノ適用ニ付テハ不均一ノ課稅ヲ爲ス稅ノ賦課率ハ其ノ最高ノ賦課率ニ依ルモノナルコト

七 市町村稅府縣稅附加税ノ賦課率ハ大體本稅ノ百分ノ百ヲ目途トスルコト但シ不動産取得稅附加税及狩獵者稅附加税ノ賦課率ハ本稅ノ百分ノ百ヲ超エザルコト

八 戶數割ノ廢止ニ伴ヒ從前戶數割施行地ニ於テ法人ト個人トノ負擔ノ均衡保持ノ見地ヨリ法人ノ所有シ且使用スル家屋ニ對シテ重課ノ目的ヲ以テ爲シタル不均一課稅ハ之ヲ爲サザルコト

九 戶數割ノ廢止ニ伴ヒ從前戶數割ヲ施行セザル地ニ於テ戶數割ノ代稅トシテ家屋稅附加税ニ付不均一課稅ヲ爲シ又ハ累進率ヲ適用シテ課稅ヲ爲シタルモノハ之ヲ爲サザルコト但シ累進率ヲ適用シテ課稅シ來リタル市町村ニシテ賦課率均一ト爲スコトニ因リテ負擔ノ激變ヲ生スルモノニ限り過渡的措置トシテ二年度間ニ遞次均一化スルモ差支ナキコト

### 第三 府縣稅獨立稅ニ關スル事項

- 一 獨立稅ノ賦課率又ハ賦課定額ハ特ニ指示スルモノヲ除クノ外大體從前ノ雜種稅ノ賦課率又ハ賦課定額ノ程度ヲ目途トスルコト

二三七



二 段別税ニ關スル事項

- (1) 段別税ノ課税標準タルヘキ評定賃賃價格ノ調査ニ當リテハ稅務官署ト緊密ナル連絡ヲ保チ地租ノ課税標準タル土地賃賃價格トノ均衡ヲ得ルニカムルコト
  - (2) 段別税ハ減租年期地又ハ免租年期地ノ一方ニ對シテノミ課スルカ如キコトハ之ヲ爲シ得サルモノナルコト
  - (3) 段別税ハ各納稅義務者ニ付同一市町村内ニ於ケル評定賃賃價格ノ合計金額カ五圓ニ滿タサルモノニ付テハ之ヲ課セサルコト
- 三 自動車税ニ關スル事項
- (1) 自動車税ノ課税客體タル自動車ハ自動車取締令ニ謂フ自動車ヲ指稱スルモノナルコト
  - (2) 自動車税ノ賦課率又ハ賦課定額ノ目途ニ付テハ後日通牒ノ見込ナルコト
- 四 電柱税ニ關スル事項
- 電柱税ノ内容ニ關シテハ後日通牒ノ見込ナルコト
- 五 不動産取得税ニ關スル事項
- (1) 不動産取得税ハ土地又ハ家屋ノ取得ニ對シテノミ課スルコト
  - (2) 不動産取得税ノ賦課率ハ不動産價格ノ千分ノ十六ヲ超エサルコト
- 六 漁業權税ニ關スル事項

- (1) 漁業權ノ存續期間更新ノ免許ニ付テハ漁業權ノ取得ニ對スル漁業權税ハ之ヲ課セサルコト
  - (2) 漁場カ道府縣ノ内外ニ亙ル場合ニ於テハ重複課税トナラサルヤウ充分留意スルコト
  - (3) 漁業權税ノ賦課總額ハ其ノ府縣ニ於ケル從前ノ漁業稅總額ヲ超エサルコト
- 七 狩獵者税ニ關スル事項
- 狩獵者税ハ狩獵者免許税ノ百分ノ十三ヲ超エサルコト
- 八 藝妓税ニ關スル事項
- 地方稅法第五十六條ニ所謂「其ノ他之ニ類スル者」トハ酌婦雇仲居ノ如ク花代ノ類ヲ得テ客席ニ侍スル者ヲ謂ヒ所謂女給ノ如キハ之ヲ包含セサル趣旨ナルコト
- 第四 市町村稅獨立税ニ關スル事項
- 一 獨立税(市町村民稅ヲ除ク)ノ賦課率又ハ賦課定額ハ特ニ指示スルモノヲ除クノ外大體從前府縣稅雜種稅トシテ賦課シタル額ト之ニ對スル附加稅額トノ合算額ノ程度ヲ目途トスルコト
  - 二 市町村民稅ニ關スル事項
    - (1) 市町村民稅ハ總ベテノ市町村ニ於テ之ヲ課スルコト
    - (2) 市町村民稅ノ内容ニ關シテハ後日通牒ノ見込ナル事
  - 三 舟稅ニ關スル事項
 

總噸數五噸未滿ノ舟(遊船ノ類ヲ除ク)ニ對シテハ舟稅

ハ之ヲ課セザルコト

- 四 自轉車税ニ關スル事項
- 自轉車税ノ賦課額ハ普通二輪車一輛ニ付二圓ヲ超エザル事トシ其ノ他ノモノニ付テハ之ト均衡ヲ保タシムルコト
- 五 荷車税ニ關スル事項
- 荷積小車ニ對シテハ荷車税ハ之ヲ課セザルコト
- 六 金庫税ニ關スル事項
- 金庫税ノ課税客體ニハ建物ノ一部ヲ金庫ニ利用スルモノノ如キハ之ヲ包含セザルコト
- 七 屠畜税ニ關スル事項
- 地方稅法第七十二條ニ所謂獸畜トハ屠場法第一條第二項ニ規定スル獸畜ヲ指稱スルモノナルコト
- 八 其ノ他ニ關スル事項
- 府縣稅獨立税ニ關スル事項ハ該稅ヲ市町村ノ獨立稅トシテ課スル場合ニ之ヲ準用スルコト但シ賦課率又ハ賦課定額ノ制限又ハ目途ハ府縣稅分市町村ノ附加稅分トノ合算額トスルコト
- 第五 目的稅ニ關スル事項
- 一 都市計畫稅中地租割、家屋稅割及營業稅割ノ賦課率ハ負擔ノ均衡其ノ他特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外之ヲ同一ト爲スコト

第六 其ノ他ニ關スル事項

- 一 市町村ノ一部事務組合ハ地方稅法ノ施行ニ依リ組合稅ヲ課スルコトヲ得サルニ至リタルコト
- 二 實質上區稅又ハ學區稅タルモノヲ市町村稅ノ課稅形式ニ依リ徵收スルコトハ爾今之ヲ爲ササルコト
- 三 明治二十一年閣令第十二號ニ規定スル貸座敷引手茶屋娼妓ノ賦金ハ昭和十五年度以降ハ之ヲ課セサルコト

**地方税法第四十四條第二項ノ規定ニ依ル地租附加税ノ課税ニ關スル件**

(昭、一五、九、二一、庶、七二七)  
(内務省地方局長宛、富山縣知事照會)

標記ノ件ニ關シ左記ノ廉聊カ疑義有之候條至急何分ノ御意見承知致度此段及照會候也  
追テ本件ハ縣稅賦課徵收上特ニ差急キ居候ニ付至急御回報相煩度

記

左記事例ノ如キ土地ヲ有スル者地租法第七十條ニ該當シ田及畑ニ對シ地租ヲ免除セラレタル結果殘餘ノ雜地ニ對シテハ地租法第七十三條但書ニ該當スルモノトシテ稅務官署ニ於テハ地租ヲ徵收セサル取扱ナリ

右ノ場合ニ於テ前段田及畑ニ對スル地租附加税ハ地方税法第四十四條第二項ノ規定ニ依リ地租ノ免除ハ之ヲ爲ササルモノト看做シ賦課シ得ルモノナルヲ以テ後段雜地ニ對スル地租附加税モ亦同法第七十三條但書ニ所謂「合計金額カ五圓ニ滿タサルトキハ地租ヲ徵收セス」トアルニ該當セサルモノトシ從ツテ右稅務官署ノ取扱例ニ拘ラス地租アルモノト看做シ賦

課スルモ差支ナキヤ

二四〇

|    |      |     |                 |
|----|------|-----|-----------------|
| 田  | 賃貸價格 | 五〇圓 | 地租法第七十條該當免除田以外  |
| 畑  | 賃貸價格 | 三圓  | 同上              |
| 雜地 | 同    | 三圓  | 地租法第七十三條但書該當不徵收 |
| 計  | 同    | 六圓  |                 |
| 合計 | 同    | 五六圓 |                 |
| 回  | 答    |     |                 |

(昭、一五、一〇、一〇、富地局一三)  
(富山縣知事宛、地方局長)

九月廿一日庶第七百二十七號ヲ以テ御照會相成候標記ノ件右ハ御見込ノ通ト存候

**營業稅額ノ分割ニ關スル件  
通牒**

(昭、一五、五、三〇、地發乙一七四)  
(各地方長官宛、地方、主稅兩局長)

地方税法第八條第一項ノ規定ニ依リ營業稅附加税(營業稅附加税營業稅額ヲ含ム)ノ課稅標準トナルヘキ本稅額ノ決定ヲ

爲スニ當リテハ左記各項ニ依リ御取扱相成度

追テ地方税法第八十九條及第九十二條第二項ノ規定ニ依ル昭和十四年度分以前ノ所得稅附加税、營業收益稅附加税、礦產稅附加税及都市計畫特別稅營業收益稅額ノ課稅標準トナルヘキ本稅額ノ決定ニ付テモ本文ニ準シテ御取扱相成度尙敷道府縣ニ於テ營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲ス者ニ賦課スル營業稅附加税等ノ課稅標準トナルヘキ本稅額ノ分割ニ關シ別紙寫ノ通各稅務監督局長ニ通牒致置候條御了知相成度

記

- 一 營業稅附加税(營業稅額ヲ含ム)ノ課稅標準タルヘキ本稅額(以下單ニ本稅額ト稱ス)ノ決定ハ營業稅ノ額ノ通知ヲ受ケタル後直ニ之ヲ爲スコト
- 二 純益金額ノ誤謬訂正等ニ因リ營業稅ニ異動ヲ生シタルトキ又ハ營業稅ノ額ノ分割ニ對スル異議申出ニ因リ當該道府縣分ノ本稅額ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ異動ノ通知ヲ受ケタル後直ニ前項ニ依リ決定シタル本稅額ノ更訂ヲ爲スコト
- 三 同一市町村内ニ數營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲ス者ニ對スル本稅額ノ決定ハ當該市町村内ニ於ケル各營業所分ヲ合算シテ之ヲ爲スモノナルコト
- 四 所謂營業所トハ人的及物的ノ設備ヲ爲シ當該設備ニ於テ營業ヲ爲ス場所ヲ指稱スルモノナルコト從テ販賣品ノ仕入

若ハ引渡ノミヲ爲ス場所又ハ發電所若ハ變電所等ノ如キハ之ヲ營業所トシテ取扱ヒ可然モ單ナル材料藏置所、食庫、車庫又ハ従業員ノ詰所等ノ如キモノニシテ獨立シテ設ケラレタルモノハ之ヲ營業所ト認メザルコト

- 五 直接ニ收入ヲ生ズルコトナキ營業所又ハ純益金額ナキ各營業所ニ對シテモ本稅額ノ決定ヲ爲スコト
- 六 本稅決定當時營業所ナキ場合ト雖モ法人ニ在リテハ事業年度中(清算純益ニ關スルモノ)ニ在リテハ合併又ハ解散ノ日、個人ニ在リテハ前年中ニ有シタル營業所ニ對シテモ本稅額ノ決定ヲ爲スコト
- 七 非課稅營業又ハ免稅營業(製鐵事業法其ノ他ノ法律ニ依リ資本金ニ對シ純益ガ年一割ヲ超過スル爲營業稅ヲ課セラレタルモノヲ除ク以下之ニ同シ)ノミヲ爲ス營業所ニ對シテハ本稅額ノ決定ハ之ヲ爲ササルコト
- 八 本稅額ノ決定ハ各營業ニ付昭和十五年四月三十日(内務省告示第五號)ヲ以テ指定スル事項ヲ標準トシテ之ヲ爲スコト
- 九 前項ニ依ル本稅額決定ノ標準ハ營業所ノ營業ノ大小ヲ表現セシムルコトヲ本旨トシタノ各號ニ留意シテ之カ算定ヲ行フコト
- (一) 收入金額トハ營業上ノ收入金額ヲ意味スルモノニシテ營業ノ目的タラサル資産ノ賣却等ニ因ル一時的收入ハ之ヲ包含セサルモノナルコト

- (二) 經費中ニハ職工、鑛夫等ノ賃金又ハ運賃等ハ之ヲ含ムモ仕入品ノ原價、原料品ノ代價ハ勿論電氣事業ニ於ケル買電料、土地建物賃賃業ニ於ケル土地建物ノ購入代價其ノ他之ニ類スルモノハ之ヲ含マサルモノナルコト
- (三) 收入金額中株式ノ額面超過金、補助金及獎勵金等ノ如キモノ竝ニ經費中役員報酬、社債利子、創業費、廣告費及租稅(法人稅、營業稅、同附加稅及臨時利得稅)等ノ如キモノハ各營業所ニ共通スルモノト認メ之ヲ除外スルコト
- (四) 運送業中海上運送ニ於ケル各營業所毎ノ收入金額ハ荷物運賃ハ積込地、旅客運賃ハ乗船地ニ依リ區分シ經費中海上費ハ各營業所ニ共通スルモノト認メ之ヲ除外スルコト
- (五) 製鍊所ノ鑛產物價額ハ製鍊ニ因ル増價額(鑛產物價額ヨリ推定原價額又ハ買鍊代價ヲ控除シタルモノ)トスルコト
- (六) 標準トナルヘキモノノ中非課稅營業分又ハ免稅營業分ハ適當ノ方法ニ依リ分別ノ上之ヲ除外スルコト
- (七) 本稅額ヲ決定スル場合ニ於テ法人ニ在リテハ事業年度中ニ、個人ニ在リテハ前年中ニ新ニ營業所ヲ設ケ又ハ廢止シタルモノノ當該營業所ニ對スル標準ノ算定ニ付テハ收入金額又ハ經費ノ類ハ各其ノ營業所ノ營業期間中ニ

- 於ケル收入金額又ハ經費等ニ依ルモノナルコト勿論ナルモ、固定資産ノ如キモノハ當該營業所ニ屬シ又ハ屬シタルモノヲ各其ノ營業所ノ存續期間中ノ月數ニ按分シタルモノニ依ルコト
- 一〇 本稅額ヲ決定スル場合ニ於テ標準トナルヘキ事項ニ二種ノモノヲ指定スル營業ニ付テハ其ノ營業稅額ヲ折半シ之ヲ各標準毎ニ算定スルコト
- 一一 數種ノ營業ヲ兼營スルモノニシテ本稅額ヲ決定スヘキ標準ヲ異ニスルモノニ付テハ總營業稅額ヲ適當ノ標準(例ハハ荒利益)ニ依リ各營業別ニ區分シタル當該稅額ニ付前項ニ準シテ算定スルコト但シ各營業毎ニ區分算定スルノ要ナシト認メラルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラサルコト
- 一二 前四項ニ依リ本稅額ノ決定ヲ爲スヲ著シク不適當ト認ムルモノニ在リテハ別ニ適當ト認ムル標準ヲ用ヒ又ハ他ノ適當ト認ムル方法ニ依リ前四項ニ準シ之ヲ決定ヲ爲スコト
- 一三 一ノ營業所カ數市町村ニ亙ル場合ニ於ケル關係市町村ノ本稅額ハ別ニ適當ト認ムル標準ヲ用ヒテ之ヲ決定ヲ爲スコト
- 一四 本稅額ノ決定ヲ爲シタルモノニ付テハ其ノ事績ヲ明瞭ナラシムル爲適當ノ帳簿ヲ設ケ整理スルコト
- 一五 本稅額ノ決定ニ對スル異議ノ申出ヲ受理シタルトキハ左ノ事項ヲ具シ遲滯ナク之ヲ進達スルコト

- (一) 本稅額決定ノ内容ニ關スル調書
- (二) 異議ニ對スル意見
- (三) 異議ノ決定ニ參考トナルヘキ資料

### 營業稅額ノ分割ニ對スル異議ノ申出ニ關スル件通牒

(昭、一五、五、三〇、地發乙、一七五)  
各地方官宛地方、主稅兩局長

地方稅法第七條第四項又ハ第八條第四項並ニ地方分與稅法第四條第五項ノ規定ニ依ル營業稅額ノ分割ニ對スル異議ノ申出ハ其ノ決定ヲ爲シタル稅務官署又ハ府縣知事(北海道ニ在リテハ北海道廳長官)ヲ經由スルコトニ決定相成候條御承知ノ上管下市町村ニ對シテモ此ノ旨可然御示達相成度  
追テ此ノ場合ニ於ケル異議申出ノ期間ニ付テハ當該異議申出書ガ所定ノ期間内ニ經由スベキ稅務官署又ハ府縣知事(北海道ニ在リテハ北海道廳長官)ニ到達スルヲ以テ足ル義ト御承知相成度爲念

### 營業稅ノ分割ニ關スル件通牒

(昭、一五、五、三〇、藏稅一、五四一)  
各稅務監督局長宛主稅、地方兩局長

地方稅法第七條第一項ノ規定ニ依ル營業稅附加稅(營業稅割

ヲ含ム)ノ課稅標準タルベキ本稅額ノ決定及地方分與稅法第四條第二項ノ規定ニ依ル營業稅ノ額ノ決定ヲ爲スニ當リテハ左記各項ニ依リ御取扱相成度尙地方稅法第七條第二項及地方分與稅法第四條第三項ノ規定ニ依ル通知ハ一ノ通知書ニ之ヲ併記スルモ差支無之爲念

追テ地方稅法第八十九條及第九十二條第二項ノ規定ニ依ル昭和十四年度分以前ノ所得稅附加稅、營業收益稅附加稅、鑛產稅附加稅及都市計畫特別稅營業收益稅割ノ課稅標準トナルベキ本稅額ノ決定ニ付テモ本文ニ準ジテ御取扱相成度

#### 記

一 同一道府縣内ニ數營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲ス者ニ對スル本稅額(地方稅法第七條第一項ノ規定ニ依ル營業稅附加稅(營業稅割ヲ含ム)ノ課稅標準タルベキ本稅額又ハ地方分與稅法第四條第二項ノ規定ニ依ル營業稅ノ額以下之ニ同ジ)ノ決定ハ當該道府縣内ニ於ケル各營業所分ヲ合算シテ之ヲ爲スモノナルコト

二 所謂營業所トハ人的及物的ノ設備ヲ爲シ當該設備ニ於テ營業スル場所ヲ指稱スルモノナルコト從テ販賣品ノ仕入若ハ引渡ノミヲ爲ス場所又ハ發電所若ハ變電所等ノ如キハ之ヲ營業所トシテ取扱ヒ可然モ單ナル材料藏置所、倉庫、車庫又ハ従業員ノ詰所等ノ如キモノニシテ獨立シテ設ケラレタルモノハ之ヲ營業所ト認メサルコト

- 三 直接ニ收入ヲ生スルコトナキ營業所又ハ純益金額ナキ營業所分ニ對シテモ本稅額ノ決定ヲ爲スコト
- 四 本稅決定當時營業所ナキ場合ト雖モ法人ニ在リテハ各事業年度中(清算純益ニ關スルモノニ在リテハ合併又ハ解散ノ日)、個人ニ在リテハ前年中ニ有シタル營業所ニ對シテモ本稅額ノ決定ヲ爲スコト
- 五 非課稅營業又ハ免稅營業(製鐵事業法其ノ他ノ法律ニ依リ資本金ニ對シ純益カ年一割ヲ超過スル爲營業稅ヲ課セラレタルモノヲ除ク以下之ニ同シ)ノミヲ爲ス營業所ニ對シテハ本稅額ノ決定ハ之ヲ爲ササルコト
- 六 本稅額ノ決定ハ各營業ニ付昭和十五年四月三十日<sup>內務省大藏省</sup>告示第五號ヲ以テ指定スル事項ヲ標準トシテ之ヲ爲スコト
- 七 前項ニ依ル本稅額決定ノ標準ハ營業所ノ營業大小ヲ表現セシムルコトヲ本旨トシ左ノ各號ニ留意シテ之ヲ算定ヲ行フコト
  - (一) 收入金額トハ營業上ノ收入金額ヲ意味スルモノニシテ營業ノ目的ヲラサル資産ノ賣却等ニ因ル一時的收入ハ之ヲ包含セサルモノナルコト
  - (二) 經費中ニハ職工、鑛夫等ノ賃金又ハ運賃等ハ之ヲ含ムモ仕入品ノ原價、原料品代價ハ勿論電氣事業ニ於ケル買電料、土地建物賃賃業ニ於ケル土地建物ノ購入代價其ノ他之ニ類スルモノハ之ヲ含マサルモノナルコト

- (三) 收入金額中株式ノ額面超過金、補助金及獎勵金等ノ如キモノ竝ニ經費中役員報酬、社債利子、創業費、廣告費及租稅(法人稅、營業稅、同附加稅及臨時利得稅等)ノ如キモノハ各營業所ニ共通スルモノト認メ之ヲ除外スルコト
- (四) 運送業中海上運送ニ於ケル各營業所毎ノ收入金額ハ荷物運賃ハ積込地、旅客運賃ハ乘船地ニ依リ區分シ經費中海上費ハ各營業所ニ共通スルモノト認メ之ヲ除外スルコト
- (五) 製鍊所ノ鑛產物價額ハ製鍊ニ因ル増價額(鑛產物價額ヨリ推定原鑛價額又ハ買鑛代價ヲ控除シタルモノ)トスルコト
- (六) 標準トナルヘキモノノ中非課稅營業分又ハ免稅營業分ハ適當ノ方法ニ依リ分別ノ上之ヲ除外スルコト
- (七) 本稅額ヲ決定スル場合ニ於テ法人ニ在リテハ事業年度中ニ、個人ニ在リテハ前年中ニ新ニ營業所ヲ設ケ又ハ廢止シタルモノノ當該營業所ニ對スル標準ノ算定ニ付テハ收入金額又ハ經費ノ類ハ各其ノ營業所ノ營業期間中ニ於ケル收入金額又ハ經費等ニ依ルモノナルコト勿論ナルモノ固定資産ノ如キモノハ當該營業所ニ屬シ又ハ屬シタルモノヲ各其ノ營業所ノ存續期間中ノ月數ニ按分シタルモノニ依ルコト

- 八 本稅額ヲ決定スル場合ニ於テ標準トナルヘキ事項ニ二種ノモノヲ指定スル營業ニ付テハ其ノ營業稅額ヲ折半シ之ヲ各標準毎ニ算定スルコト
- 九 數種ノ營業ヲ兼營スルモノニシテ本稅額ヲ決定スヘキ標準ヲ異ニスルモノニ付テハ總營業稅額ヲ適當ノ標準(例ヘハ荒利益)ニ依リ營業別ニ區分シタル當該稅額ニ付前三項ニ準シテ算定スルコト但シ各營業毎ニ區分算定スルノ要ナシト認メラルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラサルコト
- 一〇 前四項ニ依リ本稅額ノ決定ヲ爲スヲ著シク不適當ト認ムルモノニ在リテハ別ニ適當ト認ムル標準ヲ用ヒ又ハ他ノ適當ト認ムル方法ニ依リ前四項ニ準シ之カ決定ヲ爲スコト
  - 一一 本稅額ノ決定ヲ爲シタルモノニ付テハ其ノ事項ヲ明瞭ナラシムル爲適當ノ帳簿ヲ設ケ整理スルコト
  - 一二 本稅額ノ決定ハ營業稅ノ決定ヲ爲シタル稅務署ニ於テ之ヲ爲スコト但シ審査決定ニ係ル營業稅ニ付テノ本稅額ノ決定ハ審査決定ヲ爲シタル稅務監督局ニ於テ之ヲ爲スコト
  - 一三 純益金額ノ誤謬訂正等ニ因リ營業稅額ニ異動ヲ生シタルトキハ當初決定ニ係ル各道府縣分ノ本稅額ニ付直ニ之カ更訂ヲ爲スコト

- 一四 地方稅法施行規則第四條ノ府縣知事ヘノ通知(法人ノ營業稅ニシテ分割ヲ要セサルモノモ之ニ準ス)ハ便宜毎月分ヲ取纏メ翌月十日迄ニ之ヲ爲スモ妨ケナキコト誤謬訂正其ノ他ノ原因ニ依リ當初ノ通知事項ニ異動ヲ生シタルトキモ右ニ準シ之ヲ爲スコト
- 一五 本稅額ノ決定ニ對スル異議ノ申出ハ其ノ決定ヲ爲シタル稅務官署ヲ經由スルコト(別紙通牒寫參照)トナリタルヲ以テ該申出ヲ受理シタルトキハ左ノ事項ヲ具シ遲滯ナク之ヲ進達スルコト
  - (一) 本稅額決定ノ内容ニ關スル調書
  - (二) 異議ニ對スル意見
  - (三) 異議ノ決定上參考トナルヘキ資料

**營業稅額等ノ分割ニ關スル件通牒**

(昭、一五、一二、一〇、地發乙三七六)  
各地方長官宛 地方、主稅兩局長

地方稅法第八條、第八十九條及第九十二條第二項ノ規定ニ依ル營業稅附加稅(營業稅割ヲ含ム)竝ニ昭和十四年度分以前ノ所得稅附加稅、營業收益稅附加稅、鑛產稅附加稅及都市計畫特別稅營業收益稅割ノ課稅標準トナルヘキ本稅額ノ分割ニ

關シテハ曩ニ之カ取扱方ニ付通牒ノ次第モ有之夫々御措置相成居候コトト存候處右ハ規定制定ノ趣旨ニ稽ヘ可及の迅速ナル處理ヲ必要ト致候ニ付テハ第八十九條及第九十二條第二項ノ規定ニ依ル昭和十四年度分以前ノ所得稅附加稅、營業收益稅附加稅及都市計畫特別稅營業收益稅附加稅ノ課稅標準タルヘキ本稅額ノ分割ニ付テハ左記方法ニ依ルモ差支無之候條御了知ノ上本稅額決定ノ都度速ニ御措置相成度

追テ稅務官署ニ於ケル道府縣間ノ分割ニ付テモ本文ノ趣旨ニ依リ取扱方通牒致置候條御了知相成度尙昭和十四年度分以前ノ所得稅附加稅、營業收益稅附加稅、鑛產稅附加稅及都市計畫特別稅營業收益稅附加稅ノ課稅標準ナルヘキ本稅額ノ分割ニ付テ前ノ規定ニ依リ關係地方團體ニ於テ協定ヲ要スヘキモノニシテ之カ協定未済ノモノ仍相當有之ヤウ認メラレ候ニ付テハ此ノ際速ニ協定ヲ遂ケラルト共ニ此ノ旨管下市町村ニ對シテモ可然御示達相成度申添候

記

一 府縣知事(北海道廳長官ヲ含ム以下之ニ同シ)ニ於テ決定スヘキモノノ直前ノ事業年度分(以下分割ノ基礎トナルヘキ事業年度分ト稱ス)ニ付關係市町村ニ於テ協定ニ係ル本稅額ノ歩合(府縣知事又ハ內務、大藏兩大臣ノ裁定ニ係ルモノハ其ノ歩合)ニ依リ分割スルコト  
二 前項ニ依リ分割スルモノハ左ノ各號ニ該當スルモノナル

回 答

(昭、一五、一二、九、靜局、二一) 靜岡縣知事宛 地方局長

十一月二日庶第六八一號ヲ以テ御照會相成候標記ノ件御見込ノ通ト存候

### 家屋稅賦課ニ關スル件

(昭、一六、四、一、一六、稅一四〇) 內務省地方局長宛 神奈川縣知事照會

健康保險組合ニ對スル標記ノ件ニ付左記兩說中何レニ依ルベキヤ御意見承知致度此段及照會候

記

一 地方稅法第八十七條第一項本文ニ所謂「地方稅」中ニハ府縣稅獨立稅タル家屋稅ヲ包含シ從ツテ同稅ニ付テモ同法第十二條ノ適用アルモノト解セラレ既ニ廢止セラレタル府縣制第一百十條(市制第二百一十一條、市制第一百一條)ニ依ル不課稅範圍ヲ縮少セラレタル結果トナリ同規定ニ所謂「其ノ他公共團體」中ニハ新ニ課稅ヲ受クヘキモノヲ生スルモノ已ムヲ得サルモノト解ス

二 右家屋稅ニ付テ地方稅法第十二條ノ適用アル如ク解セラレルモ地方稅法中同條以外ハ附則經過規定ニ依リ定メラルル所ヨリ考察スレハ同條ハ家屋稅附加稅ニ付テ昭和十七年

コト  
(1) 當該事業年度ノ營業所數ガ分割ノ基礎トナルベキ事業年度分ノ夫レト同一ニシテ且其ノ營業所ノ營業ノ規模ガ夫々大ナル變動ナシト認メラルモノ  
(2) 關係市町村ニ在ル營業所ノ營業ノ規模等ヨリシテ分割ノ基礎トナルベキ歩合ガ達觀上適當ト認メラルモノ  
三 分割ノ基礎トナルベキ事業年度分ノ本稅額ノ歩合ニ付現ニ關係市町村ニ於テ協議中ニ係ルモノナルトキハ其ノ協議案ニ於ケル歩合ニ依リ一應分割事務ヲ進捗セシムルコト尤モ此ノ場合ニ於テモ其ノ歩合ガ關係市町村ニ大體異議ナク且達觀上適當ト認メラルモノナルコト勿論ナルコト  
四 前項ノ場合ニ於ケル分割ノ決定ハ關係市町村ノ協議ノ決定ヲ俟テ之ヲ爲スコト

### 段別稅附加稅ニ關スル件

(昭、一五、一一、二、庶、六八一) 內務省地方局長宛 靜岡縣知事照會

公用又ハ公共ノ用ニ供セザルモ縣有土地ナル爲段別稅ヲ課セザル場合ニ於テハ假令評定賃賃價格ヲ設定スルモ本稅ノ賦課無キモノナルガ故ニ之ガ附加稅ヲ賦課シ得ザルモノト存セラレルモノ聊カ疑義有之候條何分ノ御回答相煩度此段及照會候也

回 答

(昭、一六、五、九、神局、四) 神奈川縣知事宛 地方局長

度分ヨリ適用セラレルモノニシテ又不課稅限ノ新法ヲ適用スルハ不適當ナルヲ以テ地方稅法第八十七條第一項本文ニ所謂「地方稅」中ニハ家屋稅ヲ含マスト解スルヲ適當トシ且同法第八十八條第二項中所謂「從前ノ規定」中ニハ舊府縣制第一百十條等ノ規定ヲ包含スルモノト解シ昭和十六年度分迄ハ同規定ヲ適用シ得ルモノト解ス

記 明

四月一日十六稅第一四〇號ヲ以テ御照會相成候標記ノ件右ハ第一說ニ依ルヘキ義ト存候  
從來健康保險組合ハ町村制第一百一條(府縣制第一百十條適用)該當ノ公共團體トシテ取扱ハレ居タルモ(別紙昭和七年十月二十八日地局第八五號地方局長通牒參照)曩ノ稅制改正ニ依リ地方稅法(第十二條)指定ノ公共團體中ニ包含セラレサルコトトナリタルヲ以テ本件家屋稅ハ當然課稅セラレヘク地方稅法第八十八條第二項ニ所謂「從前ノ規定」トハ明治四十一年法律第三十七號及大正十五年法律第二十四號ノミヲ指稱シ前掲府縣制ノ規定ノ如キハ之ヲ包含セサルモノト解スヘキモノトシ右ノ如ク回答セラレタモノテアル

**地方税法施行令第六條ノ規定ニ依ル稅ノ指定ニ關スル件依命通牒**

(昭、一五、七、一九、發地、七二)  
各地方長官宛地方、主稅兩局長

七月十九日內務省告示第六號ヲ以テ貴官ニ於テ許可相成ルヘキ稅ヲ指定セラレ候處獨立稅ノ新設又ハ變更ノ許可ニ當リ當該市町村ノ財政ノ精査シ其ノ必要ノ有無ニ付十分ナル檢討ヲ致サルルハ勿論負擔ノ均衡ニ付テモ篤ト御留意相成度尙實施上左記事項御了知相成度

記

- 一 獨立稅ノ新設又ハ變更ノ許可ニ當リテハ必要ニ應シ適宜年度ヲ限ルコト
- 二 指定ニ係ル獨立稅ノ賦課率又ハ賦課定額ノ目途其ノ他大體左ノ各號ニ依ルコト
  - (一) 給仕人稅
    - (1) 賦課定額ハ大體左ノ程度ヲ目途トスルコト
      - (イ) 從前道府縣稅雜種稅トシテ斯ノ種稅ノ課稅ヲ爲シタル道府縣内ノ市町村ニ在リテハ當該道府縣稅雜種稅ノ額ト之ニ對スル附加稅ノ額トノ合算額
      - (ロ) 前號以外ノ市町村ニ在リテハ月額二圓以內ニ於

二四八

テ土地ノ情況ニ應シ適宜之ヲ定ムルコト  
(2) 年齡十四歲未滿ノ者ニ對シテハ課稅セサルコト

(二) 傭人稅

(1) 賦課定額ハ大體左ノ程度ヲ目途トスルコト

(イ) 從前道府縣稅雜種稅トシテ課稅ヲ爲シタル道府縣内ノ市町村ニ在リテハ當該道府縣稅雜種稅ノ額ト之ニ對スル附加稅ノ額トノ合算額

(ロ) 前號以外ノ市町村ニ在リテハ傭人一人ニ付年額三圓但シ傭人數ニ應シテ賦課額ヲ遞増スルモ差支ナキコト

(2) 年齡十四歲未滿及十六歲以上ノ傭人ハ課稅標準ヨリ之ヲ除外スルコト

(三) 入湯料 賦課定額ハ大體左ノ程度ヲ目途トスルコト

(イ) 從前特別稅トシテ課稅シタル市町村ニ在リテハ特別稅トシテ課稅シタル課額

(ロ) 前號以外ノ市町村ニ在リテハ土地ノ情況ニ應ジテ適宜前項ニ準ジ之ヲ定ムルコト

(四) 鑛泉稅

(1) 鑛泉稅ヲ課スルハ徵收ト其ノ他ノ事由ニ因リ入湯稅ヲ課スルヨリモ鑛泉稅ヲ課スルヲ便宜トスル市町村ニ限リ之ヲ認ムルコト

(2) 賦課率又ハ賦課定額ハ大體左ノ程度ヲ目途トスルコト

ト

(イ) 從前道府縣稅雜種稅トシテ鑛泉稅(溫泉稅ヲ含ム)ノ課稅ヲ爲シタル道府縣内ノ市町村ニ在リテハ當該道府縣稅雜種稅ノ額ト之ニ對スル附加稅トノ合算額

(ロ) 前號以外ノ市町村ニ在リテハ土地ノ情況ニ應ジテ適宜前項ニ準ジ之ヲ定ムルコト

三 前號ニ掲グル稅ニ付其ノ賦課率又ハ賦課定額ガ通牒ノ目途ヲ超過スルモノ其ノ他異例ニ屬スト認メラルモノニ付テハ許可前豫メ地方主稅兩局長ニ協議スルコト

四 稅ノ實體ニ何等ノ變更ヲ加フルコトナク單ニ其ノ名稱ヲ變更シ又ハ條例ノ規定ノ字句ヲ修正ヲ爲スガ如キハ地方稅法第六十三條第四項等ニ所謂稅ノ變更ニ該當セザルモノナルヲ以テ稅制改正ニ因ル一般の條例制定ニ際シテハ右趣旨ニ依リ從前ノ特別稅ニ關スル規定ヲ適宜整備ノ上一般の條例ニ統一セシムルコト尙獨立稅ノ名稱ハ左ニ掲グルガ如ク之ヲ統一スルヲ適當ト認メラルヲ以テ該當ノモノアルトキハ此ノ際之ニ依ラシムルト共ニ今後斯ノ種ノ獨立稅ノ新設ニ當リテモ同様措置セシムルコト

- (一) 商品券發行稅ヲ商品切手發行稅ニ更ムルコト
- (二) 森林伐採稅又ハ山林伐採價格割ヲ立木伐採稅ニ更ムルコト

**不動産取得稅賦課ニ關スル疑義ノ件**

(昭、一六、六、六、編局、一三)  
福岡縣知事宛地方局長照會

標記ノ件賦課ニ關シ左記事項聊カ疑義有之候條何分ノ御指示相仰度御照會候也

記

本件不動産取得稅ノ課稅標準ハ取得當時ノ時價ニ依リ賦課致居候處客年十一月二十日勅令第七八一號「宅地建物等價格統制令」及本年一月二十九日勅令第一〇九號「臨時農地價格統制令」公布セラレ價格ハ總テ統制價格ヲ超エサルコトニ相成候處茲ニ統制價格ト不動産取得稅ノ課稅標準タル時價トハ別個ニ考慮シ差支ナキモノト解スル向アルモ右ハ各種統制令制定ノ趣旨ニ鑑ミ課稅物件カ統制令ノ適用ヲ受クルモノニ在リテハ統制價格ヲ超ユル價值アル場合ト雖モ統制價格ニ止ムヘキモノト存スルモ御意見承度

回 答

四月十五日一六稅第二六號ヲ以テ御照會相成候標記ノ件右

二四九

ハ價格統制ニ關スル法令ノ適用ヲ受クル不動産ノ取得ニ對スル不動産取得税ノ課税標準タル不動産價格ハ右法令ニ依ル價格ヲ超エサル様取扱フヲ妥當ト存候

### 不動産取得税ノ賦課ニ關スル疑義ノ件

(昭、一六、六、七、福局、一二)  
福岡知事宛、地方局長照會

地方税法第五十三條第二項第一號ニ依リ地方税不動産取得税ヲ賦課シ得サル遺産相続ハ民法第九百九十二條ノ遺産相続ニ限定セラルルモノトハ解スルモ相続税法第二十三條ノ規定ニ依リ遺産相続ト看做サレ相続税ヲ課セラレタルモノニ付テノ地方税不動産取得税ノ賦課ニ關シテハ不動産及船舶其ノモノヲ爲シタル贈與ハ右遺産相続ト看做シ課税セザルヲ適當カト存ゼラルルモ聊カ疑義有之候條御意見承度  
尙本件ニ關シテハ昭和三年十月十六日宣告ノ行政判決ハ有之候モ右ハ相続税法ノ改正前ノ課税ニ對スル判例ニ有之候條相伺候

### 回答

五月二十四日一六稅第四六號ヲ以テ御照會相成候標記ノ件右ハ不動産取得税ヲ課税シ可然

### 市町村民稅ニ關スル件依命通牒

(昭、一五、八、二九、發地、八八)  
各地方長官宛地方、主稅兩局長

標記ノ件ニ關シテハ左記各項御了知ノ上管下市町村ニ對シ可然御指示相成度

### 記

- 一 國ニ對シテハ市町村民稅ハ之ヲ課スルコトヲ得サルモノナルコト
- 二 地方税法第十二條第一項第二號又ハ第三號ニ依リ地方税ヲ課スルコトヲ得サル地方團體其ノ他勅令ヲ以テ指定セラレタル公共團體ニ對シテハ同條ノ解釋上市町村民稅モ亦之ヲ課スルコトヲ得サルモノナルコト
- 三 同一納稅義務者ニ對シ數市町村ニ於テ市町村民稅ヲ課スル場合ニ於ケル當該納稅義務者ノ賦課額ニ付テハ負擔過重トナラサルヤウ留意スルコト尙同一市町村內ニ於テ同一法人ノ事務所又ハ營業所二以上アル場合ニ於ケル各其ノ賦課額ニ付テモ亦同様ナルコト
- 四 市町村民稅ニ關スル條例ノ規定ニ付テハ別紙要綱參照ノコト

(別紙)

### 市町村民稅ニ關スル條例ノ規定ニ關スル要綱

#### 規定ニ關スル要綱

- 一 免稅ノ範圍ヲ規定スルコト
    - (一) 神社、寺院及教會ニ對シテハ市町村民稅ハ之ヲ課セザルコト
    - (二) 前號ニ掲グルモノノ外市町村民稅ヲ課セザルモノノ範圍ハ市町村ニ於テ任意ニ之ヲ定メ得ベキコト勿論ナルモ本稅創設ノ趣旨ニ稽ヘ其ノ範圍ヲ擴張セザルヲ適當トスルコト
  - 二 賦課方法ヲ規定スルコト
 

賦課方法ハ左ニ掲グル如キ方法ニ付市町村ノ實情ニ應ジ適宜之ヲ定ムルコト

    - (一) 左ノモノヲ用ヒテ等級ヲ設ケ其ノ等級ニ應ジテ定額ヲ賦課シ又ハ左ノモノヲ用ヒテ個數ヲ設ケ當該個數ニ賦課總額ヲ按分シテ賦課額ヲ定ムルモノ
- (1) 所得額
- (註) 同一納稅義務者ニ對シ數市町村ニ於テ市町村民稅ヲ賦課スル場合ニ於ケル當該納稅義務者ノ所得額ハ當該市町村內ノモノノミニ依ルコトトシ彼此重複ヲ避クルコト
- (2) 所得額及資産ノ狀況ニ依ル賣力

(註) 前號ノ(註)參照

(3) 家屋ノ賃賃價格

(註)

- ① 家屋ノ賃賃ノ賃賃價格ハ當該市町村內ニ在ル家屋ノ賃賃價格ニ依ルコト
- ② 家屋ノ賃賃價格ハ家屋稅ノ課稅標準タルベキ家屋ノ賃賃價格ニ依リ家屋ノ課稅標準タルベキ家屋ノ賃賃價格ナキトキ又ハ一個ノ家屋內ニ數戸ヲ構ヘ若ハ其ノ一部ニ事務所、營業所ヲ設クルモノナルトキハ家屋賃賃價格ハ市町村長ノ定ムル所ニ依ルコト
- ③ 一戸構ヘ且事務所、營業所若ハ家屋敷ヲ有スル者又ハ二戸以上ヲ構ヘ又ハ二以上ノ事務所、營業所若ハ家屋敷ヲ有スル者ノ家屋ノ賃賃價格ハ各其ノ使用スル家屋ノ賃賃價格ノ合計額ニ依ルコト
- ④ 倉庫業又ハ旅館業等ノ如ク家屋其ノモノガ當該營業設備ノ主要ナル部分ヲ占ムルモノニ在リテハ當該營業ノ爲ニ使用スル家屋ノ賃賃價格ハ他ノ家屋ノ賃賃價格ニ比シ相當程度ノ輕減ヲ爲スコト
- ⑤ 家屋ヲ有セザル者即チ獨立ノ生計ヲ營ム者、水上生活其ノ他之ニ類スル者ニハ一律ニ定額ヲ以テ賦課スルコト

(4) 家屋ノ賃貸價格及宅地ノ賃貸價格

(註) 前號ノ(註)參照

(5) 前各號ノモノヲ適宜組合セタルモノ

(註) (1)及(3)ノ(註)參照

(二) 見立ニ依リ賦課スルモノ

(1) 一定ノ等級ニ依リ賦課定額ヲ設ケ各納稅義務者ノ等級ヲ見立ニ依リ定ムルモノ

(註) ① 各納稅義務者ノ等級ハ毎年度町村會ノ議決ヲ

經ルコト

② 見立ノ標準ハ所得額又ハ所得額及資産ノ狀況ニ依ル資力等適宜ノモノニ依ルコトトシ其ノ標準ノ算定方法ト共ニ條例トハ別個ニ適宜定メ置クヲ適當トスルコト

(2) 各納稅義務者ノ賦課額ヲ見立ニ依リ定ムルモノ

(註) ① 各納稅義務者ノ賦課額ハ毎年度町村會ノ議決ヲ經ルコト

② 前號ノ註②參照

三 徵收方法ヲ規定スルコト

(註) ① 市町村民稅ハ成ルヘク之ヲ一期ニ徵收スルコト

② 地方稅法第六十五條第三項ノ規定ニ依リ同法第十條ノ規定ノ適用ヲ排除セラレタルハ賦課期

生徒ノ類

(二) 地方稅法第六十四條第一項第二號ニ所謂事務所、營業所又ハ家屋敷ヲ有スル個人トハ左ニ掲クル如キモノヲ指稱スルモノナルコト

(1) 事務所ヲ有スル個人トハ例ヘハ醫師、諸藝教授、辯護士又ハ司法書士等所謂營業者ニ非サルモノカ其ノ職業上ノ必要ヨリシテ住宅以外ノ場所ニ診療所、教授所、法律事務所等ヲ有スルヲ謂ヒ、其ノ設備カ自己ノ所有ニ係ルモノナルト否トハ之ヲ問ハス

(2) 營業所ヲ有スル個人トハ營業ヲ營ム者カ住宅以外ニ營業所ヲ有スルヲ謂ヒ其ノ設備カ自己ノ所有ニ係ルモノナルト否トハ之ヲ問ハス而シテ營業所ノ意義ニ付テハ地方稅法第八條ニ所謂營業所トシク人的及物的ノ設備ヲ爲シ當該設備ニ於テ營業スル場所ヲ指稱ス從テ販賣品ノ仕入若ハ引渡ノミヲ爲ス場所等ノ如キハ之ヲ營業所トシテ取扱ヒ可然モ單ナル材料藏置所、倉庫、車庫又ハ従業員ノ詰所等ノ如キモノニシテ獨立シテ設ケラレタルモノハ之ヲ營業所ト認メス

(3) 家屋敷ヲ有スル個人トハ自己ノ居住ノ用ニ供スル目的ヲ以テ設ケタル住宅ヲ有スルモノヲ謂ヒ現ニ居住ノ有無及當該住宅カ自己ノ所有ニ係ルモノナルト否トハ之ヲ問ハス例ヘハ所謂別宅、別荘ヲ有スルモノノ如キ或ハ自己

日後ノ納稅義務ノ發生又ハ消滅ニ付テハ之カ整理ヲ爲ササル趣旨ナルコト

四 納稅義務者ヨリ賦課ニ關シ必要ナル事項ヲ届出シムルコトヲ規定スルコト

(註) 賦課方法ノ定メ方如何ニ依リ本項ハ不必要ナル場合アルヘキコト

備考

一 納稅義務者ニ關シ留意スヘキ事項

(一) 地方稅法第六十四條第一項第一號ニ所謂一戸ヲ構フル個人又ハ獨立ノ生計ヲ營ム個人トハ左ニ掲クル如キモノヲ指稱スルモノナルコト

(1) 一戸ヲ構フル個人トハ獨立シタル世帯ヲ構フル者ヲ謂フ

(2) 獨立ノ生計ヲ營ム個人トハ他人ノ世帯ニ寄寓シ又ハ寄宿舎、下宿屋等ニ寄宿又ハ下宿シ自己ノ經濟ニ於テ生計ヲ營ム者ヲ謂フ、而シテ獨立ノ生計ヲ營ム者ナリヤ否ニ付テハ事實ニ依リ認定スルノ外ナキモ次ニ掲クルモノノ如キハ所謂獨立ノ生計ヲ營ム者ニ該當セス

- ① 家事使用人タル同居ノ書生、下男、女中ノ類
- ② 師匠ノ宅ニ同居スル内弟子、料理店ニ住込ノ女中、藝妓置屋ニ同居スル藝妓ノ類
- ③ 寄宿舎又ハ下宿屋ニ於テ仕送りニ依リ生活スル學生

ノ住宅ニハ留守番ヲ置キ自身ハ都市ニ於テ生活シツツアル所謂不在主ノ如キハ本號ニ該當ス

(三) 地方稅法第六十四條第一項第三號ニ所謂事務所トハ營利ヲ目的トセサル法人カ其ノ業務上ノ必要ヨリシテ設ケタル人的及物的ノ設備ヲ謂フモノナルコト從テ産業組合又ハ工業組合等ニシテ販賣又ハ購買ヲ目的トスルモノノ其ノ販賣品又ハ購買品ノ受渡ノミヲ爲ス場所若クハ加工ノミヲ爲ス場所ノ如キハ之ヲ事務所トシテ取扱ヒ可然モ單ナル材料藏置所、倉庫、車庫又ハ従業員ノ詰所等ノ如キモノニシテ獨立シテ設ケラレタルモノハ之ヲ事務所ト認メス尙同號ニ營業所トハ營利ヲ目的トスル法人カ其ノ營業上ノ必要ヨリシテ設ケタル設備ヲ謂フモノニシテ地方稅法第八條ニ所謂營業所ト同意義ナルコト

二 賦課ノ制限ニ關シ留意スヘキ事項

(一) 地方稅法第六十六條第二項ノ規定ハ當該市町村ニ於テ賦課スヘキ市町村民稅ノ總額ニ付其ノ最高限度ヲ示シタルモノナルコト從テ制限滿度ノ額ヲ賦課スルニ於テハ賦課後誤謬賦課又ハ賦課洩レ等アリタル場合ハ直ニ法定制限額ヲ超過スル結果トナリ違法賦課ノ問題ヲ惹起スヘキヲ以テ相當ノ餘裕ヲ存シ賦課額ヲ定ムルヤウ留意スルコト

(二) 地方稅法第六十六條第二項ニ規定スル第六十四條ニ



定ムル納稅義務者數トハ第六十四條第一項各號ニ該當スル者ヨリ全項但書ニ該當スル者ヲ控除シタルモノヲ指稱スルモノナルコト從テ市町村ノ定ムル所ニ依リ市町村民稅ヲ課セサル者ト雖モ仍納稅義務者數ノ計算中ニ包含セラルヘキモノナルコト

### 市町村民稅ニ關スル件通牒

(昭、一五、九、六、地發乙、三〇〇)  
各地方官宛地方、主稅兩局長

一般ニ在外帝國外交官及領事官ハ市町村民稅ニ相當スル稅ノ賦課ヲ受ケ居ラザルノミナラズ右外交官及領事官ヲ除ク帝國大公使館及領事館ノ職員モ實際ノ取扱トシテ免除セラレ居リ候趣ニ付テハ外國ノ外交官及領事官ハ勿論右以外ノ大公使館及領事館ノ職員ニ對シテモ相互免除ノ趣旨ニ則リ市町村民稅ハ之ヲ免除スルヲ適當ト存候條條例中ニ此ノ旨ヲ規定スルヤウ管下市町村ニ對シ可然御示達相成度

### 市町村民稅ニ關スル件通牒

(昭、一五、一〇、七、地發乙、三二三)  
各地方官宛、官宛、地方、局長

標記ノ件ニ關スル別紙申號愛媛縣ヨリノ照會ニ對シ乙號ノ

通回答致置候條爲御參考

(甲號)

愛媛縣地方課長照會

(昭、一五、九、一一)  
內務省財政課長宛

工場、會社等ノ寄宿舎ニ在ル女工ノ如キハ地方稅法第六十四條ニ謂フ獨立ノ生計ヲ營ム個人ニ該當スルヤ否ヤ折返シ返乞フ

(乙號)

市町村民稅ニ關スル件回答

(昭、一五、九、二八)  
媛局、二二地方局長

標記ノ件ニ關シ曩ニ地方課長ヨリ財政課長宛電信ヲ以テ照會越候處右ハ獨立ノ生計ヲ營ム個人ニ該當セザルモノト存候

### 市町村民稅賦課ニ關スル件

(昭、一五、九、一三、地、一四五)  
內務省地方局長宛、奈良縣知事照會

標記ノ件ニ關シ之カ取扱ニ付左記ノ場合ハ營業所ニ該當セザルモノト被存候ヘ共聊疑義有之候條至急何分ノ義御回示相煩シ度

左記

一 電車ノ停留所ニシテ待合兼ブラツトホームノ物的設備ヲ存スルモ、別ニ切符ノ實捌ヲ爲サス又社員ヲ駐在セシメス隣接ノ個人ヲシテ其ノ個人住宅若ハ會社ノ施設ノ一部ニ於

テ切符ヲ實捌カシメ契約ニ依リ實上高ニ對スル報償金ヲ交付シ居ル場合

二 乗合自動車ノ車庫ニ一定ノ車輛ヲ定置シ單ニ運轉手又ハ車掌ヲ車庫ノ一隅ニ宿泊セシメル場合

三 自動車會社カ旅客及貨物ヲ運搬スル營業用ノ車輛ヲ修繕スル爲自動車修繕場ヲ設ケアル場合

回 答

(昭、一五、一〇、五、奈良縣知事宛地方局長)

九月十三日地第一四五一號ヲ以テ御照會相成候標記ノ件一及二ニ付テハ見込ノ通、之ニ付テハ營業所トシテ取扱ヒ可然ト存候

### 市町村民稅ニ關スル件

(昭、一五、一〇、九、島根縣知事照會)

會社ノ従業員ニシテ賄料ヲ支拂ヒテ會社ノ經營セル寄宿舎ニ居住スルモノハ地方稅法第六十四條ノ獨立生計者ト存ズルモ如何ヤ差掛リタル件ニ付電報ニテ御回示ヲ乞フ

回 答

(昭、一五、一〇、二四、島局、一三)  
島根縣知事宛、地方局長

九月二十七日電信ヲ以テ御照會相成候標記ノ件右ハ當該從業

員ノ生活ノ態樣等ヨリ考察シテ生活ノ獨立性ヲ認メラルルニ於テハ格別然ラザルニ於テハ所謂獨立ノ生計ヲ營ム者ニ該當セザルモノト存候

追テ工場、會社等ノ寄宿舎ニ在ル女工ノ如キハ獨立ノ生計ヲ營ム者ニ該當セザルモノナルコト曩ニ通牒ノ通ニ有之爲念

### 市町村民稅ノ賦課ニ關スル件

(昭、一五、一二、三、地、七九六五)  
內務省地方局長宛、新潟縣知事照會

法人ニ對スル市町村民稅ノ賦課ニ關シ左記ノ廉疑義相生候條至急御回示相煩度及照會候也

記

一 鑿井機械ヲ据付ケ槽ヲ建テ常時従業員ヲ配置シテ石油ノ試掘又ハ探掘ヲ爲ス場所ハ之ヲ營業所ト認ムヘキヤ

二 一市町村內ニ右ノ場所數箇所アル場合ハ一箇所毎ニ一營業所ト認ムヘキヤ

三 一ノ場所ニ於テ甲坑井ノ鑿井機ヨリロープヲ以テ乙坑井ノ鑿井機ニ連絡シ甲鑿井機ノ動力ヲ以テ乙鑿井機ヲ運轉スルモノハ併セテ一ノ營業所ト認ムヘキヤ

四 一ノ場所ニ於テ各坑井ニ專屬ノ従業員ヲ配置セ又時間ヲ

定メテ數ヶ所ノ坑井ヲ見廻ラシムルモノハ各坑井毎ニ一營業所ト認ムヘキヤ

五 石油坑井ノ掘鑿及採油上必要ナル用水ヲ取入ルル設備ハ假令獨立ノ建物ヲ建テ機械ヲ据付ケ常時人員ヲ配置スルモノト雖獨立ノ營業所ニ非スト解スヘキヤ

回 答

(昭、一六、三、二六、新局、二八)  
新潟縣知事宛地方局長

客年十二月三日地第七九六五號ヲ以テ御照會相成候標記ノ件右ハ一ノ動力發生裝置(ポンピングタワー)ニ關聯ヲ有スル坑井又ハ従業員ノ一従業員區域ニ屬スル坑井ノ全部ヲ一體トシテ一營業所ト認ムルヲ妥當トスベク用水取入設備ハ營業所ト認メ難キモノト存候

追テ右ノ如ク解スルコトニ依リテ一市町村内ニ二以上ノ營業所ヲ有シ又ハ一營業所ガ二市町村以上ノ地域ニ跨ルコト可有之ト思料セラレ候ニ付市町村民稅ノ賦課ニ當リテハ負擔過重ヲ來サザル様充分留意セシメラレ度

### 市町村民稅賦課ニ關スル件

(昭、一五、一、一六、地、三〇九三)  
內務省地方局長宛熊本縣知事照會

市町村民稅ノ賦課ニ關シ左記ノ點聊カ疑義相生候條至急御意

見御回示相成度此段及照會候也

記

發電所ニ於ケル單ナル取入口及導水路ハ之ヲ營業所ト認メラレザルハ勿論ナルモノ的及物的ノ設置ヲナシ營業的行爲ヲナス調整池ハ營業所ト被存候カ如何

尙右調整池ガ營業所ト認メラルル場合之ニ附隨スル取入口及導水路ノ設備ヲモ營業收益稅附加稅分割ノ標準ニ加ヘ可然哉

回 答

(昭、一六、三、三一、熊局、一六)  
熊本縣知事宛地方局長

客年十一月十六日地第三〇九三號ヲ以テ御照會相成候標記ノ件右ハ前段ニ付テハ御見込ノ通後段ノ取入口及導水路ハ調整池ニ附隨スルモノト認メザルヲ妥當ト存候

## 第四編 地方稅ヲ課スルコトヲ得サル

### 旨ヲ規定シタル法律(抄錄)

### 産業組合法抄

(明三三、三、七、法律三四)

第六條ノ二 命令ノ定ムル所ニ依リ産業組合ノ住宅ノ建設、購入若ハ住宅用地ノ取得又ハ組合ト組合員トノ間ニ於ケル住宅若ハ其ノ用地ノ所有權移轉ニ關シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ス

### 産業組合法施行規則抄

(明四二、八、二一、農商務省令三五)

第一條ノ八 産業組合法第六條ノ二ニ住宅ト稱スルハ主トシテ住居ノ用ニ供スル家屋及之ニ相應スル門、牆塀、物置、井戸其ノ他居住ノ爲必要ナル附屬設備ヲ謂フ

第一條ノ九 産業組合法第六條ノ二ノ規定ニ依リ地方稅ノ免除ヲ受クヘキ住宅又ハ住宅用地ハ左ノ制限ニ從フコトヲ要ス但シ産業組合ノ住宅ノ建設若ハ購入又ハ住宅用地ノ取得ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

- 一 住宅ハ一組合員ニ付一戸ニ限ル
- 二 前號ノ住宅ハ一戸ニ付家屋各階ノ床面積合計五十坪ヲ超ユルコトヲ得ス但シ地方長官ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 三 住宅用地ハ住宅ニ相應スルモノナルコトヲ要ス

### 郵便法抄

(明三三、三、一三、法律五四)

第七條 郵便専用ノ物件及現ニ郵便ノ用ニ供スル物件ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス

郵便専用ノ物件ハ何等ノ賦課ヲ受クルコトナシ  
郵便物及他ノ取扱ニ必要ナル物件ハ海損ヲ分擔セズ

### 電信法抄

(明三三、三、一四、法律五九)

第十一條 電信若ハ電話専用ノ物件又ハ現ニ其ノ用ニ供スル物件ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス  
前項専用ノ物件ハ何等ノ賦課ヲ受クルコトナシ

### 所得稅法抄

(昭一五、三、二九、法律二四)

第八十七條 北海道、府縣市町村其ノ他ノ公共團體ハ所得稅ノ附加稅ヲ課スルコトヲ得ズ

### 相續稅法抄

(明三八、一、一、法律一〇)

第二十六條 府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ハ相續稅ノ附加稅ヲ課スルコトヲ得ズ

### 森林法抄

(明四〇、四、二三、法律四三)

第十二條 本法施行以前ヨリ荒廢ニ屬シタル森林ニ付新ニ造

林シタルトキハ其ノ納稅義務者ノ申請ニ依リ其ノ造林シタル部分ニ限リ三十年以内地租ヲ免スルコトヲ得  
前項ノ規定ハ原野、山岳又ハ荒蕪地ニ新ニ造林シタル場合ニ之ヲ準用ス  
府縣市町村其ノ他ノ公共團體ハ前二項ニ依リ地租ヲ免セラレタル土地ニ對シ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルコトヲ得ス

### 遊興飲食稅法抄 (昭一五、三、二九、法律四一)

第十六條 北海道、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ハ遊興飲食稅ノ課稅標準タル料金ニ對シ地方稅ヲ課スルコトヲ得ス

### 入場稅法抄 (昭一五、三、二九、法律四四)

第十八條 北海道、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ハ第一種ノ場所ノ入場者又ハ第二種ノ場所ノ設備利用者ニ對シ入場稅ノ課稅標準タル入場料ヲ標準トシテ地方稅ヲ課スルコトヲ得ス  
前項ノ規定ハ特別入場稅ニ付之ヲ準用ス

第二條 入場稅ハ左ニ掲クル第一種ノ場所ニ入場スル者又ハ第二種ノ場所ノ設備ヲ利用スル者ニ之ヲ課ス  
第一種  
一 演劇、活動寫眞、演藝又ハ觀物(相撲、野球、拳闘其ノ他ノ競技ニシテ公衆ノ觀覽ニ供スルコトヲ目

ハ軍事上必要ナル通信ノ用ニ供スル無線電信又ハ無線電話ニ之ヲ準用ス

### 軍事扶助法抄 (大六、七、二〇、法律一)

第十七條 本法ニ依リ給與ヲ受ケタル扶助金品ヲ標準トシテ租稅其ノ他ノ公課ヲ課セス

### 農業倉庫業法抄 (大六、七、二一、法律一五)

第十四條ノ二 農業倉庫業者ノ農業倉庫又ハ其ノ敷地ニ關スル權利ノ取得ニ關シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ス

### 私立學校用地免租ニ關スル法律抄 (大八、四、五、法律三八)

第一條 左ニ掲クルモノノ用ニ供スル土地ニ付テハ納稅義務者ノ申請ニ因リ其ノ地租ヲ免除ス但シ有料借地ハ此ノ限ニ在ラス  
一 私立ノ幼稚園、小學校、中學校、高等女學校、實業學校、專門學校、高等學校及大學  
二 前號ニ掲ケサル私立學校ニシテ大藏大臣ニ於テ指定シ

的トスルモノヲ含ム)ヲ催ス場所

- 二 競馬場
- 三 前二號ニ掲クルモノヲ除クノ外一定ノ催物ヲ爲シ公衆ヲ觀覽又ハ遊戯ニ供スル場所ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノ

### 第二種

- 一 舞踏場、麻雀場、撞球場
- 二 ゴルフ場、スケート場

第九條 特別入場稅ハ運動競技ニシテ學生生徒又ハ該競技ヲ爲スコトヲ業トセサル者ノ行フモノニ付觀覽ノ爲競技場ニ入場スル者ヨリ料金ヲ徵スル場合ニ於テ其ノ入場者ニ之ヲ課ス

### 取引所稅法抄 (大三、三、三一、法律二三)

第二十二條 北海道、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ハ營業稅ノ附加稅ヲ課スルノ外取引所ノ業務ニ對シ地方稅ヲ課スルコトヲ得ス

### 無線電信法抄 (大四、六、二一、法律二六)

第二十八條 電信法第四條、第五條第十一條乃至第二十一條第二十三條、第二十四條及第四十五條ノ規定ハ公衆通信又

タルモノ

第二條 前條ノ規定ニ依リ地租ヲ免除スヘキ土地ハ校舍及寄宿舎、圖書館其ノ他保育又ハ教育上必要ナル附屬建物ノ敷地並運動場、實習用地其ノ他直接ニ保育又ハ教育ノ用ニ供スルモノニ限ル但シ收益ヲ生スル土地ニ付テハ大藏大臣ハ免租スベキ區域ニ制限スルコトヲ得

第三條 北海道、府縣、市町村、其ノ他ノ公共團體ハ本法ニ依リ免租セラレタル土地ニ對シ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルコトヲ得ス

### 住宅組合法抄 (大二〇、四、一二、法律六六)

第十一條 住宅組合ノ住宅ノ建設、購入若ハ住宅用地ノ取得又ハ組合ト組合員トノ間ニ於ケル住宅若ハ其ノ用地ノ所有權移轉ニ關シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ス

### 健康保險法抄 (大一一、四、二二、法律七〇)

第六十九條 保險給付トシテ支給ヲ受ケタル金品ヲ標準トシテ租稅其ノ他ノ公課ヲ課セス

### 競馬法抄 (大二三、四、一〇、法律四七)

第八條第五項 競馬場ノ開設又ハ維持、競走馬ノ出馬登錄又

ハ出場、競馬ノ觀覽、勝馬投票券ノ發賣又ハ購買拂戻金又ハ競馬賞金ノ交付又ハ受領其ノ他競馬ノ施行又ハ開催ニ關シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ズ

### 救護法抄

(昭四、四、二、法律三九)

第二十一條 道府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ハ左ニ掲クル土地建物ニ對シテハ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルコトヲ得ス但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス  
一 主トシテ救護施設ノ用ニ供スル建物  
二 前號ニ掲クル建物ノ敷地其ノ他主トシテ救護施設ノ用ニ供スル土地

### 地租法抄

(昭六、三、三一、法律二八)

第八十九條 府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ハ第二條ノ規定ニ依リ地租ヲ課セサル土地ニ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルコトヲ得ス但シ所有者以外ノ者同條第一號又ハ第二號ノ土地ヲ使用收益スル場合ニ於テ其ノ土地ニ付使用者ニ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルハ此ノ限ニ在ラス  
第二條 左ニ掲クル土地ニハ地租ヲ課セス但シ有料借地ナルトキハ此ノ限ニ在ラス

### 日本製鐵株式會社法抄

(昭八、四、六、法律四七)

第十八條 日本製鐵株式會社其ノ設立ノ日ヨリ五年以内ニ左ノ事項ニ付登記ヲ受クル場合ニ於テハ其ノ登録稅ノ額ハ左ノ額トス但シ登録稅法ノ規定ニ依リ算出シタル登録稅ノ額ガ左ノ額ヨリ少キトキハ其ノ額ニ依ル  
一 設立、資本ノ増加、合併又ハ第二回以後ノ株金拂込株金額、増資拂込株金額又ハ毎回拂込株金額ノ千分ノ一  
二 設立、資本ノ増加又ハ製鐵事業ノ讓受ノ場合ニ於ケル不動産又ハ船舶ニ關スル權利ノ取得不動産又ハ船舶ノ價格ノ四分ノ三  
北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準スヘキモノハ日本製鐵株式會社ニ對シ前項ニ規定スル不動産又ハ船舶ニ關スル權利ノ取得ニ關シ地方稅ヲ課スルコトヲ得ズ

### 自動車製造事業法抄

(昭一一、五、二九、法律三三)

第七條 北海道、府縣及市町村、其ノ他之ニ準スヘキモノハ

一 國、府縣、市町村其ノ他勅令ヲ以テ指定スル公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地  
二 府縣、市町村其ノ他勅令ヲ以テ指定スル公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スルモノト決定シタル其ノ所有地但シ其ノ決定ヲ爲シタル日ヨリ一年内ニ公用又ハ公共ノ用ニ供セサルモノヲ除ク  
三 府縣社地、鄉村社地、護國神社地  
四 墳墓地  
五 公衆用道路、鐵道用地、軌道用地、運河用地  
六 用惡水路、溜池、堤塘、井溝  
七 保安林

### 農村負債整理組合法抄

(昭八、三、二九、法律二二)

第七條 負債整理組合ヨリ負債整理資金ノ貸付ヲ受ケタル組合員ガ其ノ貸付ノ條件ヲ具備セザルニ至リタル場合ニ於ケル負債整理組合ノ不動産其ノ他ノモノノ取得ニ關シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ズ  
負債整理組合ガ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業遂行ノ爲必要ナル土地ヲ取得スル場合亦前項ニ同シ

### 退職積立金及退職手當法抄

(昭一一、六、三、法律四二)

第二十二條 本法ニ依リ退職手當積立金トシテ積立ツル金額ハ所得稅法、法人稅法、營業稅法及臨時利得稅法ノ適用ニ付テハ之ヲ總損金又ハ必要ノ經費ト看做ス  
道府縣及市町村其ノ他之ニ準スヘキモノハ本法ニ依リ退職

手當積立金トシテ積立ツル金額ヲ標準トシテ課税スルコトヲ得ス

### 少年教護法抄

(昭八、五、五、法律五五)

第二十一條 第七條ノ規程ニ依リ認可ヲ受ケタル少年教護院ノ用ニ供スル土地建物ニ對シテハ地方税ヲ課セス但シ有料ニテ之ヲ使用セシメタル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

### 法人税法抄

(昭一五、三、二九、法律二五)

第三十二條 北海道、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ハ法人税ノ附加税ヲ課スルコトヲ得ス

### 外貨債特別税法抄

(昭一二、三、三〇、法律五)

第十七條 北海道、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ハ外貨特別税ノ附加税ヲ課スルコトヲ得ス

### 母子保護法抄

(昭一二、三、三一、法律一九)

第十三條 救護法第三十條及第三十一條ノ規定ハ第九條ノ施設ニ之ヲ準用ス

スル權利ノ取得

不動産又ハ船舶ノ價格ノ千分ノ三

北海道、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ハ日本通運株式會社ニ對シ前項ニ規定スル不動産又ハ船舶ニ關スル權利ノ取得ニ關シ地方税ヲ課スルコトヲ得ズ

### 旭川市舊土人保護地處分法抄

(昭九、三、二四、法律九)

第二條 第一條ノ規定ニ依ル土地所有權ノ取得ニ關シテハ登録税ヲ課セス又地方税ヲ課税スルコトヲ得ス

第一條 北海道廳長官ハ舊土人保護ノ目的ヲ以テ旭川市ニ貸付シタル同市所在ノ土地ヲ内務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ經テ特別ノ緣故アル舊土人ニ單獨有財產又ハ共有財產トシテ無償下附スルコトヲ得

### 人造石油製造專業法抄

(昭一二、八、一〇、法律五二)

第七條 北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準スヘキモノハ前條ノ規定ニ依リ所得ニ對スル法人税及營業税ヲ免除セラレタル人造石油製造會社ニハ前條第二項ノ規定ニ依リ賦課セ

二六二

救護法第三十條 第七條第二項ノ規定ニ依リ設置シタル救護施設ガ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ地方長官ハ同項ノ認可ヲ取消スコトヲ得

救護法第七條第二項 私人救護施設ヲ設置セントスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クベシ

第九條扶助ヲ受クル母及其ノ子ヲ保護スル爲必要ナル施設ノ設置管理、廢止其ノ他施設ニ關シ必要ナル事項ハ本法ニ定ムルモノノ外命令ヲ以テ之ヲ定ム

市町村又ハ私人前項ノ施設ヲ設ケンストスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

### 日本通運株式會社法抄

(昭一二、四、五、法律四六)

第十九條 日本通運株式會社左ノ事項ニ付登記ヲ受クル場合ニ於テハ其ノ登録税ノ額ハ左ノ額トス但シ登録税法ニ依リ算出シタル税額ガ左ノ額ヨリ少キトキハ其ノ税額ニ依リ一 設立

金錢出資ニ依ル拂込株金額ノ千分ノ五ト金錢以外ノ財產ノ出資ニ依ル拂込株金額ノ千分ノ一トノ合計額

二 設立ノ際ニ於ケル出資ノ目的タル不動産又ハ船舶ニ關

ラレタル營業税ノ附加税ヲ除クノ外其ノ免除セラレタル事業ニ對シ課税スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ基キ政府ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條 人造石油製造會社ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法施行ノ日ヨリ十年間其ノ事業ニ付所得ニ對スル法人税及營業税ヲ免除ス

前項ノ事業ヨリ生ズル所得又ハ純益ガ各事業年度ノ資本金額ニ對シ年百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ニ相當スル所得又ハ純益ニ付テハ前項ノ規定ヲ適用セズ但シ開業ノ年及其ノ翌年ヨリ三年間ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ資本金額ノ計算方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

### 帝國燃料興業株式會社法抄

(昭一二、八、一〇、法律五三)

第二十三條 北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準スヘキモノハ前條ノ期間帝國燃料興業株式會社ニハ前條第二項ノ規定ニ依リ賦課セラレタル營業税ノ附加税ヲ除クノ外其ノ事業ニ對シ地方税ヲ課スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ基キ政府ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十二條 帝國燃料興業株式會社ニハ命令ノ定ムル所ニ

二六三

依り開業ノ年及其ノ翌年ヨリ十年間所得ニ對スル法人税及營業稅ヲ免除ス  
 帝國燃料興業株式會社ノ所得又ハ純益ガ各事業年度ノ資本金額ニ對シ年百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ニ相當スル所得又ハ純益ニ付テハ前項ノ規定ヲ適用セズ但シ開業ノ年及其ノ翌年ヨリ三年間ハ此ノ限ニ在ラズ  
 前項ノ資本金額ノ計算方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム  
 以下省略

**製鐵事業法抄**

(昭一二、八、一三、法律六八)

**第十二條** 北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準スベキモノハ本法ニ依リ(第七條第三項但書ノ場合ヲ含ム)所得稅又ハ所得ニ對スル法人税及營業稅ヲ免除セラレタル製鐵事業者ニハ第七條第三項(第十條及前條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ賦課セラレタル營業稅ノ附加稅ノ附加稅ヲ除クノ外其ノ免除セラレタル事業ニ對シ課稅スルトコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ基キ政府ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ  
 前項ノ規定ハ前條ノ規定ニ依リ所得稅又ハ所得ニ對スル法人税及營業稅ヲ免除セラレタル事業ニハ之ヲ適用セス其ノ

事業カ第七條乃至第九條ノ規定ニ依リ所得稅又ハ所得ニ對スル法人税及營業稅ヲ免除ヲ受クルコトヲ得ヘキモノナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

**第七條** 第三條ノ許可ヲ受ケ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ指定スル期間内ニ前條ニ規定スル設備ヲ新設シタル製鐵事業ニハ設備完成ノ年及其ノ翌年ヨリ十五年間其ノ設備ヲ以テ營業製鐵事業者ニ付所得稅又ハ所得ニ對スル法人税及營業稅ヲ免除ス  
 前項ノ製鐵事業者其ノ設備完成前其ノ設備ノ一部ヲ以テ製鐵事業ヲ營業ム場合ニ於テモ其ノ事業ニ付所得稅又ハ所得ニ對スル法人税及營業稅ヲ免除ス但シ前項ノ規定ニ依ル期間内ニ設備ヲ完成セサルトキハ此ノ限ニ在ラズ  
 前二項ノ製鐵事業ヨリ生スル所得又ハ純益カ法人ニ在リテハ各事業年度、個人ニ在リテハ各年ノ資本金額ニ對シ年百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ニ相當スル所得又ハ純益ニ付テハ前二項ノ規定ヲ適用セス但シ所得稅法第五條、法人稅法第十二條又ハ營業稅法第十二條ノ規定ノ適用ヲ妨ケズ  
 前項ノ資本金額ノ計算方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム  
**第八條** 第六條ノ規定ニ該當セザル設備ヲ有スル製鐵事業者其ノ設備ニ付第五條ノ規定ノ許可ヲ受ケ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ指定スル期間内ニ第六條ノ規定ニ該當ス

ルニ至ルベキ設備ヲ増設シタルトキハ其ノ増設シタル設備ヲ以テ營業製鐵事業者ニ付前條ノ規定ヲ準用ス  
**第六條**ニ規定スル設備ヲ以テ營業製鐵事業者第五條ノ規定ノ許可ヲ受ケ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ指定スル期間内ニ其ノ場所ニ於テ新設シタル製鐵事業又ハ製鐵ノ設備ヲ増設シタルトキ亦前項ニ同ジ

**第九條** 第三條ノ許可又ハ第五條ノ増設ノ許可ヲ受ケ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ指定スル期間内ニ一ノ場所ニ於テ一年五千二百五十疋以上ノ製鐵能力ヲ有スル設備ヲ新設シ又ハ増設シタル製鐵事業又ハ製鐵ノ製造事業者ニハ第七條ノ規定ヲ準用ス  
**第三條**ノ許可又ハ第五條ノ増設ノ許可ヲ受ケ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ指定スル期間内ニ一ノ場所ニ於テ一年二千五百疋以上ノ製鐵能力又ハ製鐵能力ヲ有スル設備ヲ新設シ又ハ増設シタル低燐鐵製造事業者、坩堝製鐵事業者及電氣製鐵事業者ニ付亦前項ニ同ジ

**第十條** 第三條ノ許可又ハ第五條ノ増設ノ許可ヲ受ケ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ指定スル期間内ニ砂鐵又ハ命令ヲ以テ定ムル鐵礦ノ製鍊ヲ目的トスル特殊ノ設備ヲ新設シ又ハ増設シタル製鐵事業者ニハ其ノ設備ヲ以テ營業製鐵事業者ニ付第七條ノ規定ヲ準用ス  
**第十一條** 砂鐵又ハ前條ノ鐵礦ヲ配合シテ製鐵ヲ爲ス製鐵

事業者ニハ配合ノ割合ニ應ジ其ノ製鐵事業ニ付本法施行ノ日ヨリ十五年間命令ノ定ムル所ニ依リ所得稅又ハ所得ニ對スル法人税及營業稅ヲ免除ス  
**第七條**第三項及第四項ノ規定ハ前項ノ製鐵事業ニ付之ヲ準用ス

**臨時利得稅法抄**

(昭一〇、三、三〇、法律二〇)

**第二十二條** 北海道、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ハ臨時利得稅ノ附加稅ヲ課スルコトヲ得ス

**日本產金振興株式會社法抄**

(昭一三、三、二九、法律三六)

**第二十二條** 北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準スヘキモノハ前條ノ期間日本產金振興株式會社ニハ前條第二項ノ規定ニ依リ賦課セラレタル營業稅ノ附加稅ヲ除クノ外其ノ事業ニ對シ地方稅ヲ課スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ基キ政府ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

**第二十二條** 日本產金振興株式會社ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ開業ノ年及其ノ翌年ヨリ十年間所得ニ對スル法人税及營業稅ヲ免除ス  
 日本產金振興株式會社ノ所得又ハ純益カ各事業年度ノ資

本金額ニ對シ年百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ニ相當スル所得又ハ純益ニ付テハ前項ノ規定ヲ適用セス但シ開業ノ年及其ノ翌年ヨリ三年間ハ此ノ限ニ在ラス  
前項ノ資本金額ノ計算方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム  
(以下省略)

### 工作機械製造事業法抄

(昭一三、三、三〇、法律四〇)

第八條 北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準スヘキモノハ前條ノ規定ニ依リ所得稅又ハ所得ニ對スル法人稅及營業稅ヲ免除セラレタル工作機械製造事業者ニハ前條第二項ノ規定ニ依リ賦課セラレタル營業稅ノ附加稅ヲ除クノ外其ノ免除セラレタル事業ニ對シ課稅スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ基キ政府ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス  
第七條 工作機械製造事業者政府ノ認可ヲ受ケ本法施行後五年以内ニ於テ政府ノ指定スル期間内ニ命令ノ定ムル規模以上ノ設備ヲ新設シ又ハ増設シタル設備ヲ以テ營業工作機械製造事業ニ付所得稅又ハ所得ニ對スル法人稅及營業稅ヲ免除ス  
前項ノ事業ヨリ生スル所得又ハ純益ガ法人ニ在リテハ各

事業年度個人ニ在リテハ各年ノ資本金額ニ對シ年百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ニ相當スル所得又ハ純益ニ付テハ前項ノ規定ヲ適用セス但シ設備完成ノ年及其ノ翌年ヨリ三年間其ノ新設シ又ハ増設シタル設備ヲ以テ營業工作機械製造事業ニ付テハ此ノ限リニ在ラス  
前項ノ資本金額ノ計算方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム  
第一項ノ工作機械製造事業者其ノ設備完成前其ノ一部ヲ以テ工作機械製造事業ヲ營業ム場合ニ於テモ其ノ事業ニ付所得稅又ハ所得ニ對スル法人稅及營業稅ヲ免除ス但シ第一項ノ規定ニ依ル期間内ニ設備ヲ完成セサルトキハ此ノ限ニ在ラス

### 航空機製造事業法抄

(昭一三、三、三〇、法律四二)

第十條 北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準スヘキモノハ前條ノ規定ニ依リ所得ニ對スル法人稅及營業稅ヲ免除モラレタル航空機製造會社ニハ前條第二項ノ規定ニ依リ賦課セラレタル營業稅ノ附加稅ヲ除クノ外其ノ免除セラレタル事業ニ對シ課稅スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ基キ政府ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九條 航空機製造會社ニハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第二條ノ許可ヲ受ケタル年及其ノ翌年ヨリ五年間其ノ事業ニ付所得ニ對スル法人稅及營業稅ヲ免除ス  
前項ノ事業ヨリ生スル所得又ハ純益ガ各事業年度ノ資本金額ニ對シ年百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ニ相當スル所得又ハ純益ニ付テハ前項ノ規定ヲ適用セス但シ第二條ノ許可ヲ受ケタル年及其ノ翌年ヨリ三年間ハ此ノ限ニ在ラス  
前項ノ資本金額ノ計算方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

### 社會事業法抄

(昭一三、四、一、法律五九)

第十條 社會事業ヲ經營スル者第二條ノ規定ニ依ル事業開始ノ届出ヲ爲シタルトキハ道府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ハ其ノ社會事業ノ用ニ供スル土地又ハ建物ニ對シテ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルコトヲ得ス但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス  
第二條 社會事業ヲ經營スル者其ノ事業ヲ開始シタルトキ又ハ之ヲ廢止セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨事業經營地ノ地方長官ニ届出ツヘシ

### 國民健康保險法抄

(昭一三、四、一、法律六〇)

第五條 保險給付トシテ支給ヲ受ケタル金品ヲ標準トシテ租稅其ノ他ノ公課ヲ課セス

### 農地調整法抄

(昭一三、四、二、法律六七)

第十六條 左ニ掲グル不動産ノ取得ニ對シテハ地方稅ヲ課ス

### 庶民金庫法抄

(昭一三、四、一、法律五八)

第八條 庶民金庫ニハ所得稅、法人稅及營業稅ヲ課セス北海

### 恩給金庫法抄

(昭一三、四、一、法律五七)

第十條 恩給金庫ニハ所得稅、法人稅及營業稅ヲ課セス北海道、府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノハ恩給金庫ノ事業ニ對シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ基キ内務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス  
朝鮮、臺灣、關東州、樺太及南洋群島ニ於ケル課稅ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム



ルコトヲ得ス

- 一 第三條又ハ第四條ノ團體カ第三條又ハ第四條ノ事業ノ爲ニスル土地ノ取得
- 二 第四條又ハ第六條ノ自作農創設維持ノ事業ニ依ル個人ノ土地ノ取得
- 三 第四條又ハ第六條ノ自作農創設維持ノ事業ニ依リ創設又ハ維持セラレタル土地ノ所有者カ其ノ創設又ハ維持ノ條件ヲ具備セサルニ至リタル場合ニ於ケル事業者ノ土地ノ取得

**第二條** 農地ノ所有者又ハ耕作者ハ兵役其ノ他命令ヲ以テ定ムル事由ニ因リテ農地ヲ自ラ耕作シ又ハ管理スルコト能ハサルトキハ市町村其ノ他命令ヲ以テ定ムル團體ニ農地ノ管理又ハ買取ヲ申出ヲ爲スコトヲ得

前項ノ申出アリタル場合ニ於テ同項ノ團體ハ命令ノ定ムル所ニ依リ農地ノ管理又ハ買取ヲ爲スコトヲ得

**第四條** 道府縣、市町村其ノ他命令ヲ以テ定ムル團體カ農村ノ經濟更正ノ爲命令ノ定ムル所ニ依リ自作農創設維持ニ要スル土地ヲ取得シ又ハ使用スルノ必要アルトキハ行政官廳ノ認可ヲ受ケテ土地ノ所有者其ノ他之ニ關シ權利ヲ有スル者ニ對シ土地ノ讓渡又ハ使用收益ノ權利ノ設定若ハ讓渡ニ關スル協議ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ團體カ未墾地ヲ開發シテ同項ノ事業ヲ行ハントス

ノ指定スル期間内ニ命令ノ定ムル硫酸アンモニア製造設備ノ新設又ハ増設ヲ爲シタル硫酸アンモニア製造業者ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ設備完成ノ年及其ノ翌年ヨリ五年間其ノ設備ヲ以テ營ム硫酸アンモニア製造業ニ付所得ニ對スル法人税及營業稅ヲ免除ス

前項ノ事業ヨリ生スル所得又ハ純益カ各事業年度ノ資本金額ニ對シ年百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ニ相當スル所得又ハ純益ニ付テハ前項ノ規定ヲ適用セス但シ設備完成ノ年及其ノ翌年ヨリ三年間其ノ新設シ又ハ増設シタル設備ヲ以テ營ム硫酸アンモニア製造業ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ資本金額ノ計算方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第一項ノ硫酸アンモニア製造業者其ノ設備完成前其ノ設備ノ一部ヲ以テ硫酸アンモニア製造業ヲ營ム場合ニ於テモ其ノ事業ニ付所得ニ對スル法人税及營業稅ヲ免除ス但シ前項ノ規定ニ依ル期間内ニ設備ヲ完成セサルトキハ此ノ限ニ在ラス

ル場合ニ於テ同項ノ規定ニ依ル協議調ハサルトキ開發セントスル未墾地其ノ他其ノ開發ニ必要ナル土地又ハ其ノ使用收益ノ權利ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル收用又ハ使用ニ關シテハ土地收用法ヲ適用ス

**第六條** 命令ヲ以テ定ムル自作農創設維持ノ事業ニ依リ創設又ハ維持セラレタル自作地ノ所有者ハ命令ノ定ムル場合ヲ除クノ外行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ自作地ノ讓渡若ハ貸付ヲ爲シ又ハ之ニ付物權ヲ設定スルコトヲ得ス

### 硫酸アンモニア増産及配給 統制法抄

(昭一三、四、二、法律七〇)

**第二條** 北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準スヘキモノハ前條ノ規定ニ依リ所得ニ對スル法人税及營業稅ヲ免除セラレタル硫酸アンモニア製造業者ニハ前條第二項ノ規定ニ依リ賦課セラレタル營業稅ノ附加稅ヲ除クノ外其ノ免除セラレタル事業ニ對シ地方稅ヲ課スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ基キ政府ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

**第一條** 政府ノ認可ヲ受ケ本法施行後五年以内ニ於テ政府

ノ指定スル期間内ニ命令ノ定ムル硫酸アンモニア製造設備ノ新設又ハ増設ヲ爲シタル硫酸アンモニア製造業者ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ設備完成ノ年及其ノ翌年ヨリ五年間其ノ設備ヲ以テ營ム硫酸アンモニア製造業ニ付所得ニ對スル法人税及營業稅ヲ免除ス

前項ノ事業ヨリ生スル所得又ハ純益カ各事業年度ノ資本金額ニ對シ年百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ニ相當スル所得又ハ純益ニ付テハ前項ノ規定ヲ適用セス但シ設備完成ノ年及其ノ翌年ヨリ三年間其ノ新設シ又ハ増設シタル設備ヲ以テ營ム硫酸アンモニア製造業ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ資本金額ノ計算方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第一項ノ硫酸アンモニア製造業者其ノ設備完成前其ノ設備ノ一部ヲ以テ硫酸アンモニア製造業ヲ營ム場合ニ於テモ其ノ事業ニ付所得ニ對スル法人税及營業稅ヲ免除ス但シ前項ノ規定ニ依ル期間内ニ設備ヲ完成セサルトキハ此ノ限ニ在ラス

### 陸上交通事業調整法抄

(昭一三、四、二、法律七一)

**第八條** 第二條ノ規定ニ依ル調整ノ實施ニ因リ左ノ事項ニ付

登記ヲ受クル場合ニ於テハ其ノ登録稅ノ額ハ左ノ額トス但シ登録稅法ニ依リ算出シタル登録稅ガ左ノ額ヨリ少キトキハ其ノ額ニ依ル

- 一 會社ノ設立又ハ資本増加
  - 金錢出資ニ依ル拂込株金額増資拂込株金額ノ千分ノ五ト金錢以外ノ財産ノ出資ニ依ル拂込金額又ハ増資拂込金額ノ千分ノ一トノ合計額
- 二 會社ノ設立若ハ資本増加又ハ陸上交通事業ノ讓受ノ場合ニ於ケル不動産ニ關スル權利ノ取得
  - 不動産ノ價格ノ千分ノ三

北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準スヘキモノハ前項ニ規定スル不動産ニ關スル權利ノ取得ニ關シ地方稅ヲ課スルコトヲ得ス

### 日本發送電株式會社法抄

(昭一三、四、六、法律七七)

**第三十一條** 日本發送電株式會社左ノ事項ニ付登記ヲ受クル場合ニ於テハ其ノ登録稅ノ額ハ左ノ額トス但シ登録稅法ニ依リ算出シタル登録稅ノ額カ左ノ額ヨリ少キトキハ其ノ額ニ依ル

- 一 設立及第四條又ハ第八條ニ規定スル出資ニ因ル資本ノ

增加

拂込株金額又ハ増資拂込株金額ノ千分ノ一

二 第四條、第八條又ハ第十四條ニ規定スル出資又ハ買収ニ基ク不動産ニ關スル權利ノ取得

不動産ノ價格ノ千分ノ三

北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準スヘキモノハ日本發送電株式會社ニ對シ前項ニ規定スル不動産ニ關スル權利ノ取得ニ關シ地方稅ヲ課スルコトヲ得ス

第四條 政府ハ電力管理法第二條ノ規定ニ依ル勅令ノ定ムル電力設備及其ノ附屬設備ヲ本章ノ規定ニ依リ日本發送電株式會社ニ對シテ出資セシムルコトヲ得

第八條 政府ハ日本發送電株式會社ニ對シ國有ノ電力設備及其ノ附屬設備ヲ出資スルコトヲ得

第十四條 電力設備及其ノ附屬設備ヲ出資シタルニ依リ殘存電氣事業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキハ出資者ハ日本發送電株式會社ニ對シ當該事業設備ノ買収ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル事業繼續ノ能否、買収價格、買収範圍其ノ他買収條件ハ當事者間ノ協議ニ依ル協議調ハサルトキハ主務大臣之ヲ裁定ス  
價格ニ關スル當事者ノ協議ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

二七〇

第二項ノ裁定中事業繼續ノ能否又ハ買収價格ニ付不服アル者ハ裁決ノ通知アリタル日ヨリ三月内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

主務大臣第二項又ハ第三項ノ規定ニ依リ裁定又ハ認可ヲ爲サントスルトキハ電力評價審査委員會ノ議ヲ經ヘシ

### 北支那開發株式會社法抄

(昭一三、四、三〇、法律八一)

第二十二條 北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準スヘキモノハ前條ノ期間北支那開發株式會社ニハ同條第二項ノ規定ニ依リ賦課セラレタル營業稅ノ附加稅ヲ除クノ外其ノ事業ニ對シ地方稅ヲ課スルコトヲ得ス

第二十一條 北支那開發株式會社ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ開業ノ年及其ノ翌年ヨリ十年間所得ニ對スル法人稅及營業稅ヲ免除ス

北支那開發株式會社ノ所得又ハ純益ガ各事業年度ノ資本金額ニ對シ年百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ニ相當スル所得又ハ純益ニ付テハ前項ノ規定ヲ適用セス但シ開業ノ年及其ノ翌年ヨリ三年間ハ此ノ限ニ在ラス  
前項ノ資本金額ノ計算方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

(以下省略)

### 司法保護事業法抄

(昭一四、三、三〇、法律四二)

第九條 道府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ハ司法保護事業ノ用ニ供スル土地建物ニ對シテ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルコトヲ得ス但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

### 職員健康保險法抄

(昭一四、四、六、法律七二)

第六條 職員健康保險ニ關スル書類ニハ印紙稅ヲ課セス保險給付トシテ支給ヲ受ケタル金品ヲ標準トシテ租稅其ノ其ノ公課ヲ課セス

### 船員保險法抄

(昭一四、四、六、法律七三)

第二十六條 保險給付トシテ支給ヲ受ケタル金品ヲ標準トシテ租稅其ノ他ノ公課ヲ課セス但シ養老年金ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

### 軍馬資源保護法抄

(昭一四、四、七、法律七六)

第十一條第四項 鍛鍊馬場ノ開設又ハ維持、競争ノ觀覽、優等馬票ノ發行又ハ購買、拂戻金又ハ賞金ノ交付又ハ受領其ノ他鍛鍊馬競走ノ施行又ハ開催ニ關シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ス

### 宗教團體法抄

(昭一四、四、八、法律七七)

第二十二條 宗教團體ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ所得稅及法人稅ヲ課セス  
寺院ノ境内地及教會ノ構内地ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ地租ヲ免除ス但シ有料借地ナルトキハ此ノ限ニ在ラス  
北海道、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ハ宗教團體ノ所得ニ對シ地方稅ヲ課スルコトヲ得ス

### 米穀配給統制法抄

(昭一四、四、一二、法律八一)

第五十七條 日本米穀株式會社前條第一項ニ規定スル買取ニ基ク不動産ニ關スル權利ノ取得ニ付登記ヲ受クル場合ニ於テハ其ノ登録稅ノ額ハ不動産ノ價格ノ千分ノ三トス但シ登

二七一

録税法ニ依り算出シタル登録税ノ額カ本法ニ依り算出シタル税額ヨリ少キトキハ其ノ税額ニ依ル

北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準スヘキモノハ日本米穀株式会社ニ對シ前條第一項ニ規定スル買取ニ基ク不動産ニ關スル權利ノ取得ニ關シ地方税ヲ課スルコトヲ得ス

第五十六條 日本米穀株式會社ハ勅令ノ定ムル所ニ依り政府ノ認可ヲ受ケ米穀ヲ實買取引スル取引所又ハ正米市場開設者ガ本法公布ノ際現ニ所有スル土地、建物其ノ他ノ設備ヲ其ノ申込ニ應シ買取ルモノトス  
(以下省略)

### 帝國鑛業開發株式會社法抄

(昭一四、四、一二、法律八四)

第三十二條 北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ前條ノ規定ニ依り所得ニ對スル法人税及營業税ヲ免除セラレタル期間帝國鑛業開發株式會社ニハ前條第二項ノ規定ニ依り賦課セラレタル營業税ノ附加税ヲ除クノ外其ノ事業ニ對シ地方税ヲ課スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ基キ政府ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス  
第三十一條 帝國鑛業開發株式會社ニハ命令ノ定ムル所ニ依り開業ノ年及其ノ翌年ヨリ十年間其ノ事業ニ付所得ニ

對スル法人税及營業税ヲ免除ス

帝國鑛業開發株式會社ノ所得又ハ純益ガ各事業年度ノ資本金額ニ對シ年百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ニ相當スル所得又ハ純益ニ付テハ前項ノ規定ヲ適用セス但シ開業ノ年及其ノ翌年ヨリ三年間ハ此ノ限ニ在ラス  
前項ノ資本金額ノ計算方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム  
(以下省略)

### 國際電氣通信株式會社法抄

(昭一四、四、一二、法律八二)

第十四條ノ七 北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ前條ノ規定ニ依り所得ニ對スル法人税及營業税ヲ免除セラレタル國際電氣通信株式會社ノ事業ニ對シテハ前條第二項ノ規定ニ依り賦課セラレタル營業税ノ附加税ヲ除クノ外地方税ヲ課スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ基キ政府ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス  
第十四條ノ六 國際電氣通信株式會社ニハ命令ノ定ムル所ニ依り昭和十五年一月一日ヨリ十年間其ノ通信ケーブル設備ヲ以テ營ム事業ニ付所得ニ對スル法人税及營業税ヲ免除ス

前項ノ事業ヨリ生スル所得又ハ純益カ每營業期ノ資本金額ニ對シ年百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ニ相當スル所得又ハ純益ニ付テハ前項ノ規定ヲ適用セス但シ昭和十五年一月一日ヨリ四年間ハ此ノ限ニ在ラス  
前項ノ資本金額ノ計算方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

### 大日本航空株式會社法抄

(昭一四、四、一二、法律八四)

第三十一條 北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準スベシモノノ前條ノ規定ニ依り所得ニ對スル法人税及營業税ヲ免除セラレタル期間大日本航空株式會社ニハ前條第二項ノ規定ニ依り賦課セラレタル營業税ノ附加税ヲ除クノ外其ノ事業ニ對シ地方税ヲ課スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ基キ政府ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 大日本航空株式會社ニハ命令ノ定ムル所ニ依り本法施行ノ年及其ノ翌年ヨリ十年間其ノ事業ニ付所得ニ對スル法人税及營業税ヲ免除ス  
大日本航空株式會社ノ所得又ハ純益カ各事業年度ノ資本金額ニ對シ年百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ニ相當スル所得又ハ純益ニ付テハ

前項ノ規定ヲ適用セス但シ本法施行ノ年及其ノ翌年ヨリ三年間ハ此ノ限ニ在ラス  
前項ノ資本金額ノ計算方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム  
(以下省略)

### 輕金屬製造事業法抄

(昭一四、五、一、法律八八)

第八條 北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ前條ノ規定ニ依り所得ニ對スル法人税及營業税ヲ免除セラレタル輕金屬製造會社ニハ前條第二項ノ規定ニ依り賦課セラレタル營業税ノ附加税ヲ除クノ外其ノ免除セラレタル事業ニ對シ課税スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ基キ政府ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條 輕金屬製造會社政府ノ認可ヲ受ケ本法施行後五年以内ニ於テ政府ノ指定スル期間内ニ命令ノ定ムル規定以上ノ設備ヲ新設シ又ハ増設シタルトキハ設備完成ノ年及其ノ翌年ヨリ五年間其ノ新設シ又ハ増設シタル設備ヲ以テ營ム輕金屬製造事業ニ付所得ニ對スル法人税及營業税ヲ免除ス  
前項ノ事業ヨリ生スル所得又ハ純益カ各事業年度ノ資本金額ニ對シ年百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超

ニ依ル所得ニ對スル法人税及營業税免除期間内ニ在ルトキハ其ノ期間ヲ承継ス

第七條 勅令ヲ以テ指定スル有機合成事業（指定有機合成事業）ヲ營ム有機合成事業會社政府ノ認可ヲ受ケ勅令ヲ以テ定ムル期間内ニ於テ政府ノ指定スル時期迄ニ勅令ヲ以テ定ムル設備ヲ新設シ又ハ増設シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ設備完成ノ年及其ノ翌年ヨリ五年間其ノ新設シ又ハ増設シタル設備ヲ以テ營ム指定有機合成事業ニ付所得ニ對スル法人税及營業税ヲ免除ス

前項ノ事業ヨリ生スル所得又ハ純益カ各事業年度ノ資本金額ニ對シ年百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ニ相當スル所得又ハ純益ニ付テハ同項ノ規定ヲ適用セス但シ設備完成ノ年及其ノ翌年ヨリ三年間其ノ新設シ又ハ増設シタル設備ヲ以テ營ム指定有機合成事業ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ資本金額ノ計算方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第一項ノ輕金屬製造會社其ノ設備完成以前其ノ一部ヲ以テ輕金屬製造事業ヲ營ム場合ニ於テモ其ノ事業ニ付所得ニ對スル法人税及營業税ヲ免除ス但シ第一項ノ規定ニ依ル期間内ニ設備ヲ完成セザルトキハ此ノ限ニ在ラス

### 有機合成事業法抄

（昭一五、四、法律九六）

第八條 北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準スヘキモノハ前條ノ規定ニ依リ所得ニ對スル法人税及營業税ヲ免除セラレタル有機合成事業會社ニハ同條第二項ノ規定ニ依リ賦課セラレタル營業税ノ附加税ヲ除クノ外其ノ免除セラレタル事業ニ對シ課税スルコトヲ得ス特別ノ事情ニ基キ政府ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條 第七條ノ規定ニ依リ所得ニ對スル法人税及營業税ノ免除ヲ受クヘキ事業ヲ繼續スル者又ハ其ノ事業ヲ繼續スルモノト認ムヘキ事實アル者ハ前事業者カ同條ノ規定

### 國民更正金庫法抄

（昭一六、三、六、法律四二）

第八條 國民更正金庫ニハ所得税、法人税及營業税ヲ課セス北海道、府縣、市町村其ノ他之ニ準スヘキモノハ國民更正金庫ノ事業ニ對シテハ地方税ヲ課スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ基キ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

### 住宅營團法抄

（昭一六、三、七、法律四六）

第七條 住宅營團ニハ所得税、法人税及營業税ヲ課セス北海道、府縣、市町村其ノ他之ニ準スヘキモノハ住宅營團ノ事業、建物ノ建設者ハ取得又ハ土地ノ取得ニ對シテハ地方税ヲ課スルコトヲ得ス但シ住宅營團ノ事業ニ對シテハ特別ノ事情ニ基キ内務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

### 貸家組合法抄

（昭一六、三、七、法律四七）

第九條 貸家組合ニハ所得税、法人税及營業税ヲ課セス北海道、府縣、市町村其ノ他之ニ準スヘキモノハ貸家組合ノ貸家ノ建設者ハ取得又ハ其ノ貸家用地ノ取得ニ對シテハ地方

税ヲ課スルコトヲ得ス

### 農地開發法抄

（昭一六、三、一三、法律六五）

第四十二條 道府縣、市町村其ノ他之ニ準スヘキモノハ前條ノ規定ニ依リ所得ニ對スル法人税及營業税ヲ免除セラレタル期間農地開發營團ニハ前條第二項ノ規定ニ依リ賦課セラレタル營業税ノ附加税ヲ除クノ外地方税ヲ課スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ基キ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

道府縣、市町村其ノ他之ニ準スヘキモノハ農地開發營團カ其ノ事業ノ爲ニスル不動産取得ニ對シテハ地方税ヲ課スルコトヲ得ス

第四十二條 農地開發營團ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法施行ノ年及其ノ翌年ヨリ十年間其ノ事業ニ付所得ニ對スル法人税及營業税ヲ免除ス

農地開發營團ノ所得又ハ純益カ各事業年度ノ資本金額ニ對シ年百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ニ相當スル所得又純益ニ付テハ前項ノ規定ヲ適用セス但シ本法施行ノ年及其ノ翌年ヨリ三年間ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ資本金額ノ計算方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

# 帝國石油株式會社法抄

(昭一六、三、一四、法律七三)

第三十條 北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準スヘキモノハ前條ノ期間帝國石油株式會社ニハ前條第二項ノ規定ニ依リ賦課セラレタル營業稅ノ附加稅ヲ除クノ外其ノ事業ニ對シ地方稅ヲ課スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ基キ政府ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條 帝國石油株式會社ニ命令ノ定ムル所ニ依リ本法施行ノ年及其ノ翌年ヨリ十年間其ノ事業ニ付所得ニ對スル法人稅及營業稅ヲ免除ス

帝國石油株式會社ノ所得又ハ純益カ各事業年度ノ資本金額ニ對シ年百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ニ相當スル所得又ハ純益ニ付テハ前項ノ規定ヲ適用セス但シ本法施行ノ年及其ノ翌年ヨリ三年間ハ此ノ限ニ在ラス  
前項ノ資本金額ノ計算方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム  
(以下省略)

# 重要機械製造事業法抄

(昭 法律 )

第五條 北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準スヘキモノハ前

條ノ規定ニ依リ所得稅又ハ所得ニ對スル法人稅及營業稅ヲ免除セラレタル重要機械製造事業者ニハ同條第二項ノ規定ニ依リ賦課セラレタル營業稅ノ附加稅ヲ除クノ外其ノ免課セラレタル事業ニ對シ課稅スルコトヲ得ス、但シ特別ノ事情ニ基キ政府ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條 第四條ノ規定ニ依リ所得稅又ハ所得ニ對スル法人稅及營業稅ノ免除ヲ受クヘキ事業ヲ繼續スル者又ハ其ノ事業ヲ繼續スルモノト認ムヘキ事實アル者ハ前事業者カ同條ノ規定ニ依リ所得稅又ハ所得ニ對スル法人稅及營業稅免除期間内ニ在ルトキハ其ノ期間ヲ承繼ス

第四條 勅令ヲ以テ指定スル重要機械製造事業(指定重要機械製造事業)ヲ營ム重要機械製造事業者政府ノ認可ヲ受ケ本法施行後五年以内ニ於テ政府ノ指定スル期間内ニ命令ノ定ムル規模以上ノ設備ヲ新設シ又ハ増設シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ設備完成ノ年及其ノ翌年ヨリ五年間其ノ新設シ又ハ増設シタル設備ヲ以テ營ム指定重要機械製造事業者ニ付所得稅又ハ所得ニ對スル法人稅及營業稅ヲ免除ス

前項ノ事業ヨリ生スル所得又ハ純益カ法人ニ在リテハ各事業年度、個人ニ在リテハ各年ノ資本金額ニ對シ年百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ニ相當スル所得又ハ純益ニ付テハ前項ノ規定ヲ適用

セス但シ設備完成ノ年及其ノ翌年ヨリ三年間其ノ新設シ又ハ増設シタル設備ヲ以テ營ム指定重要機械製造事業者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス  
前項ノ資本金額ノ計算方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム  
第一項ノ重要機械製造事業者其ノ設備完成前其ノ一部ヲ以テ指定重要機械製造事業者ヲ營ム場合ニ於テモ其ノ事業ニ付所得稅又ハ所得ニ對スル法人稅及營業稅ヲ免除ス但シ同項ノ規定ニ依ル期間内ニ設備ヲ完成セサルトキハ此ノ限ニ在ラス

# 醫療保護法抄

(昭一六、三、六、法律三六)

第二十四條 道府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ハ左ニ掲グル土地又ハ建物ニ對シテハ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルコトヲ得ス但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

- 一 主トシテ醫療保護事業又ハ施設若ハ附帶事業ノ用ニ供スル建物
- 二 前號ニ掲グル建物ノ敷地其ノ他主トシテ醫療保護事業又ハ施設若ハ附帶事業ノ用ニ供スル土地

第五編 其ノ他

寺院ノ境内地又ハ教會ノ構内地ニ對スル地租免除取扱方ノ件

(昭一五、七、二〇、藏稅二一九七) 稅務監督局長宛、主稅局長 通牒

宗教團體法第二十二條第二項ノ規定ニ依ル寺院ノ境内地又ハ教會ノ構内地ニ對スル地租免除方左記ニ依リ御取扱相成度此段及通牒候也

一 寺院ノ方丈、僧坊、書院、客殿、講堂、食(シキ)堂、齋堂、廻廊、鐘樓經藏、書庫、舍利殿、納屋、浴室、寺務所、檀信徒詰所等ノ敷地ハ昭和十五年七月勅令第四百六十號(以下勅令ト略稱ス)第一條第一項第一號ノ土地ニ該當スルモノトシテ取扱フモノトス  
教會ノ用ニ供スル建物ニシテ此等ノ建物ニ類スルモノノ敷地ニ付亦同シ

二 學校、病院其ノ他ノ公益事業ノ用ニ供スル建物又ハ工作物ノ敷地ハ勅令第一條第一項第一號ノ土地ニ該當セサルモノナルモ其ノ用地ノ面積、位置等ニ鑑ミ特ニ一區域ヲ爲スト認メラレサル程度ノモノ又ハ特ニ宗教的色彩ノ

顯著ナル事業ノ用地ハ同號ニ該當スルモノトシテ取扱フモノトス

三 境内地又ハ構内地ニ在ル花屋、茶店ノ類ニシテ其ノ用地狹少ナルモノニ付テハ特ニ之ヲ區分シ課稅ノ取扱ヲ爲スニ及ハサルモノトス

四 宗教、教派又ハ教團ノ事務所ノ敷地ハ境内地又ハ構内地ニ在ル場合ト雖モ免租スヘキモノニ非サルモ此等團體ノ出張所等トシテ寺院又ハ教會ノ附屬建物ヲ使用スル場合ノ如キハ特ニ之ヲ區分シ課稅ノ取扱ヲ爲スニ及ハサルモノトス

五 境内地又ハ構内地ノ一部ヲ畑トシテ利用スル場合ニ於テハ其ノ利用カ恒久的ト認メラル場合又ハ畑トシテ一區域ヲ爲スト認メラル場合ヲ除クノ外強テ課稅ノ取扱ヲ爲スニ及ハサルモノトス

六 住家等ノ一部ヲ以テ教會ノ用ニ供スル場合及主タル用途カ住家ナル教會ノ用ニモ供スル場合ノ當該建物ノ敷地ハ勅令第一條第一號ニ該當セサルモノトシテ取扱フモノトス

七 貸家等ノ收益ヲ目的トスル建物ノ敷地ハ境内地又ハ構内地ノ範圍ヨリ除外セラルル等ナルモ若シ境内地又ハ構内地中ニ此等ノ用ニ供スル部分アルトキハ免租スヘキ區域ヨリ除外スルモノトス

八 勅令第一條第一項第四號ノ庭園又ハ同項第一號ノ建物ニ附屬スル庭園ヲ指稱スルモノニシテ所謂遊園地ノ如キハ本號ニ該當セサルモノトス但シ遊園地ト雖モ同項第五號ニ該當スト認メラルル程度ノモノハ同號ニ依リ免租スルコトヲ得ルモノトス

九 庭園ニ付テハ大體勅令第一條第二項ノ規定ノ適用ナキモノトシテ取扱フモノトス

一〇 勅令第一條第一項第五號及第六號ニ掲クル土地ニ付テハ大體當該境内地又ハ構内地ヲ有租地トシテ取扱フ場合ニ宅地ノ地目ヲ附スヘキ程度ノ區域ニ付免租トスルコトトシ右以外ノ區域ニ付テハ勅令第一條第二項ノ規定ニ依リ免租ノ制限ヲ爲スモノトス

一一 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ前項ノ規定ニ拘ラス勅令第一條第二項ノ制限ヲ爲ササルモノトス

イ 寺院ノ境内地ニシテ總地積五百坪以内ナルトキ

ロ 勅令第一條第一項第五號及第六號ノ土地ノ合計地積カ同項第一號第三號及第四號ニ掲クル土地ノ合計地積ヲ超エサルトキ

一二 前三號ノ規定ハ大體ノ標準ヲ示シタルニ過キサルヲ以テ個々ノ事例ニ付免否ヲ決スル場合ハ寺院又ハ教會ノ由緒、格式等ヲ參酌シテ免租區域ヲ定ムルモノトス

一三 勅令第一條第二項ノ規定ニ依リ制限ヲ爲スヲ要セサル

二八〇

モノニ付テハ昭和十五年七月大藏省訓令第十四號ニ依リ稟議ヲ要セサルモノトス

一四 昭和十五年七月大藏省訓令第十四號ノ稟議ニハ左記事項ニ關スル調書並ニ境内地又ハ構内地ノ使用狀況及免租ヲ制限スヘキ區域ヲ表示シタル圖面ヲ添付スルモノトス

イ 寺院又ハ教會ノ名稱並ニ所屬教派、宗教又ハ教團ノ名稱

ロ 寺院又ハ教會ノ由緒、沿革、格式並ニ教會ニ付テハ法人格ノ有無

ハ 境内地又ハ構内地ノ所在、地番、地目、地積及賃貸價格並ニ其ノ使用ノ狀況

ニ 當該寺院又ハ教會ニ屬スル僧侶又ハ教師及檀信徒又ハ教信徒ノ數

ホ 免租ノ制限セントスル區域ノ地積及賃貸價格ニ制限スルヲ相當トスル事由

ヘ 其ノ他參考トナルベキ事項

一五 免租ノ制限セントスル區域ハ豫メ納稅義務者ニ内示シ置ク等ノ方法ヲ講ジ後日制限ニ關シ物議ヲ生ゼシムル等ノコトナキヲ期スルモノトス

一六 免租スヘキ區域ヲ制限セラレタルトキハ勅令第二條ノ申請ニ對スル稅務署長ノ許可ノ指令ニ附記シテ制限セラレタル區域ノ地番及地積並ニ同令第一條第二項ノ規定ニ

依リ制限セラレタル旨ノ通知ヲ爲スモノトス

一七 免租スヘキ區域ヲ制限セラレタル爲一筆ノ一部ニ付免租處分ヲ爲スヘキトキハ地租法第三十條ノ規定ニ依リ職權分筆ヲ爲スヲ得ルモノナルモ成ルヘク納稅義務者ノ申告ヲ徵シ分筆處分ヲ爲スコトニ取扱フモノトス

一八 免租申請書ニ記載スヘキ設立認可年月日ハ宗教團體法第三十二條第一項及第三十三條第一項ノ寺院又ハ教會ニ付テハ昭和十五年四月一日(宗教團體法施行ノ日)ト爲スモノトス但シ其ノ創立ノ年月日ヲ記載シ又ハ設立認可年月日ノ記載ヲ脱シタルモノト雖モ強テ之ヲ訂正又ハ追記セシムルニ及ハサルモノトス

一九 寺院又ハ教會ヨリ爲スヘキ免租ノ申請又ハ土地分筆ノ申告ニ付テハ檀信徒總代又ハ教信徒總代ハ連署セサルモノトス

二十 境内地又ハ構内地ノ免租ニ關シ取扱上疑義ニ互ルモノ又ハ特殊異例ト認メラル、モノニ付テハ免租處分決行前主稅局長ニ報告スルモノトス

參考

宗教團體法抄錄  
第二十二條第二項 寺院ノ境内地及教會ノ構内地ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ地租ヲ免除ス但シ有料借地ナルトキハ此ノ限ニ在ラス

宗教團體法第二十二條第二項ノ規定ニ依リ地租ノ免除ニ關スル件

(昭一五、七、一〇、勅令四六〇)

第一條 寺院ノ境内地又ハ教會ノ構内地ニシテ左ニ掲クル區域ノ土地ニ付テハ宗教團體法第二十二條第二項ノ規定ニ依リ其ノ地租ヲ免除ス

一 本堂、庫裡、會堂其他寺院又ハ教會カ教義ノ宣布若ハ儀式ノ執行又ハ之ニ附隨スル行爲ヲ爲スニ必要ナル建物又ハ工作物(附屬建物及附屬工作物ヲ含ム)ノ敷地

二 宗教上ノ儀式又ハ行事ヲ行フ爲必要ナル土地

三 參道

四 庭園

五 寺院又ハ教會ノ風致ヲ維持スル爲必要ナル土地

六 寺院又ハ教會ノ災害ヲ防止スル爲必要ナル土地

前項第四號乃至第六號ノ土地ニ付テハ大藏大臣ハ免租スヘキ區域ヲ制限スルコトヲ得

第二條 前條第一項ノ規定ニ依リ地租ノ免除ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ稅務署長ニ提出スヘシ

一 土地ノ所在、地番、地目、地積及賃貸價格並ニ其ノ用途

二 寺院又ハ教會ト納稅義務者ト異ナルトキハ無料借地タ

二八一



ルコトヲ證スル書面

三 寺院若ハ教會ノ設立又ハ境内地若ハ構内地ノ區域變更ノ認可ノ年月日

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

地 方 税 法 抄

第十二條 左ニ掲グルモノニ對シテハ地方税ヲ課スルコトヲ得ス但シ第一號、第三號及第四號ニ掲グル土地、家屋又ハ物件ヲ他ニ使用收益セシムル場合ニ於テ其ノ使用收益ヲ爲ス者ニ課スルハ此ノ限ニ在ラス

一 神社、寺院又ハ教會ノ用ニ供スル建物及其ノ境内地又ハ構内地但シ有料ニテ使用スルモノヲ除ク

### 狩獵免許税ノ取扱方ニ關スル件

ル件

(昭一六、五、二四、藏税一六九三) 稅務監督局長宛、主稅局長通牒

狩獵法施行規則第五條ノ規定ニ依リ狩獵免狀ノ下付申請書ニ添附スベキ稅額ニ關スル證明書ハ從來、市、區、町、村ヨリ之ヲ受ケ居候處、狩獵法ノ改正ニ伴ヒ市、區、町、村ニ於テハ之カ證明不可能ナルモノモ有之候ニ付爾今右證明書ハ稅務

二八二

署ヨリ之ヲ受ケシムルコトト致シ候條左記ニ依リ御取扱相成度此段及通牒候也

追テ本件ニ關シテハ別紙寫ノ通農林省山林局長ヨリ各地方長官ニ通牒濟ニ有之候條爲念申添候

記

#### 第一 納稅證明書ヲ交付スヘキ稅務署

一 證明書ハ狩獵免狀ノ下付ヲ出願スル者ノ住所地所轄稅務署ヨリ之ヲ交付スルコト

二 前號ノ出願者ガ家族ニシテ且綜合所得稅ヲ納メサルモノナルトキハ當該家族ノ納稅證明書ノ外戶主ノ納稅證明書ヲモ交付スルコト但シ戶主ノ住所地ガ他ノ稅務署管内ニ在ルトキハ戶主ノ住所地所轄稅務署ニ於テ其ノ納稅證明書ヲ交付スルコト

#### 第二 納稅證明書ノ記載方

一 綜合所得稅ニ付テハ狩獵免狀ノ有効期間開始ノ年ノ決定ニ依リ其ノ決定ノ有無ヲ記載スルコト

二 分類所得稅ニ付テハ賦課、課稅所得ニ對スル狩獵免狀ノ有効期間開始ノ年ノ決定稅額ト源泉課稅、所得ニ對スル狩獵免狀ノ有効期間開始ノ年ノ前年中ノ納付稅額トノ合計額ヲ記載スルコト

三 前號ノ分類所得稅中ニハ退職所得ニ對スル分類所得稅額並ニ甲種ノ資本利子所得中本法施行地ニ於テ支拂ヲ受

狩獵免許願書ニ添付セシムル様致度此段及通牒候也 (追而 以下省略)

#### 第三 狩獵法第八條第一項ノ適用方

ケントスル社債又ハ預金(法人ニ對スル預金ニ限ル)ノ利子及合同運用信託ノ利益ニ對スル分類所得稅額ハ之ヲ算入スルヲ要セサルモノナルヲ以テ留意スルコト

狩獵法第八條第一項ノ適用方ニ付テハ左ノ如ク取扱ハルルモノナルヲ以テ納稅證明上ノ參考ニ資スルコト

一 略

二 略

(一) 略

(二) 略

### 狩獵法第八條第一項ニ定ムル稅額ノ證明書ニ關スル件

ル稅額ノ證明書ニ關スル件

(昭一六、五、八、山二六五二) 知事宛、農林省山林局長通牒

昭和十五年三月二十九日法律第四十七號ヲ以テ狩獵法第八條第一項改正ノ結果狩獵免許税ハ昭和十六年度以降ハ之ヲ綜合所得稅又ハ分類所得稅納付額ニ依リ區別スルコト、相成候處稅額ノ證明書ハ從來市町村長ヨリ之ヲ受ケ居リシモ稅制上或種ノ稅額ニ付テハ市町村長ノ證明シ能ハサルモノモ有之候條爾今右證明書ハ出願者住所地所轄稅務署長ヨリ之ヲ受ケシメ

二八三

113  
60

- 區政操典
- 第一號 區役所文書の取扱に就て
  - 第二號 起案事務の常識
  - 第三號 稅務關係法規集(上)

昭和十六年十月廿五日印刷  
昭和十六年十一月一日發行

發行所 大 阪 市 役 所

大阪府豊中市上野區一九一番地

編輯 行 人 中 尾 正 平

大阪府東區人鶴二丁目七番地

印 刷 人 藤 本 卯 之 助

大阪府東區人鶴二丁目七番地

印 刷 所 藤 本 兄 弟 社 印 刷 所

電話東京一七〇・七七〇番

≡≡3M18



